

第2次春日部市環境基本計画に関する アンケート調査

結果報告書

平成 28 年度



春日部市

目次

第1章	調査の目的と概要	1
1	調査の目的	3
2	調査の内容	3
3	調査の方法と期間	4
4	回収の結果	5
5	報告書を見る際の注意事項	5
第2章	市民アンケート調査結果	7
1	市民アンケート調査結果	9
2	市民アンケート自由意見	50
第3章	事業者アンケート調査結果	65
1	事業者アンケート調査結果	67
2	事業者アンケート自由意見	90
【参考資料】		91
1	市民アンケート調査票	93
2	事業者アンケート調査票	101

第 1 章 調査の目的と概要

1 調査の目的

春日部市では、平成20年3月に、環境の保全と創造に関する施策を総合的かつ、計画的に推進するための「春日部市環境基本計画」を策定しました。本計画は平成29年度をもって満了となることから、平成30年度以降の春日部市の環境政策を推進するための「第2次春日部市環境基本計画」を策定します。

本調査は、「第2次春日部市環境基本計画」の策定にあたり、本市の現状及び環境課題を把握するため、市民の環境に対する意識や行動について調査し、同計画検討時の基礎資料とすることを目的として実施したものです。

2 調査の内容

(1) 市民アンケート

分類	設問
回答者の属性について	問1 性別 問2 年齢 問3 住居の形態 問4 家族の人数 問5 居住年数 問6 居住地区 問7 職業
普段の環境活動について	問8 環境に関する普段の取り組み 問9 環境に係る活動
春日部市の環境について	問10 満足度・優先度 問11 環境問題解決の責任と努力
地球温暖化対策への取り組みについて	問12 東日本大震災前後の行動の変化 問13 行動の変化の理由 問14 省エネ製品の導入状況
市の環境への取り組みについて	問15 市が進めている環境に関する取り組みについての認識 問16 環境に関する情報の伝達方法
環境に関わる意見等（自由記述）	

(2) 事業者アンケート

分類	設問
事務所について	問1 業種 問2 従業員規模 問3 事業年数 問4 所在地
事務所の環境活動について	問5 日常業務において行っている環境配慮のための活動の有無 問6 日常業務において行っている環境配慮のための活動の内容 問7 環境活動に取り組んで得られた効果 問8 地域環境のための取り組み 問9 環境活動の取り組みの認識 問10 環境活動を進めるにあたっての課題
事務所の地球温暖化対策への取り組みについて	問11 省エネ機材等の導入状況
春日部市の環境について	問12 市の環境の将来あるべき姿
環境活動の主体・市政について	問13 環境問題解決の責任と努力 問14 行政が実施すると望ましいサポート
環境に関わる意見等（自由記述）	

3 調査の方法と期間

18歳以上の市民2,000人を対象とした「市民アンケート」、市内の事業所200箇所を対象とした「事業者アンケート」の2種類の調査を実施しました。

	市民アンケート	事業者アンケート
調査地域	春日部市全域	
調査対象	18歳以上の市民を対象にした無作為抽出（住民基本台帳：平成28年6月1日現在より）	市内の事業所を対象にした無作為抽出（春日部商工会議所会員登録名簿及び庄和商工会名簿より）
調査方法	郵送配付・回収（無記名）	
調査期間	平成28年7月20日～8月22日	

4 回収の結果

対象者数および回収状況は、以下のとおりです。

	市民アンケート	事業者アンケート
発 送	2,000 部	200 部
宛先不明	9 部	0 部
有効発送数 (A)	1,991 部	200 部
有効回収 (B)	884 部	83 部
回 収 率 (B/A)	44.4%	41.5%

5 報告書を見る際の注意事項

(1) 単純集計とクロス集計について

本調査では、各設問について、回答全体をまとめて集計した「単純集計」と、年齢別や性別、業種別などに区分して集計した「クロス集計」を行っています。

(2) 集計・表記について

- ア 回答比率等については、小数点以下第 2 位を四捨五入して小数点以下第 1 位までを表記しています。このため、百分率の合計が 100%にならないこともあります。
- イ 複数回答形式の設問においては、回答比率の合計が 100%を超えることになります。
- ウ グラフに掲載している「N=」は、集計対象者総数を表しています。
- エ 回答比率に関する分析については、小数点以下を含めた数値にて計算しているため、報告書に記載されている複数の数値を単純に計算した値と、コメントの値が異なることがあります。
- オ 設問の選択肢は、本文中または図表中において、意味を損なわない範囲で簡略化して表記することがあります。

第2章 市民アンケート調査結果

1 市民アンケート調査結果

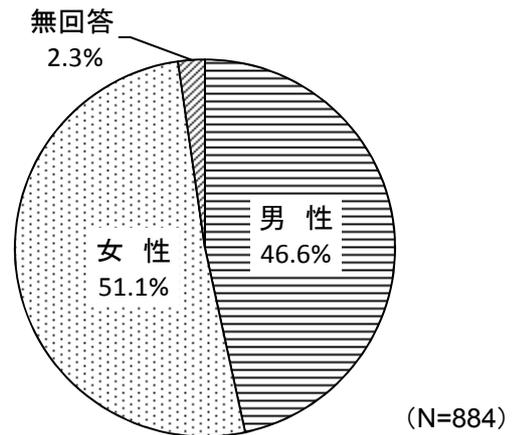
● あなたのことについてお伺います ●

問1 あなたの性別はどちらですか。あてはまる番号を○で囲んでください。

1. 男性

2. 女性

	選択肢	回答数
1	男性	412
2	女性	452
	無回答	20
	合計	884



問2 あなたの年齢は次のうちどれですか。あてはまる番号を○で囲んでください。

1. 10歳代

2. 20歳代

3. 30歳代

4. 40歳代

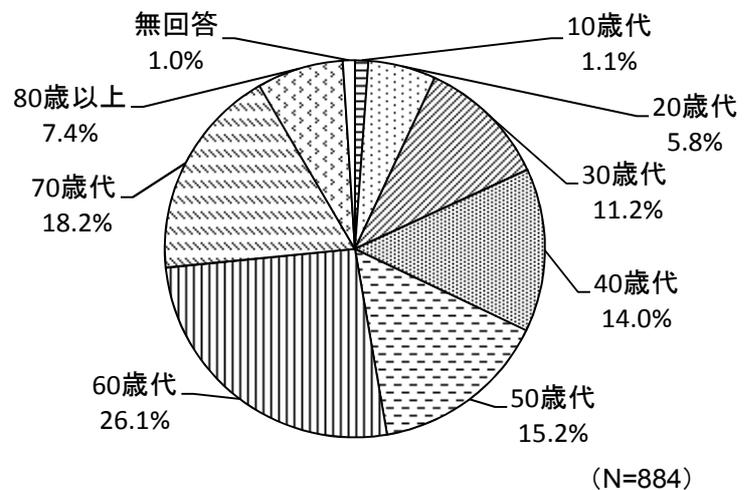
5. 50歳代

6. 60歳代

7. 70歳代

8. 80歳以上

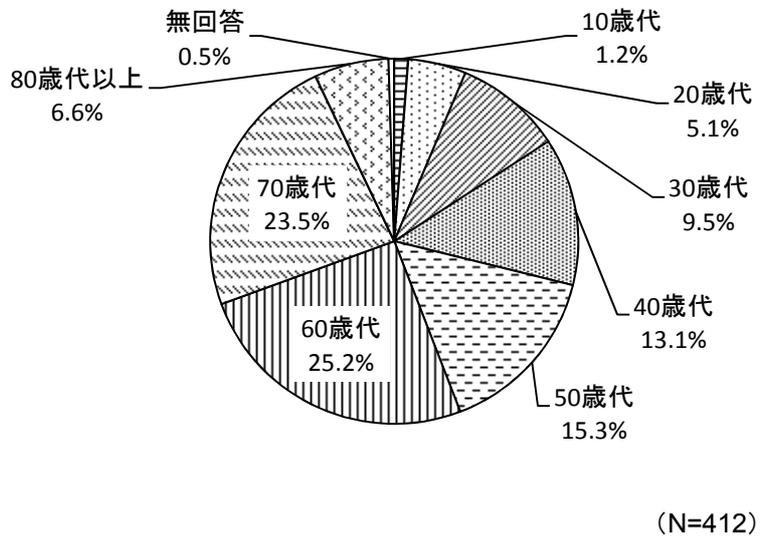
	選択肢	回答者数
1	10歳代	10
2	20歳代	51
3	30歳代	99
4	40歳代	124
5	50歳代	134
6	60歳代	231
7	70歳代	161
8	80歳以上	65
	無回答	9
	合計	884



性別

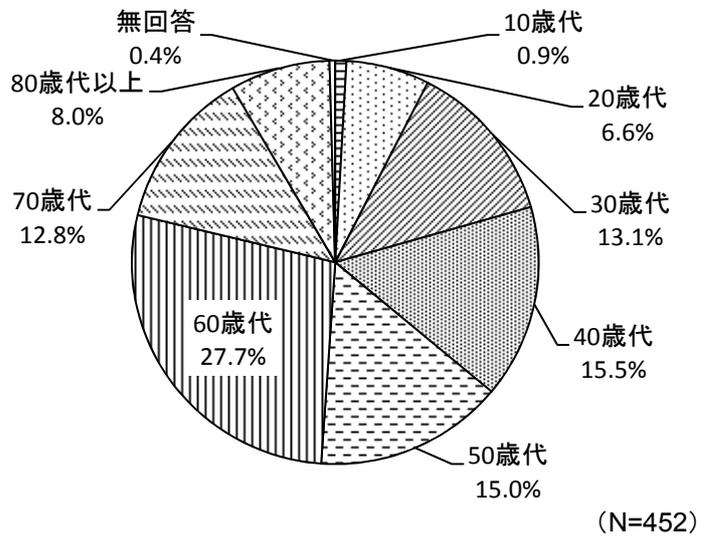
【男性】

	選択肢	回答数
1	10歳代	5
2	20歳代	21
3	30歳代	39
4	40歳代	54
5	50歳代	63
6	60歳代	104
7	70歳代	97
8	80歳代以上	27
	無回答	2
	合計	412



【女性】

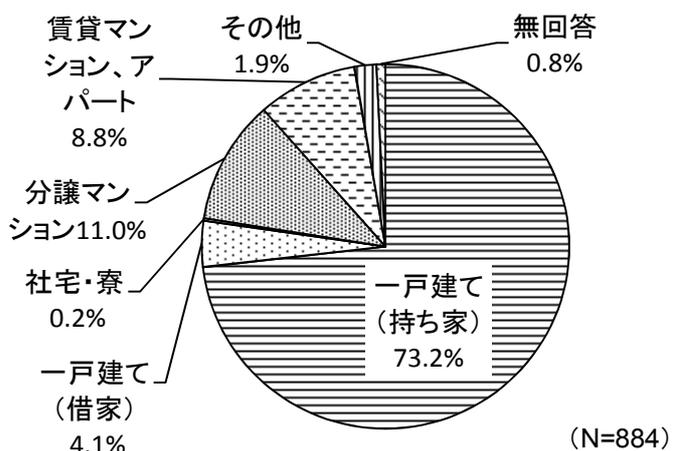
	選択肢	回答数
1	10歳代	4
2	20歳代	30
3	30歳代	59
4	40歳代	70
5	50歳代	68
6	60歳代	125
7	70歳代	58
8	80歳代以上	36
	無回答	2
	合計	452



問3 あなたの住居形態は次のうちどれですか。あてはまる番号を○で囲んでください。

1. 一戸建て(持ち家) 2. 一戸建て(借家) 3. 社宅・寮
4. 分譲マンション 5. 賃貸マンション、アパート 6. その他()

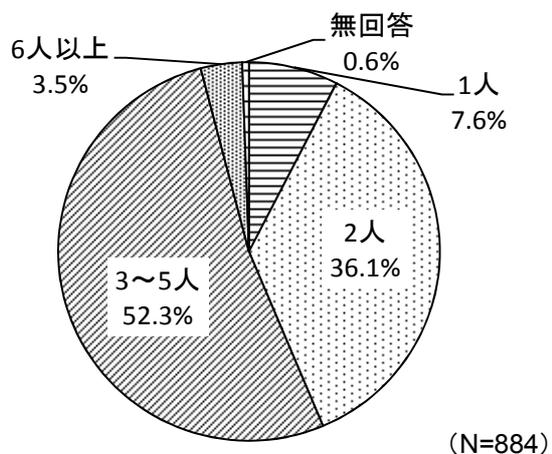
	選択肢	回答者数
1	一戸建て(持ち家)	647
2	一戸建て(借家)	36
3	社宅・寮	2
4	分譲マンション	97
5	賃貸マンション、アパート	78
6	その他	17
	無回答	7
	合計	884



問4 あなた自身を含めたご家族の人数は次のうちどれですか。あてはまる番号を○で囲んでください。

1. 1人 2. 2人 3. 3~5人 4. 6人以上

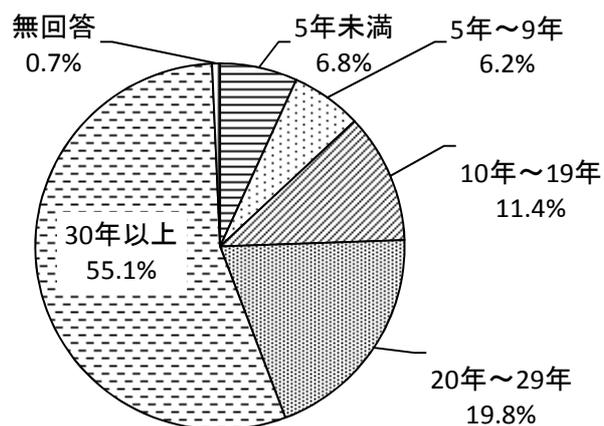
	選択肢	回答者数
1	1人	67
2	2人	319
3	3~5人	462
4	6人以上	31
	無回答	5
	合計	884



問5 あなたは、春日部市(旧春日部市・旧庄和町)に何年住んでいますか。あてはまる番号を○で囲んでください。

1. 5年未満 2. 5年～9年 3. 10年～19年
4. 20年～29年 5. 30年以上

	選択肢	回答者数
1	5年未満	60
2	5年～9年	55
3	10年～19年	101
4	20年～29年	175
5	30年以上	487
	無回答	6
	合計	884

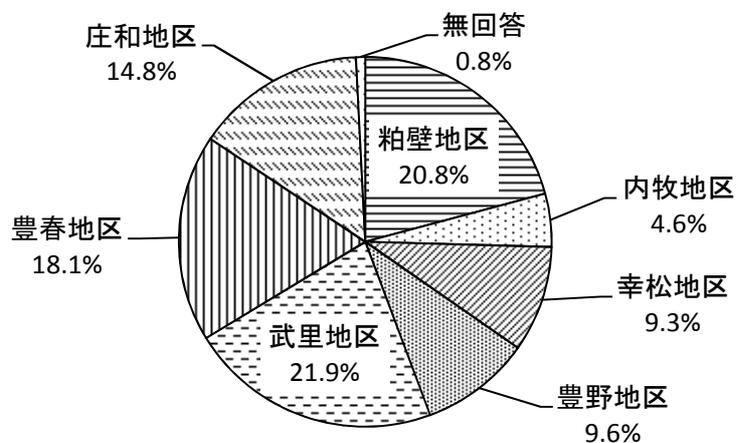


(N=884)

問6 あなたがお住まいの地区は、次のうちどれですか。あてはまる番号を○で囲んでください。

1. 粕壁地区 2. 内牧地区 3. 幸松地区 4. 豊野地区
5. 武里地区 6. 豊春地区 7. 庄和地区

	選択肢	回答者数
1	粕壁地区	184
2	内牧地区	41
3	幸松地区	82
4	豊野地区	85
5	武里地区	194
6	豊春地区	160
7	庄和地区	131
	無回答	7
	合計	884

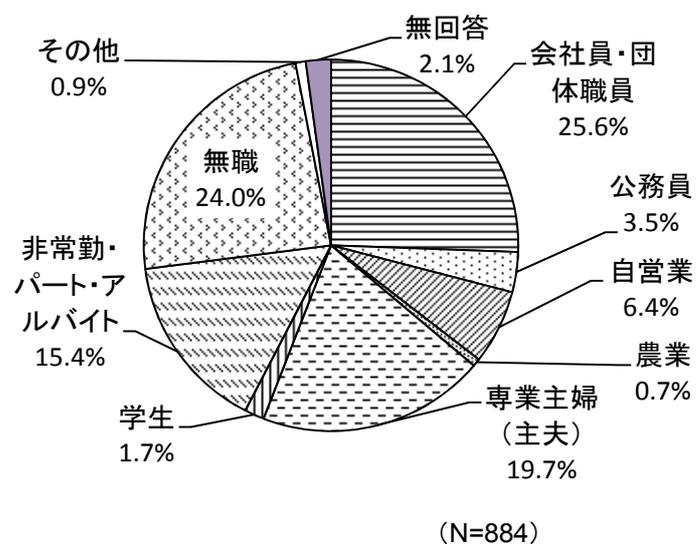


(N=884)

問7 あなたの職業は次のうちどれですか。あてはまる番号を○で囲んでください。

1. 会社員・団体職員 2. 公務員 3. 自営業 4. 農業 5. 専業主婦(主夫)
 6. 学生 7. 非常勤・パート・アルバイト 8. 無職 9. その他()

	選択肢	回答者数
1	会社員・団体職員	226
2	公務員	31
3	自営業	57
4	農業	6
5	専業主婦(主夫)	174
6	学生	15
7	非常勤・パート・アルバイト	136
8	無職	212
9	その他	8
	無回答	19
	合計	884



● あなたの普段の環境活動についてお伺いします ●

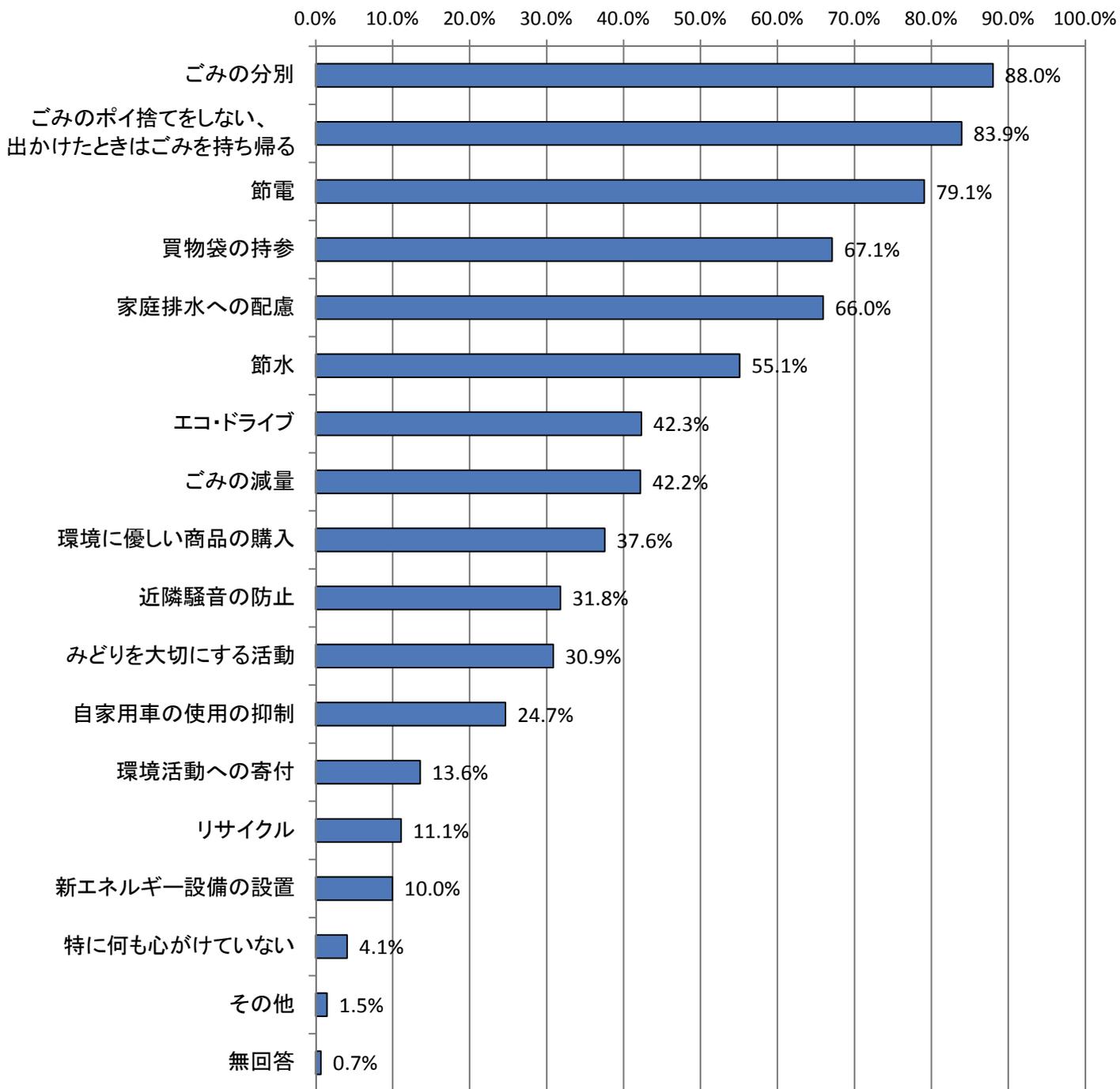
問8 環境に関して、普段あなたが取り組んでいることを教えてください。あてはまる番号を全て○で囲んでください。

省資源	1. 節電(こまめな消灯や冷暖房の温度設定の管理など) 2. 節水(洗濯に風呂の残り湯を使用したり、植物の水やりに雨水を使用するなど) 3. ごみの減量(過剰な包装は断る、生ごみを少なくするなど) 4. ごみの分別(空き缶やびん、ペットボトル、雑誌など) 5. 環境に優しい商品の購入(環境ラベル商品や地場産品、詰め替え製品など) 6. 買物袋の持参(エコバッグなど) 7. リサイクル(生ごみや調理くずを堆肥にするなど)
地球温暖化防止	8. 新エネルギー設備の設置(ソーラーシステム(給湯、冷暖房)や太陽光発電など) 9. エコドライブ(自動車に乗るときはアイドリングをしないなど) 10. 自家用車の使用の抑制(公共交通機関の積極的な利用など)
生活環境	11. 家庭排水への配慮(油や調理くずなどを下水に流さないようにするなど) 12. 近隣騒音(ピアノなどの音漏れ)の防止 13. ごみのポイ捨てをしない、出かけたときはごみを持ち帰る
環境活動	14. みどりを大切に活動(周囲に草木を植えたり、周辺の雑木林の管理をするなど) 15. 環境活動への寄付(地球環境基金や緑の募金など)
	16. 特に何も心がけていない 17. その他()

全体

環境に関して普段取り組んでいることについて、最も多い回答は「ごみの分別」(88.0%)となっています。

	選択肢	回答者数
1	節電	699
2	節水	487
3	ごみの減量	373
4	ごみの分別	778
5	環境に優しい商品の購入	332
6	買物袋の持参	593
7	リサイクル	98
8	新エネルギー設備の設置	88
9	エコドライブ	374
10	自家用車の使用の抑制	218
11	家庭排水への配慮	583
12	近隣騒音の防止	281
13	ごみのポイ捨てをしない、 出かけたときはごみを持ち帰る	742
14	みどりを大切に活動	273
15	環境活動への寄付	120
16	特に何も心がけていない	36
17	その他	13
	無回答	6
	合計(延べ回答数)	6094



(N=884)

性別

男女ともに「ごみの分別」が最も多く、次いで「ごみのポイ捨てをしない、出かけたときはごみを持ち帰る」となっています。

白文字 = 1位

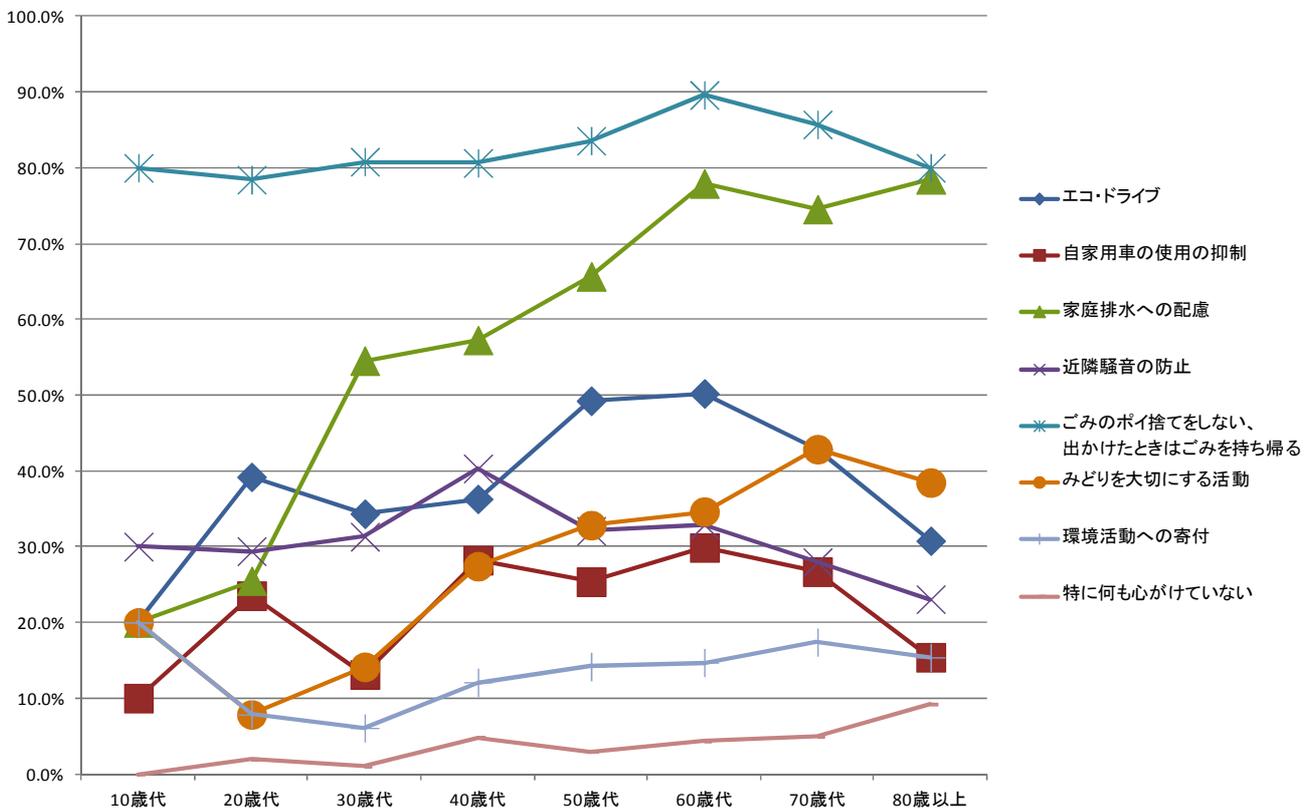
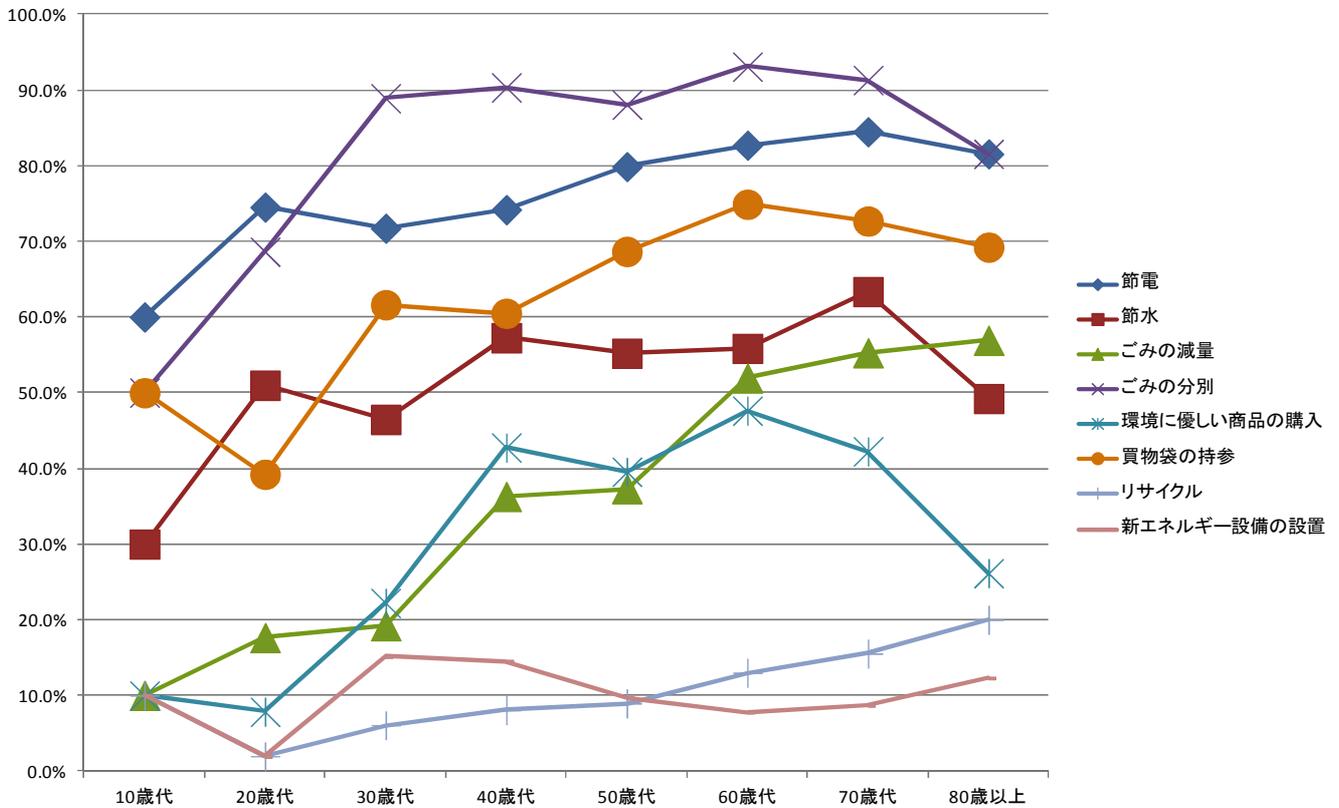
黒文字 = 2位

		回答者数	節電	節水	ごみの減量	ごみの分別	環境に優しい商品の購入	買物袋の持参	リサイクル	新エネルギー設備の設置
合計	人数	884	699	487	373	778	332	593	98	88
	構成比		79.1%	55.1%	42.2%	88.0%	37.6%	67.1%	11.1%	10.0%
男性	人数	412	310	205	153	357	105	235	46	42
	構成比		75.2%	49.8%	37.1%	86.7%	25.5%	57.0%	11.2%	10.2%
女性	人数	452	375	271	211	408	222	348	49	45
	構成比		83.0%	60.0%	46.7%	90.3%	49.1%	77.0%	10.8%	10.0%
無回答	人数	20	14	11	9	13	5	10	3	1
	構成比		70.0%	55.0%	45.0%	65.0%	25.0%	50.0%	15.0%	5.0%

		エコドライブ	自家用車の使用の抑制	家庭排水への配慮	近隣騒音の防止	ごみのポイ捨てをしない、出かけたときはごみを持ち帰る	みどりを大切にす活動	環境活動への寄付	特に何も心がけていない	その他	無回答
合計	人数	374	218	583	281	742	273	120	36	13	6
	構成比	42.3%	24.7%	66.0%	31.8%	83.9%	30.9%	13.6%	4.1%	1.5%	0.7%
男性	人数	196	116	227	112	334	127	42	21	8	1
	構成比	47.6%	28.2%	55.1%	27.2%	81.1%	30.8%	10.2%	5.1%	1.9%	0.2%
女性	人数	173	101	345	164	396	144	76	13	4	1
	構成比	38.3%	22.3%	76.3%	36.3%	87.6%	31.9%	16.8%	2.9%	0.9%	0.2%
無回答	人数	5	1	11	5	12	2	2	2	1	4
	構成比	25.0%	5.0%	55.0%	25.0%	60.0%	10.0%	10.0%	10.0%	5.0%	20.0%

年代別

10歳代・20歳代では「ごみのポイ捨てをしない、出かけたときはごみを持ち帰る」が最も多く、30歳代以上では「ごみの分別」が最も多くなっています。なお、80歳以上では「節電」が同率で最も多くなっています。



白文字 = 1位

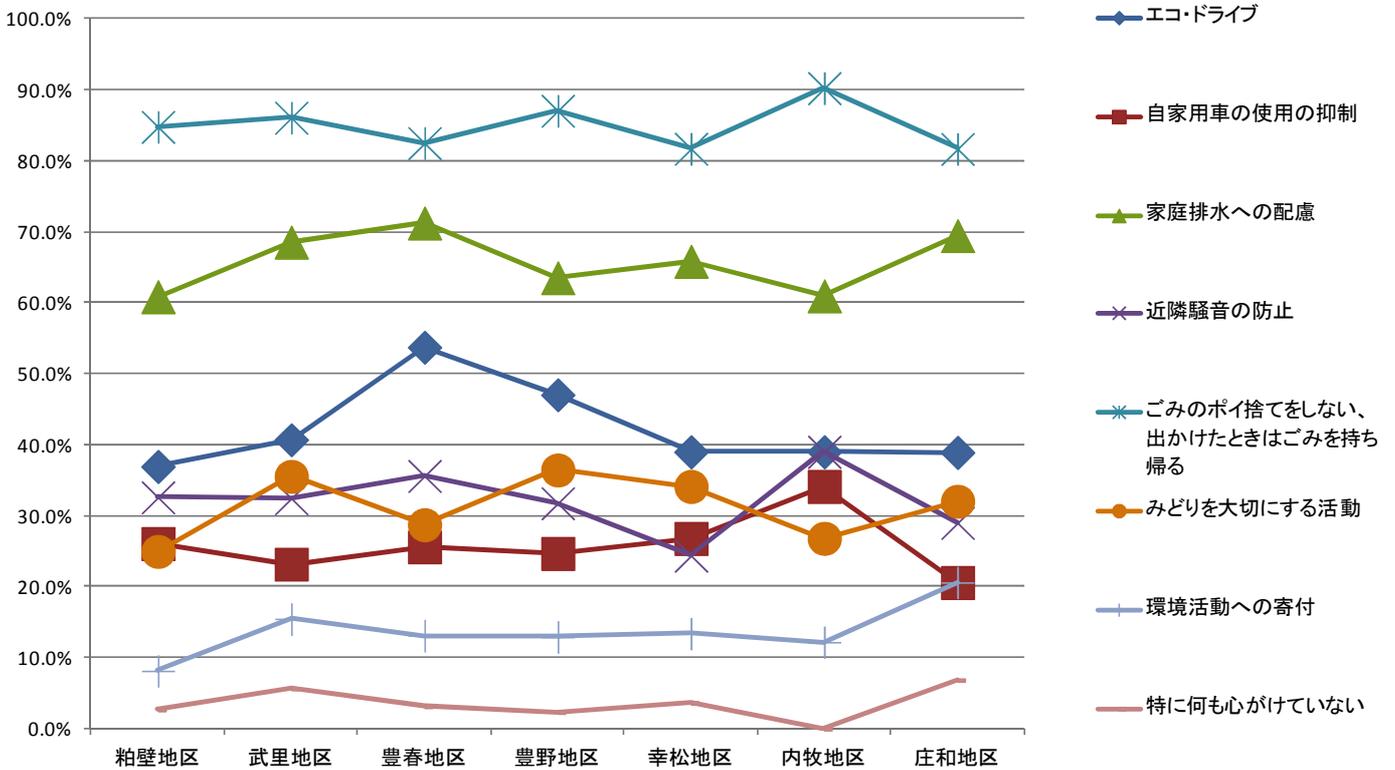
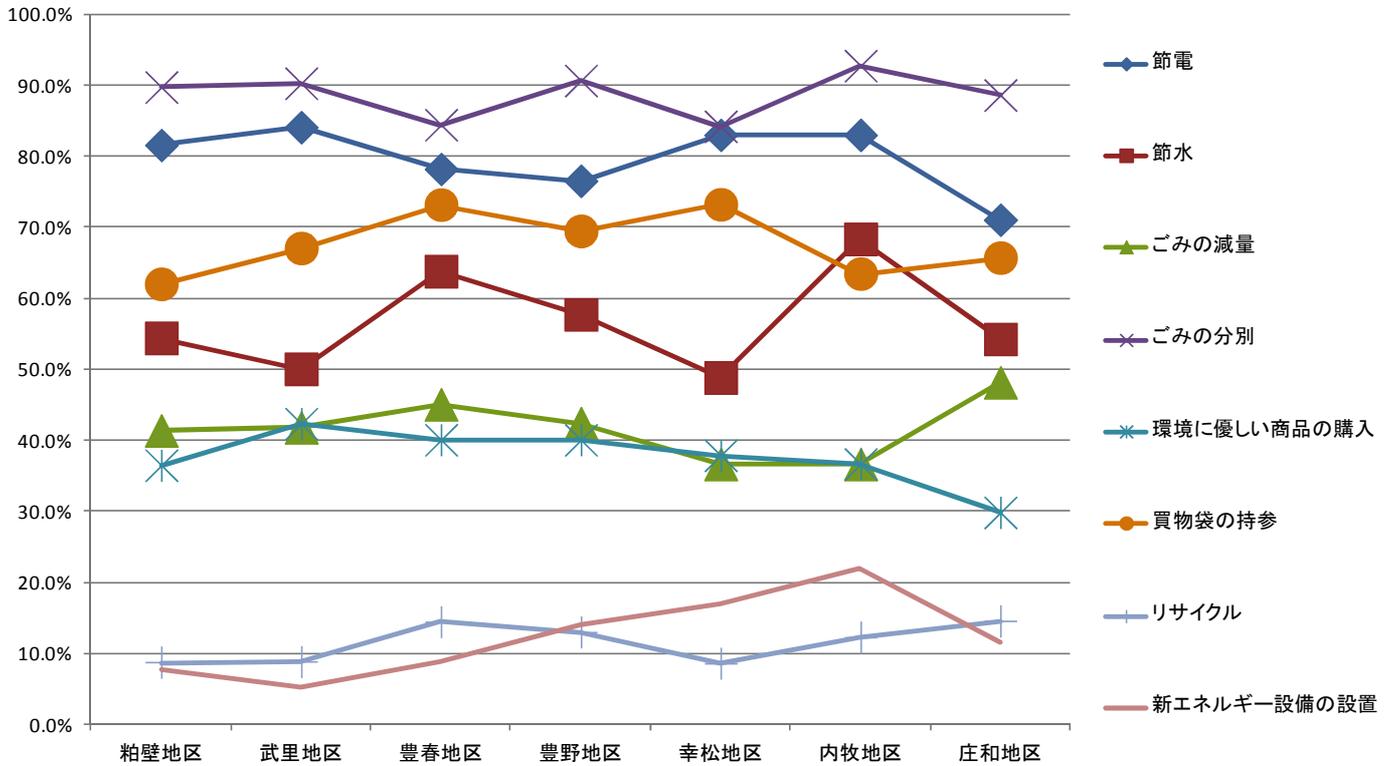
黒文字 = 2位

		回答者数	節電	節水	ごみの減量	ごみの分別	環境に優しい商品の購入	買物袋の持参	リサイクル	新エネルギー設備の設置
合計	人数	884	699	487	373	778	332	593	98	88
	構成比		79.1%	55.1%	42.2%	88.0%	37.6%	67.1%	11.1%	10.0%
10歳代	人数	10	6	3	1	5	1	5	1	1
	構成比		60.0%	30.0%	10.0%	50.0%	10.0%	50.0%	10.0%	10.0%
20歳代	人数	51	38	26	9	35	4	20	1	1
	構成比		74.5%	51.0%	17.6%	68.6%	7.8%	39.2%	2.0%	2.0%
30歳代	人数	99	71	46	19	88	22	61	6	15
	構成比		71.7%	46.5%	19.2%	88.9%	22.2%	61.6%	6.1%	15.2%
40歳代	人数	124	92	71	45	112	53	75	10	18
	構成比		74.2%	57.3%	36.3%	90.3%	42.7%	60.5%	8.1%	14.5%
50歳代	人数	134	107	74	50	118	53	92	12	13
	構成比		79.9%	55.2%	37.3%	88.1%	39.6%	68.7%	9.0%	9.7%
60歳代	人数	231	191	129	120	215	110	173	30	18
	構成比		82.7%	55.8%	51.9%	93.1%	47.6%	74.9%	13.0%	7.8%
70歳代	人数	161	136	102	89	147	68	117	25	14
	構成比		84.5%	63.4%	55.3%	91.3%	42.2%	72.7%	15.5%	8.7%
80歳代以上	人数	65	53	32	37	53	17	45	13	8
	構成比		81.5%	49.2%	56.9%	81.5%	26.2%	69.2%	20.0%	12.3%
無回答	人数	9	5	4	3	5	4	5	0	0
	構成比		55.6%	44.4%	33.3%	55.6%	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%

		エコ・ドライブ	自家用車の使用の抑制	家庭排水への配慮	近隣騒音の防止	ごみのポイ捨てをしない、出かけたときはごみを持ち帰る	みどりを大切にす活動	環境活動への寄付	特に何も心がけていない	その他	無回答
合計	人数	374	218	583	281	742	273	120	36	13	6
	構成比	42.3%	24.7%	66.0%	31.8%	83.9%	30.9%	13.6%	4.1%	1.5%	0.7%
10歳代	人数	2	1	2	3	8	2	2	0	0	0
	構成比	20.0%	10.0%	20.0%	30.0%	80.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代	人数	20	12	13	15	40	4	4	1	0	0
	構成比	39.2%	23.5%	25.5%	29.4%	78.4%	7.8%	7.8%	2.0%	0.0%	0.0%
30歳代	人数	34	13	54	31	80	14	6	1	0	0
	構成比	34.3%	13.1%	54.5%	31.3%	80.8%	14.1%	6.1%	1.0%	0.0%	0.0%
40歳代	人数	45	35	71	50	100	34	15	6	0	0
	構成比	36.3%	28.2%	57.3%	40.3%	80.6%	27.4%	12.1%	4.8%	0.0%	0.0%
50歳代	人数	66	34	88	43	112	44	19	4	1	0
	構成比	49.3%	25.4%	65.7%	32.1%	83.6%	32.8%	14.2%	3.0%	0.7%	0.0%
60歳代	人数	116	69	180	76	207	80	34	10	6	0
	構成比	50.2%	29.9%	77.9%	32.9%	89.6%	34.6%	14.7%	4.3%	2.6%	0.0%
70歳代	人数	69	43	120	45	138	69	28	8	4	0
	構成比	42.9%	26.7%	74.5%	28.0%	85.7%	42.9%	17.4%	5.0%	2.5%	0.0%
80歳代以上	人数	20	10	51	15	52	25	10	6	2	2
	構成比	30.8%	15.4%	78.5%	23.1%	80.0%	38.5%	15.4%	9.2%	3.1%	3.1%
無回答	人数	2	1	4	3	5	1	2	0	0	4
	構成比	22.2%	11.1%	44.4%	33.3%	55.6%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%	44.4%

地区別

すべての地区において「ごみの分別」が最も多く、次いで幸松地区は「節電」、その他の地区は「ごみのポイ捨てをしない、出かけたときはごみを持ち帰る」となっています。



白文字 = 1位

黒文字 = 2位

		回答者数	節電	節水	ごみの減量	ごみの分別	環境に優しい商品の購入	買物袋の持参	リサイクル	新エネルギー設備の設置
合計	人数	884	699	487	373	778	332	593	98	88
	構成比		79.1%	55.1%	42.2%	88.0%	37.6%	67.1%	11.1%	10.0%
粕壁地区	人数	184	150	100	76	165	67	114	16	14
	構成比		81.5%	54.3%	41.3%	89.7%	36.4%	62.0%	8.7%	7.6%
武里地区	人数	194	163	97	81	175	82	130	17	10
	構成比		84.0%	50.0%	41.8%	90.2%	42.3%	67.0%	8.8%	5.2%
豊春地区	人数	160	125	102	72	135	64	117	23	14
	構成比		78.1%	63.8%	45.0%	84.4%	40.0%	73.1%	14.4%	8.8%
豊野地区	人数	85	65	49	36	77	34	59	11	12
	構成比		76.5%	57.6%	42.4%	90.6%	40.0%	69.4%	12.9%	14.1%
幸松地区	人数	82	68	40	30	69	31	60	7	14
	構成比		82.9%	48.8%	36.6%	84.1%	37.8%	73.2%	8.5%	17.1%
内牧地区	人数	41	34	28	15	38	15	26	5	9
	構成比		82.9%	68.3%	36.6%	92.7%	36.6%	63.4%	12.2%	22.0%
庄和地区	人数	131	93	71	63	116	39	86	19	15
	構成比		71.0%	54.2%	48.1%	88.5%	29.8%	65.6%	14.5%	11.5%
無回答	人数	7	1	0	0	3	0	1	0	0
	構成比		14.3%	0.0%	0.0%	42.9%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%

		エコ・ドライブ	自家用車の使用の抑制	家庭排水への配慮	近隣騒音の防止	ごみのポイ捨てをしない、出かけたときはごみを持ち帰る	みどりを大切にす活動	環境活動への寄付	特に何も心がけていない	その他	無回答
合計	人数	374	218	583	281	742	273	120	36	13	6
	構成比	42.3%	24.7%	66.0%	31.8%	83.9%	30.9%	13.6%	4.1%	1.5%	0.7%
粕壁地区	人数	68	48	112	60	156	46	15	5	1	0
	構成比	37.0%	26.1%	60.9%	32.6%	84.8%	25.0%	8.2%	2.7%	0.5%	0.0%
武里地区	人数	79	45	133	63	167	69	30	11	4	0
	構成比	40.7%	23.2%	68.6%	32.5%	86.1%	35.6%	15.5%	5.7%	2.1%	0.0%
豊春地区	人数	86	41	114	57	132	46	21	5	2	0
	構成比	53.8%	25.6%	71.3%	35.6%	82.5%	28.8%	13.1%	3.1%	1.3%	0.0%
豊野地区	人数	40	21	54	27	74	31	11	2	1	1
	構成比	47.1%	24.7%	63.5%	31.8%	87.1%	36.5%	12.9%	2.4%	1.2%	1.2%
幸松地区	人数	32	22	54	20	67	28	11	3	2	0
	構成比	39.0%	26.8%	65.9%	24.4%	81.7%	34.1%	13.4%	3.7%	2.4%	0.0%
内牧地区	人数	16	14	25	16	37	11	5	0	0	1
	構成比	39.0%	34.1%	61.0%	39.0%	90.2%	26.8%	12.2%	0.0%	0.0%	2.4%
庄和地区	人数	51	27	91	38	107	42	27	9	3	0
	構成比	38.9%	20.6%	69.5%	29.0%	81.7%	32.1%	20.6%	6.9%	2.3%	0.0%
無回答	人数	2	0	0	0	2	0	0	1	0	4
	構成比	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	57.1%

問9 あなたは、これまでに環境に係わる活動に参加したことがありますか。それぞれの項目について、あてはまる番号1～3の中から1つだけ○で囲んでください。

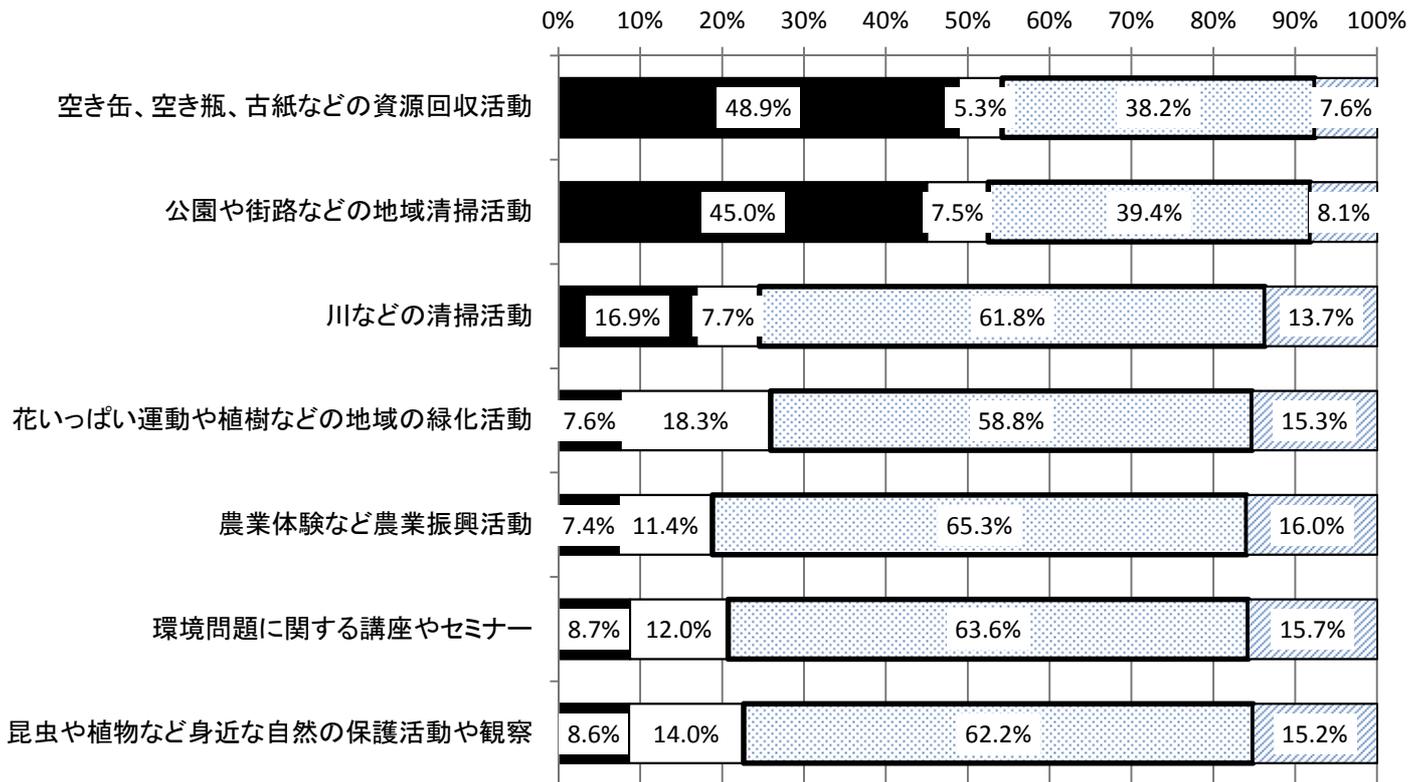
項目		参加したことがある	参加したことはないが、今後参加したい	参加したことがない
A	空き缶、空き瓶、古紙などの資源回収活動	1	2	3
B	公園や街路などの地域清掃活動	1	2	3
C	川などの清掃活動	1	2	3
D	花いっぱい運動や植樹などの地域の緑化活動	1	2	3
E	農業体験など農業振興活動	1	2	3
F	環境問題に関する講座やセミナー	1	2	3
G	昆虫や植物など身近な自然の保護活動や観察	1	2	3

全体

環境に係わる活動に参加したことがあるかについて、「参加したことがある」が最も多いのは「空き缶、空き瓶、古紙などの資源回収活動」、「公園や街路などの地域清掃活動」となっています。これら以外の項目では、「参加したことがない」が最も多くなっています。

白文字 = 1位 黒文字 = 2位

項目		参加したことがある	参加したことはないが、今後参加したい	参加したことがない	無回答	合計
A	空き缶、空き瓶、古紙などの資源回収活動	人数 432	47	338	67	884
		構成比 48.9%	5.3%	38.2%	7.6%	100.0%
B	公園や街路などの地域清掃活動	人数 398	66	348	72	884
		構成比 45.0%	7.5%	39.4%	8.1%	100.0%
C	川などの清掃活動	人数 149	68	546	121	884
		構成比 16.9%	7.7%	61.8%	13.7%	100.0%
D	花いっぱい運動や植樹などの地域の緑化活動	人数 67	162	520	135	884
		構成比 7.6%	18.3%	58.8%	15.3%	100.0%
E	農業体験など農業振興活動	人数 65	101	577	141	884
		構成比 7.4%	11.4%	65.3%	16.0%	100.0%
F	環境問題に関する講座やセミナー	人数 77	106	562	139	884
		構成比 8.7%	12.0%	63.6%	15.7%	100.0%
G	昆虫や植物など身近な自然の保護活動や観察	人数 76	124	550	134	884
		構成比 8.6%	14.0%	62.2%	15.2%	100.0%



■ 参加したことがある □ 参加したことはないが、今後参加したい ■ 参加したことがない □ 無回答

(N=884)

性別

「参加したことがある」活動と「参加したことがない」活動について、男性・女性ともに同様の傾向となっています。

男性

白文字 = 1位 黒文字 = 2位

項目		合計	参加したことがある	参加したことは ないが、今後参 加したい	参加したことが ない	無回答
A	空き缶、空き瓶、古紙などの 資源回収活動	412	196	22	163	31
			47.6%	5.3%	39.6%	7.5%
B	公園や街路などの 地域清掃活動	412	185	24	170	33
			44.9%	5.8%	41.3%	8.0%
C	川などの清掃活動	412	85	32	241	54
			20.6%	7.8%	58.5%	13.1%
D	花いっぱい運動や植樹 などの地域の緑化活動	412	23	65	258	66
			5.6%	15.8%	62.6%	16.0%
E	農業体験など農業振興活動	412	38	43	266	65
			9.2%	10.4%	64.6%	15.8%
F	環境問題に関する講座やセミ ナー	412	38	52	258	64
			9.2%	12.6%	62.6%	15.5%
G	昆虫や植物など身近な 自然の保護活動や観察	412	33	61	255	63
			8.0%	14.8%	61.9%	15.3%

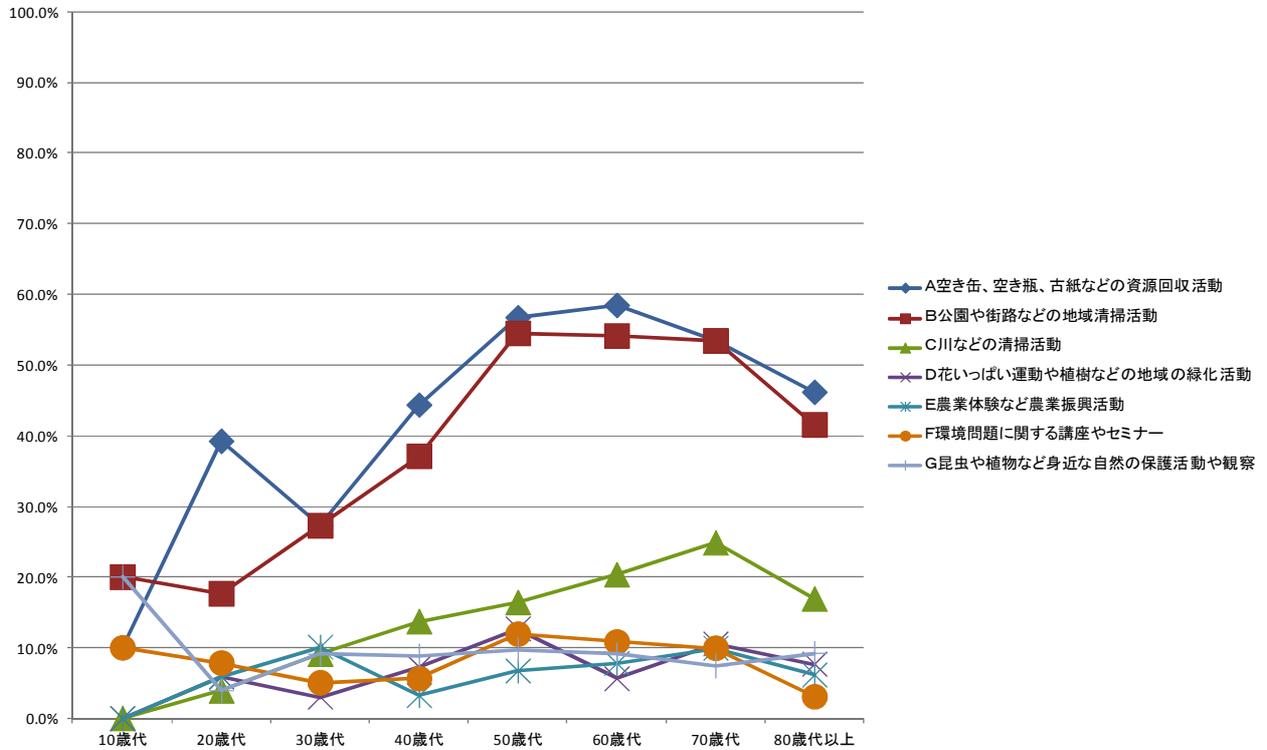
女性

項目		合計	参加したことがある	参加したことは ないが、今後参 加したい	参加したことが ない	無回答
A	空き缶、空き瓶、古紙などの 資源回収活動	452	227	24	173	28
			50.2%	5.3%	38.3%	6.2%
B	公園や街路などの 地域清掃活動	452	208	40	174	30
			46.0%	8.8%	38.5%	6.6%
C	川などの清掃活動	452	62	36	298	56
			13.7%	8.0%	65.9%	12.4%
D	花いっぱい運動や植樹 などの地域の緑化活動	452	42	95	256	59
			9.3%	21.0%	56.6%	13.1%
E	農業体験など農業振興活動	452	26	57	304	65
			5.8%	12.6%	67.3%	14.4%
F	環境問題に関する講座やセミ ナー	452	37	53	298	64
			8.2%	11.7%	65.9%	14.2%
G	昆虫や植物など身近な 自然の保護活動や観察	452	42	61	289	60
			9.3%	13.5%	63.9%	13.3%

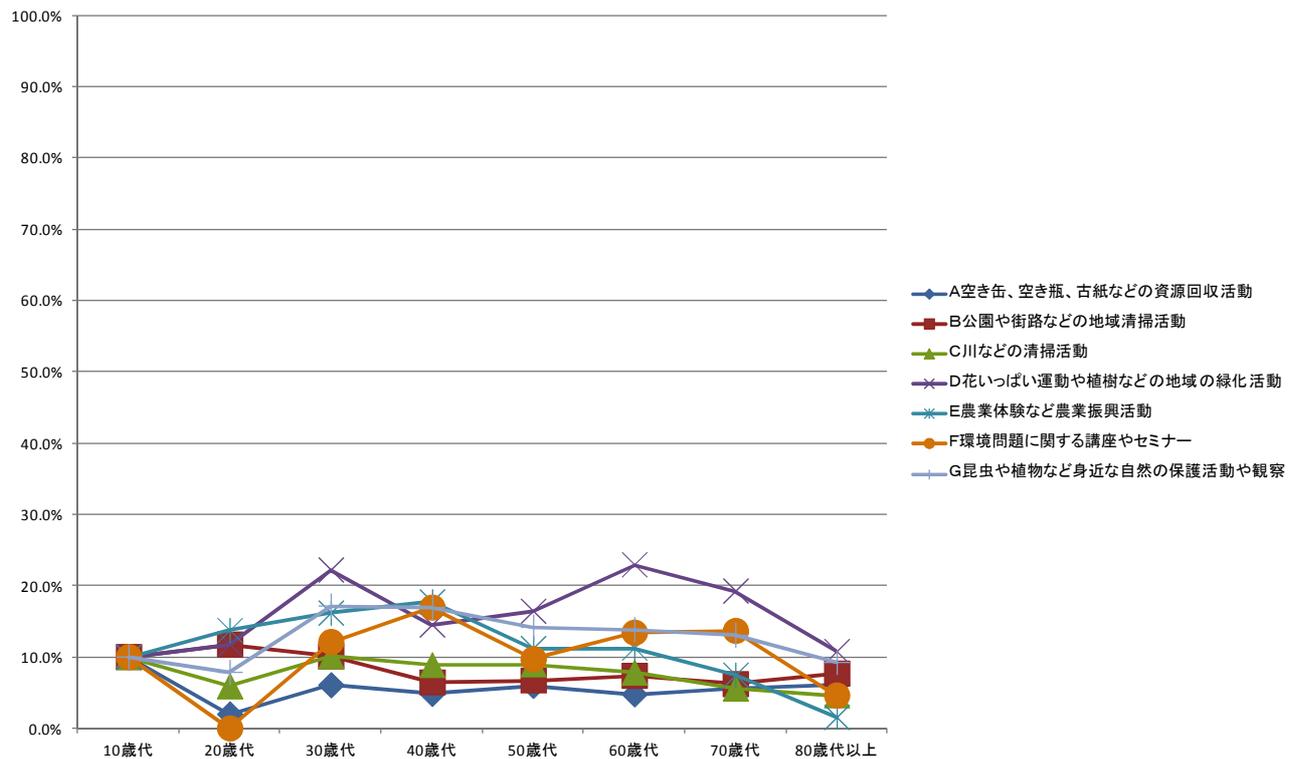
年代別

各活動項目について、10歳代から40歳代では「参加したことがない」が最も多い回答になっています。

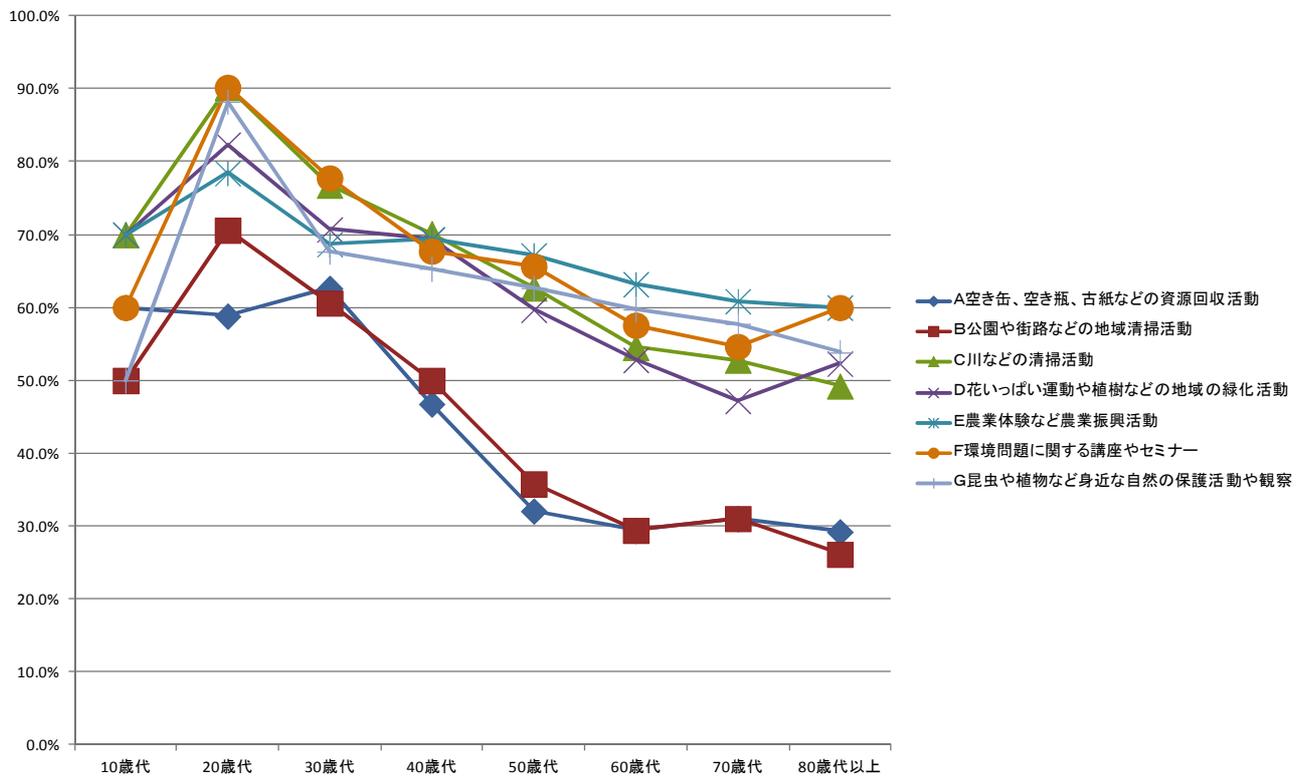
参加したことがある



参加したことはないが、今後参加したい



参加したことがない



10歳代

白文字 = 1位

黒文字 = 2位

項目		合計	参加したことがある	参加したことはないが、今後参加したい	参加したことがない	無回答
A	空き缶、空き瓶、古紙などの資源回収活動	10	1	1	6	2
	人数		10.0%	10.0%	60.0%	20.0%
B	公園や街路などの地域清掃活動	10	2	1	5	2
	人数		20.0%	10.0%	50.0%	20.0%
C	川などの清掃活動	10	0	1	7	2
	人数		0.0%	10.0%	70.0%	20.0%
D	花いっぱい運動や植樹などの地域の緑化活動	10	0	1	7	2
	人数		0.0%	10.0%	70.0%	20.0%
E	農業体験など農業振興活動	10	0	1	7	2
	人数		0.0%	10.0%	70.0%	20.0%
F	環境問題に関する講座やセミナー	10	1	1	6	2
	人数		10.0%	10.0%	60.0%	20.0%
G	昆虫や植物など身近な自然の保護活動や観察	10	2	1	5	2
	人数		20.0%	10.0%	50.0%	20.0%

20歳代

項目		合計	参加したことがある	参加したことはないが、今後参加したい	参加したことがない	無回答
A	空き缶、空き瓶、古紙などの資源回収活動	51	20	1	30	0
	人数		39.2%	2.0%	58.8%	0.0%
B	公園や街路などの地域清掃活動	51	9	6	36	0
	人数		17.6%	11.8%	70.6%	0.0%
C	川などの清掃活動	51	2	3	46	0
	人数		3.9%	5.9%	90.2%	0.0%
D	花いっぱい運動や植樹などの地域の緑化活動	51	3	6	42	0
	人数		5.9%	11.8%	82.4%	0.0%
E	農業体験など農業振興活動	51	3	7	40	1
	人数		5.9%	13.7%	78.4%	2.0%
F	環境問題に関する講座やセミナー	51	4	0	46	1
	人数		7.8%	0.0%	90.2%	2.0%
G	昆虫や植物など身近な自然の保護活動や観察	51	2	4	45	0
	人数		3.9%	7.8%	88.2%	0.0%

30歳代

項目		合計	参加したことがある	参加したことはないが、今後参加したい	参加したことがない	無回答
A	空き缶、空き瓶、古紙などの資源回収活動	99	27	6	62	4
	人数		27.3%	6.1%	62.6%	4.0%
B	公園や街路などの地域清掃活動	99	27	10	60	2
	人数		27.3%	10.1%	60.6%	2.0%
C	川などの清掃活動	99	9	10	76	4
	人数		9.1%	10.1%	76.8%	4.0%
D	花いっぱい運動や植樹などの地域の緑化活動	99	3	22	70	4
	人数		3.0%	22.2%	70.7%	4.0%
E	農業体験など農業振興活動	99	10	16	68	5
	人数		10.1%	16.2%	68.7%	5.1%
F	環境問題に関する講座やセミナー	99	5	12	77	5
	人数		5.1%	12.1%	77.8%	5.1%
G	昆虫や植物など身近な自然の保護活動や観察	99	9	17	67	6
	人数		9.1%	17.2%	67.7%	6.1%

40歳代

白文字 = 1位

黒文字 = 2位

項目		合計	参加したことがある	参加したことはないが、今後参加したい	参加したことがない	無回答
A	空き缶、空き瓶、古紙などの資源回収活動	人数	55	6	58	5
		構成比	44.4%	4.8%	46.8%	4.0%
B	公園や街路などの地域清掃活動	人数	46	8	62	8
		構成比	37.1%	6.5%	50.0%	6.5%
C	川などの清掃活動	人数	17	11	87	9
		構成比	13.7%	8.9%	70.2%	7.3%
D	花いっぱい運動や植樹などの地域の緑化活動	人数	9	18	86	11
		構成比	7.3%	14.5%	69.4%	8.9%
E	農業体験など農業振興活動	人数	4	22	86	12
		構成比	3.2%	17.7%	69.4%	9.7%
F	環境問題に関する講座やセミナー	人数	7	21	84	12
		構成比	5.6%	16.9%	67.7%	9.7%
G	昆虫や植物など身近な自然の保護活動や観察	人数	11	21	81	11
		構成比	8.9%	16.9%	65.3%	8.9%

50歳代

項目		合計	参加したことがある	参加したことはないが、今後参加したい	参加したことがない	無回答
A	空き缶、空き瓶、古紙などの資源回収活動	人数	76	8	43	7
		構成比	56.7%	6.0%	32.1%	5.2%
B	公園や街路などの地域清掃活動	人数	73	9	48	4
		構成比	54.5%	6.7%	35.8%	3.0%
C	川などの清掃活動	人数	22	12	84	16
		構成比	16.4%	9.0%	62.7%	11.9%
D	花いっぱい運動や植樹などの地域の緑化活動	人数	17	22	80	15
		構成比	12.7%	16.4%	59.7%	11.2%
E	農業体験など農業振興活動	人数	9	15	90	20
		構成比	6.7%	11.2%	67.2%	14.9%
F	環境問題に関する講座やセミナー	人数	16	13	88	17
		構成比	11.9%	9.7%	65.7%	12.7%
G	昆虫や植物など身近な自然の保護活動や観察	人数	13	19	84	18
		構成比	9.7%	14.2%	62.7%	13.4%

60歳代

項目		合計	参加したことがある	参加したことはないが、今後参加したい	参加したことがない	無回答
A	空き缶、空き瓶、古紙などの資源回収活動	人数	135	11	68	17
		構成比	58.4%	4.8%	29.4%	7.4%
B	公園や街路などの地域清掃活動	人数	125	17	68	21
		構成比	54.1%	7.4%	29.4%	9.1%
C	川などの清掃活動	人数	47	18	126	40
		構成比	20.3%	7.8%	54.5%	17.3%
D	花いっぱい運動や植樹などの地域の緑化活動	人数	13	53	122	43
		構成比	5.6%	22.9%	52.8%	18.6%
E	農業体験など農業振興活動	人数	18	26	146	41
		構成比	7.8%	11.3%	63.2%	17.7%
F	環境問題に関する講座やセミナー	人数	25	31	133	42
		構成比	10.8%	13.4%	57.6%	18.2%
G	昆虫や植物など身近な自然の保護活動や観察	人数	21	32	138	40
		構成比	9.1%	13.9%	59.7%	17.3%

70歳代

白文字 =1位

黒文字 =2位

項目		合計	参加したことがある	参加したことはないが、今後参加したい	参加したことがない	無回答	
A	空き缶、空き瓶、古紙などの資源回収活動	人数	161	86	9	50	16
		構成比		53.4%	5.6%	31.1%	9.9%
B	公園や街路などの地域清掃活動	人数	161	86	10	50	15
		構成比		53.4%	6.2%	31.1%	9.3%
C	川などの清掃活動	人数	161	40	9	85	27
		構成比		24.8%	5.6%	52.8%	16.8%
D	花いっぱい運動や植樹などの地域の緑化活動	人数	161	17	31	76	37
		構成比		10.6%	19.3%	47.2%	23.0%
E	農業体験など農業振興活動	人数	161	16	12	98	35
		構成比		9.9%	7.5%	60.9%	21.7%
F	環境問題に関する講座やセミナー	人数	161	16	22	88	35
		構成比		9.9%	13.7%	54.7%	21.7%
G	昆虫や植物など身近な自然の保護活動や観察	人数	161	12	21	93	35
		構成比		7.5%	13.0%	57.8%	21.7%

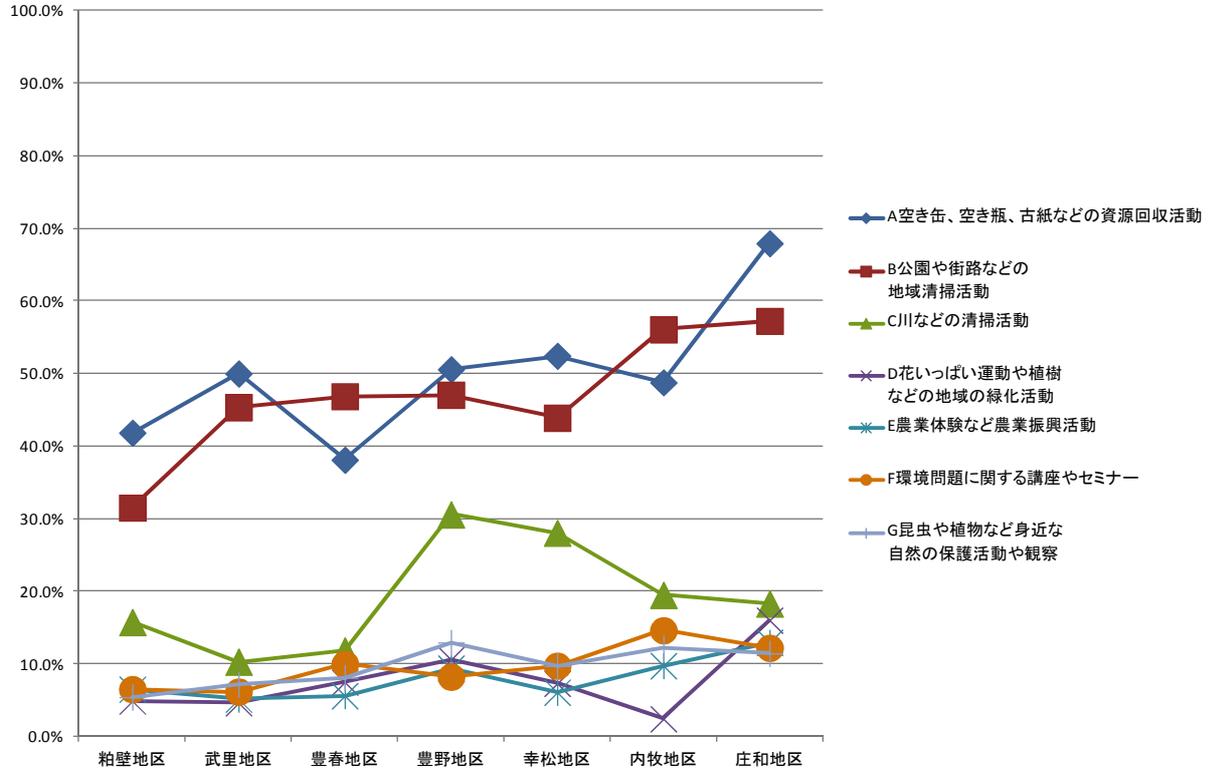
80歳以上

項目		合計	参加したことがある	参加したことはないが、今後参加したい	参加したことがない	無回答	
A	空き缶、空き瓶、古紙などの資源回収活動	人数	65	30	4	19	12
		構成比		46.2%	6.2%	29.2%	18.5%
B	公園や街路などの地域清掃活動	人数	65	27	5	17	16
		構成比		41.5%	7.7%	26.2%	24.6%
C	川などの清掃活動	人数	65	11	3	32	19
		構成比		16.9%	4.6%	49.2%	29.2%
D	花いっぱい運動や植樹などの地域の緑化活動	人数	65	5	7	34	19
		構成比		7.7%	10.8%	52.3%	29.2%
E	農業体験など農業振興活動	人数	65	4	1	39	21
		構成比		6.2%	1.5%	60.0%	32.3%
F	環境問題に関する講座やセミナー	人数	65	2	3	39	21
		構成比		3.1%	4.6%	60.0%	32.3%
G	昆虫や植物など身近な自然の保護活動や観察	人数	65	6	6	35	18
		構成比		9.2%	9.2%	53.8%	27.7%

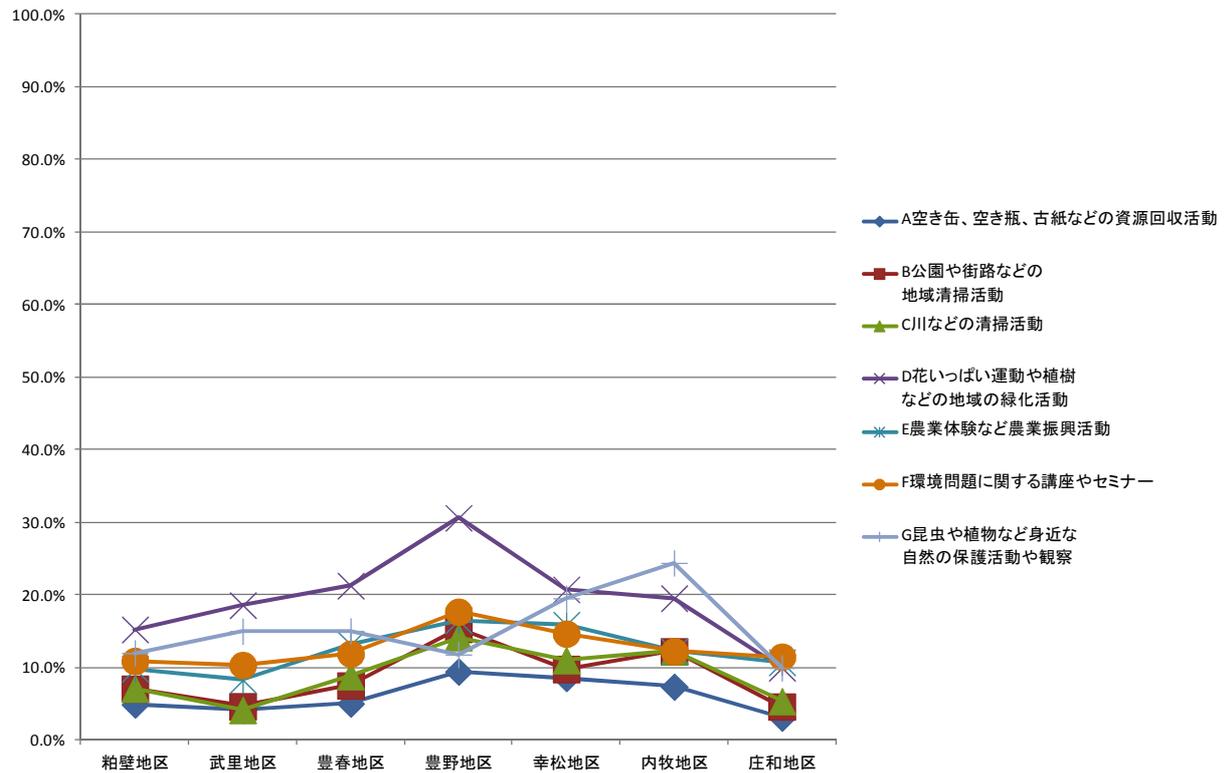
地区別

すべての地区において、参加したことがある環境に係わる活動について、「空き缶、空き瓶、古紙などの資源回収活動」、または「公園や街路などの地域清掃活動」が最も多くなっています。

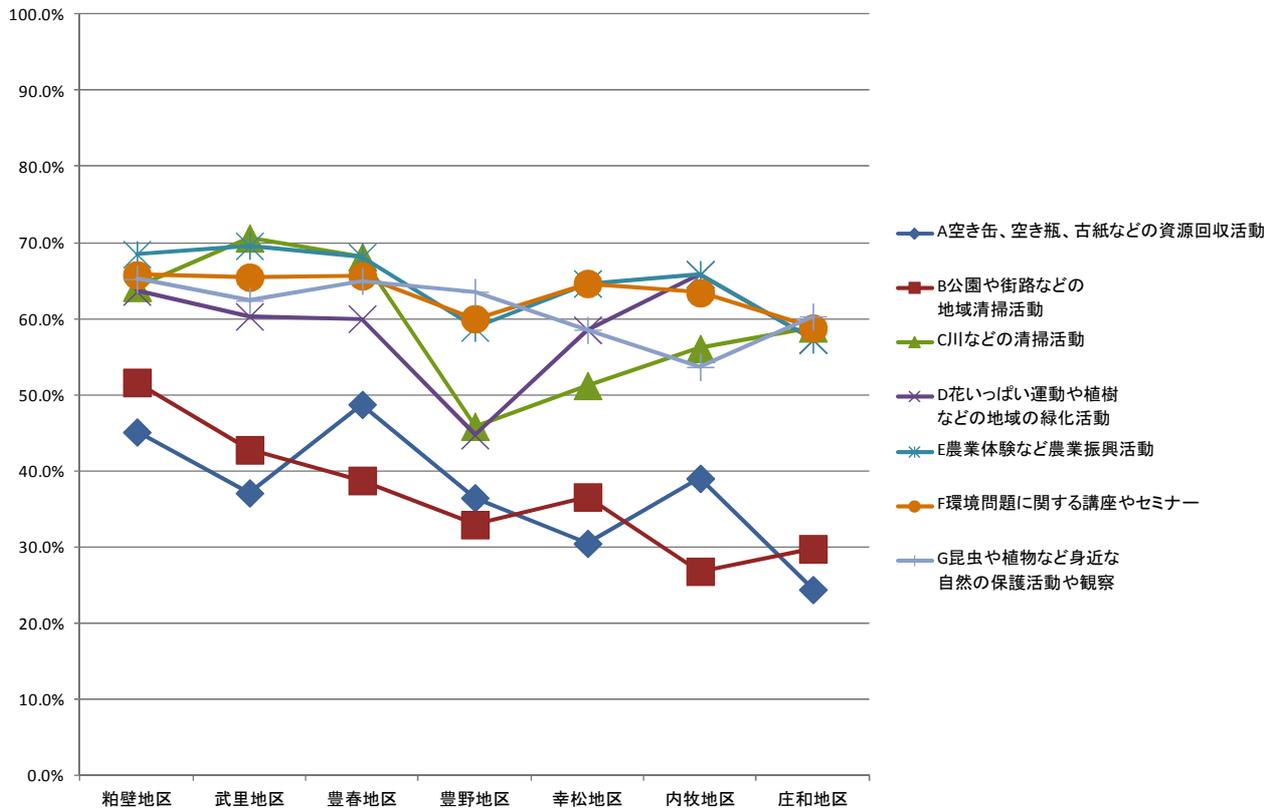
参加したことがある



参加したことはないが、今後参加したい



参加したことがない



粕壁地区

白文字 =1位

黒文字 =2位

		合計	参加したことがある	参加したことはないが、今後参加したい	参加したことがない	無回答
A	空き缶、空き瓶、古紙などの資源回収活動	人数 184	77	9	83	15
		構成比	41.8%	4.9%	45.1%	8.2%
B	公園や街路などの地域清掃活動	人数 184	58	13	95	18
		構成比	31.5%	7.1%	51.6%	9.8%
C	川などの清掃活動	人数 184	29	13	118	24
		構成比	15.8%	7.1%	64.1%	13.0%
D	花いっぱい運動や植樹などの地域の緑化活動	人数 184	9	28	117	30
		構成比	4.9%	15.2%	63.6%	16.3%
E	農業体験など農業振興活動	人数 184	12	18	126	28
		構成比	6.5%	9.8%	68.5%	15.2%
F	環境問題に関する講座やセミナー	人数 184	12	20	121	31
		構成比	6.5%	10.9%	65.8%	16.8%
G	昆虫や植物など身近な自然の保護活動や観察	人数 184	10	22	120	32
		構成比	5.4%	12.0%	65.2%	17.4%

武里地区

		合計	参加したことがある	参加したことはないが、今後参加したい	参加したことがない	無回答
A	空き缶、空き瓶、古紙などの資源回収活動	人数 194	97	8	72	17
		構成比	50.0%	4.1%	37.1%	8.8%
B	公園や街路などの地域清掃活動	人数 194	88	9	83	14
		構成比	45.4%	4.6%	42.8%	7.2%
C	川などの清掃活動	人数 194	20	8	137	29
		構成比	10.3%	4.1%	70.6%	14.9%
D	花いっぱい運動や植樹などの地域の緑化活動	人数 194	9	36	117	32
		構成比	4.6%	18.6%	60.3%	16.5%
E	農業体験など農業振興活動	人数 194	10	16	135	33
		構成比	5.2%	8.2%	69.6%	17.0%
F	環境問題に関する講座やセミナー	人数 194	12	20	127	35
		構成比	6.2%	10.3%	65.5%	18.0%
G	昆虫や植物など身近な自然の保護活動や観察	人数 194	14	29	121	30
		構成比	7.2%	14.9%	62.4%	15.5%

豊春地区

		合計	参加したことがある	参加したことはないが、今後参加したい	参加したことがない	無回答
A	空き缶、空き瓶、古紙などの資源回収活動	人数 160	61	8	78	13
		構成比	38.1%	5.0%	48.8%	8.1%
B	公園や街路などの地域清掃活動	人数 160	75	12	62	11
		構成比	46.9%	7.5%	38.8%	6.9%
C	川などの清掃活動	人数 160	19	14	109	18
		構成比	11.9%	8.8%	68.1%	11.3%
D	花いっぱい運動や植樹などの地域の緑化活動	人数 160	12	34	96	18
		構成比	7.5%	21.3%	60.0%	11.3%
E	農業体験など農業振興活動	人数 160	9	21	109	21
		構成比	5.6%	13.1%	68.1%	13.1%
F	環境問題に関する講座やセミナー	人数 160	16	19	105	20
		構成比	10.0%	11.9%	65.6%	12.5%
G	昆虫や植物など身近な自然の保護活動や観察	人数 160	13	24	104	19
		構成比	8.1%	15.0%	65.0%	11.9%

豊野地区

白文字 =1位

黒文字 =2位

		合計	参加したことがある	参加したことはないが、今後参加したい	参加したことがない	無回答
A	空き缶、空き瓶、古紙などの資源回収活動	人数 85	43	8	31	3
		構成比	50.6%	9.4%	36.5%	3.5%
B	公園や街路などの地域清掃活動	人数 85	40	13	28	4
		構成比	47.1%	15.3%	32.9%	4.7%
C	川などの清掃活動	人数 85	26	12	39	8
		構成比	30.6%	14.1%	45.9%	9.4%
D	花いっぱい運動や植樹などの地域の緑化活動	人数 85	9	26	38	12
		構成比	10.6%	30.6%	44.7%	14.1%
E	農業体験など農業振興活動	人数 85	8	14	50	13
		構成比	9.4%	16.5%	58.8%	15.3%
F	環境問題に関する講座やセミナー	人数 85	7	15	51	12
		構成比	8.2%	17.6%	60.0%	14.1%
G	昆虫や植物など身近な自然の保護活動や観察	人数 85	11	10	54	10
		構成比	12.9%	11.8%	63.5%	11.8%

幸松地区

		合計	参加したことがある	参加したことはないが、今後参加したい	参加したことがない	無回答
A	空き缶、空き瓶、古紙などの資源回収活動	人数 82	43	7	25	7
		構成比	52.4%	8.5%	30.5%	8.5%
B	公園や街路などの地域清掃活動	人数 82	36	8	30	8
		構成比	43.9%	9.8%	36.6%	9.8%
C	川などの清掃活動	人数 82	23	9	42	8
		構成比	28.0%	11.0%	51.2%	9.8%
D	花いっぱい運動や植樹などの地域の緑化活動	人数 82	6	17	48	11
		構成比	7.3%	20.7%	58.5%	13.4%
E	農業体験など農業振興活動	人数 82	5	13	53	11
		構成比	6.1%	15.9%	64.6%	13.4%
F	環境問題に関する講座やセミナー	人数 82	8	12	53	9
		構成比	9.8%	14.6%	64.6%	11.0%
G	昆虫や植物など身近な自然の保護活動や観察	人数 82	8	16	48	10
		構成比	9.8%	19.5%	58.5%	12.2%

内牧地区

		合計	参加したことがある	参加したことはないが、今後参加したい	参加したことがない	無回答
A	空き缶、空き瓶、古紙などの資源回収活動	人数 41	20	3	16	2
		構成比	48.8%	7.3%	39.0%	4.9%
B	公園や街路などの地域清掃活動	人数 41	23	5	11	2
		構成比	56.1%	12.2%	26.8%	4.9%
C	川などの清掃活動	人数 41	8	5	23	5
		構成比	19.5%	12.2%	56.1%	12.2%
D	花いっぱい運動や植樹などの地域の緑化活動	人数 41	1	8	27	5
		構成比	2.4%	19.5%	65.9%	12.2%
E	農業体験など農業振興活動	人数 41	4	5	27	5
		構成比	9.8%	12.2%	65.9%	12.2%
F	環境問題に関する講座やセミナー	人数 41	6	5	26	4
		構成比	14.6%	12.2%	63.4%	9.8%
G	昆虫や植物など身近な自然の保護活動や観察	人数 41	5	10	22	4
		構成比	12.2%	24.4%	53.7%	9.8%

庄和地区

白文字 =1位

黒文字 =2位

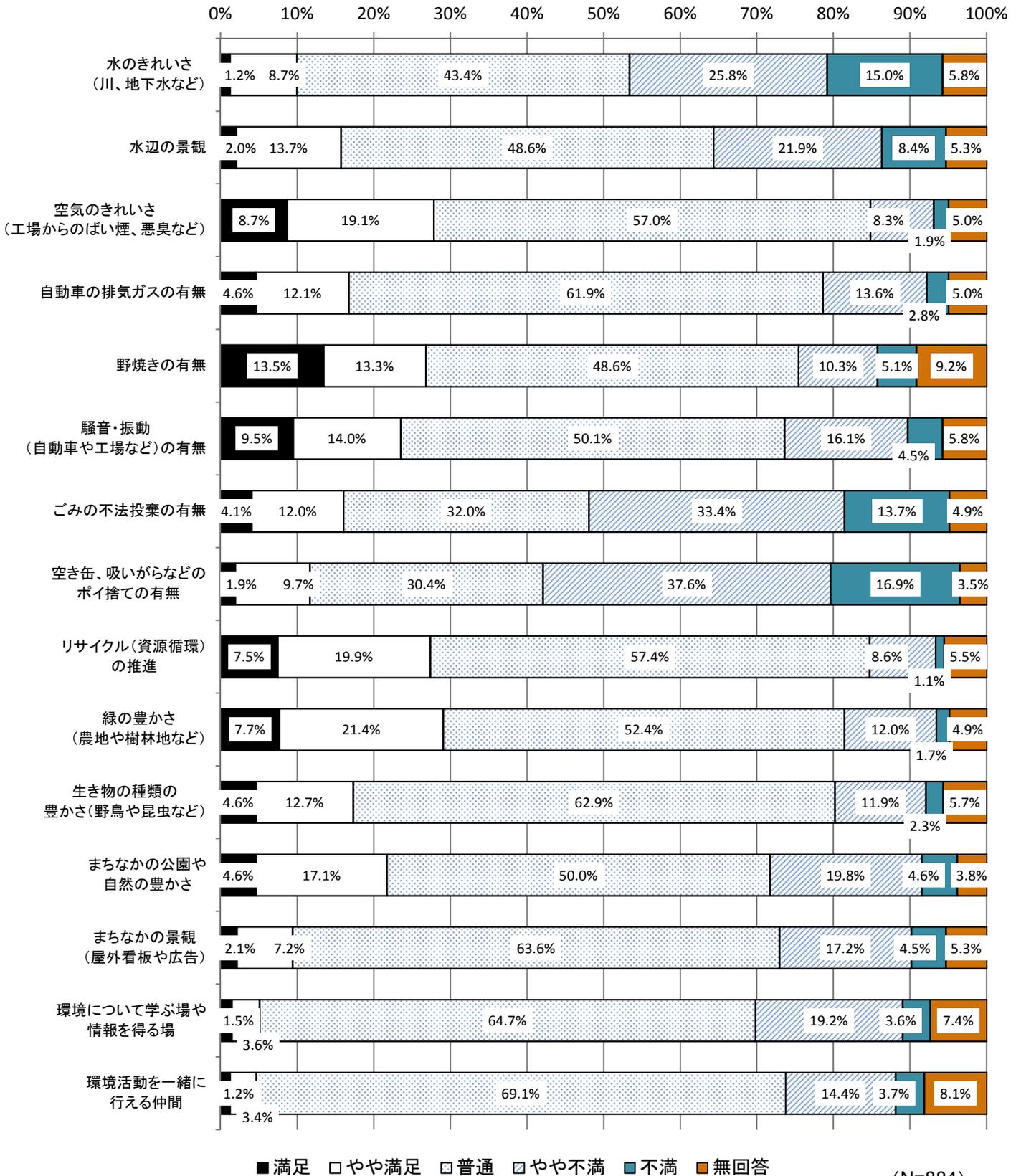
		合計	参加したことがある	参加したことはないが、今後参加したい	参加したことがない	無回答
A	空き缶、空き瓶、古紙などの資源回収活動	131	89	4	32	6
	人数		67.9%	3.1%	24.4%	4.6%
B	公園や街路などの地域清掃活動	131	75	6	39	11
	人数		57.3%	4.6%	29.8%	8.4%
C	川などの清掃活動	131	24	7	77	23
	人数		18.3%	5.3%	58.8%	17.6%
D	花いっぱい運動や植樹などの地域の緑化活動	131	21	13	75	22
	人数		16.0%	9.9%	57.3%	16.8%
E	農業体験など農業振興活動	131	17	14	75	25
	人数		13.0%	10.7%	57.3%	19.1%
F	環境問題に関する講座やセミナー	131	16	15	77	23
	人数		12.2%	11.5%	58.8%	17.6%
G	昆虫や植物など身近な自然の保護活動や観察	131	15	13	79	24
	人数		11.5%	9.9%	60.3%	18.3%

問10 あなたの身のまわりの環境について、満足度とその対策の優先度について、あなたの考えに最もあてはまる番号を項目ごとにそれぞれ1ずつ○で囲んでください。

項目	満足度の評価					優先度の評価				
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	最も優先的に取り組むべき	優先的に取り組むべき	取り組むべきだが優先度は低い	取り組む必要はない	
A	水のきれいさ（川、地下水など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4
B	水辺の景観	1	2	3	4	5	1	2	3	4
C	空気のきれいさ（工場からのばい煙、悪臭など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4
D	自動車の排気ガスの有無	1	2	3	4	5	1	2	3	4
E	野焼きの有無	1	2	3	4	5	1	2	3	4
F	騒音・振動（自動車や工場など）の有無	1	2	3	4	5	1	2	3	4
G	ごみの不法投棄の有無	1	2	3	4	5	1	2	3	4
H	空き缶、吸いがらなどのポイ捨ての有無	1	2	3	4	5	1	2	3	4
I	リサイクル（資源循環）の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4
J	緑の豊かさ（農地や樹林地など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4
K	生き物の種類の豊かさ（野鳥や昆虫など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4
L	まちなかの公園や自然の豊かさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4
M	まちなかの景観（屋外看板や広告）	1	2	3	4	5	1	2	3	4
N	環境について学ぶ場や情報を得る場	1	2	3	4	5	1	2	3	4
O	環境活動と一緒にできる仲間	1	2	3	4	5	1	2	3	4

満足度

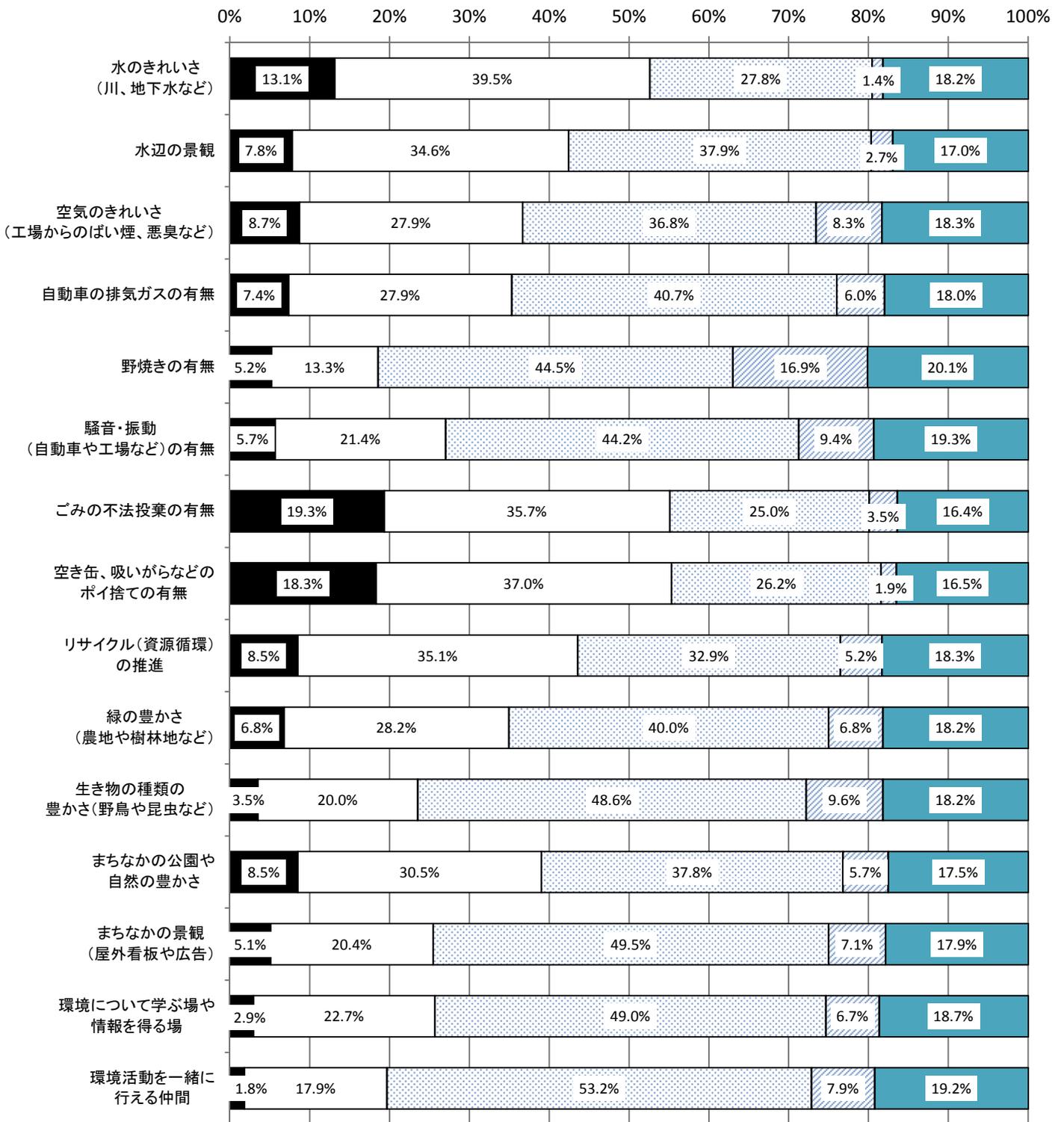
「満足」が最も多いのは「野焼きの有無」となっており、次いで「騒音・振動(自動車や工場など)の有無」が多くなっています。また、「満足」と「やや満足」を合わせると、「緑の豊かさ(農地や樹林地など)」が最も多く、次いで「空気のきれいさ(工場からのばい煙、悪臭など)」が多くなっています。



(N=884)

優先度

「最も優先的に取り組むべき」が最も多いのは「ごみの不法投棄の有無」となっており、次いで「空き缶、吸いがらなどのポイ捨ての有無」が多くなっています。また、「最も優先的に取り組むべき」と「優先的に取り組むべき」を合わせると、「空き缶、吸いがらなどのポイ捨ての有無」が最も多く、次いで「ごみの不法投棄の有無」が多くなっています。



最も優先的に取り組むべき
 優先的に取り組むべき
 取り組むべきだが優先度は低い
 取り組む必要はない
 無回答

(N=884)

満足度点数

$$\begin{aligned} \blacksquare \text{満足度点数} = & \text{「満足」の回答数} \times 2 + \text{「やや満足」の回答数} \times 1 \\ & + \text{「普通」の回答数} \times 0.5 + \text{「やや不満」の回答数} \times (-1) \\ & + \text{「不満」の回答数} \times (-2) \} \div (\text{総回答数} - \text{無回答数}) \end{aligned}$$

注) 小数点第4位の数値で表しています

順位	項目		満足度点数
1	I	リサイクル(資源循環)の推進	0.557
1	C	空気のきれいさ(工場からのばい煙、悪臭など)	0.557
3	J	緑の豊かさ(農地や樹林地など)	0.500
4	E	野焼きの有無	0.486
5	K	生き物の種類の豊かさ(野鳥や昆虫など)	0.392
6	F	騒音・振動(自動車や工場など)の有無	0.350
7	D	自動車の排気ガスの有無	0.348
8	L	まちなかの公園や自然の豊かさ	0.232
9	O	環境活動を一緒に行える仲間	0.203
10	M	まちなかの景観(屋外看板や広告)	0.180
11	N	環境について学ぶ場や情報を得る場	0.134
12	B	水辺の景観	0.036
13	A	水のきれいさ(川、地下水など)	-0.244
14	G	ごみの不法投棄の有無	-0.259
15	H	空き缶、吸いがらなどのポイ捨ての有無	-0.440

優先度点数

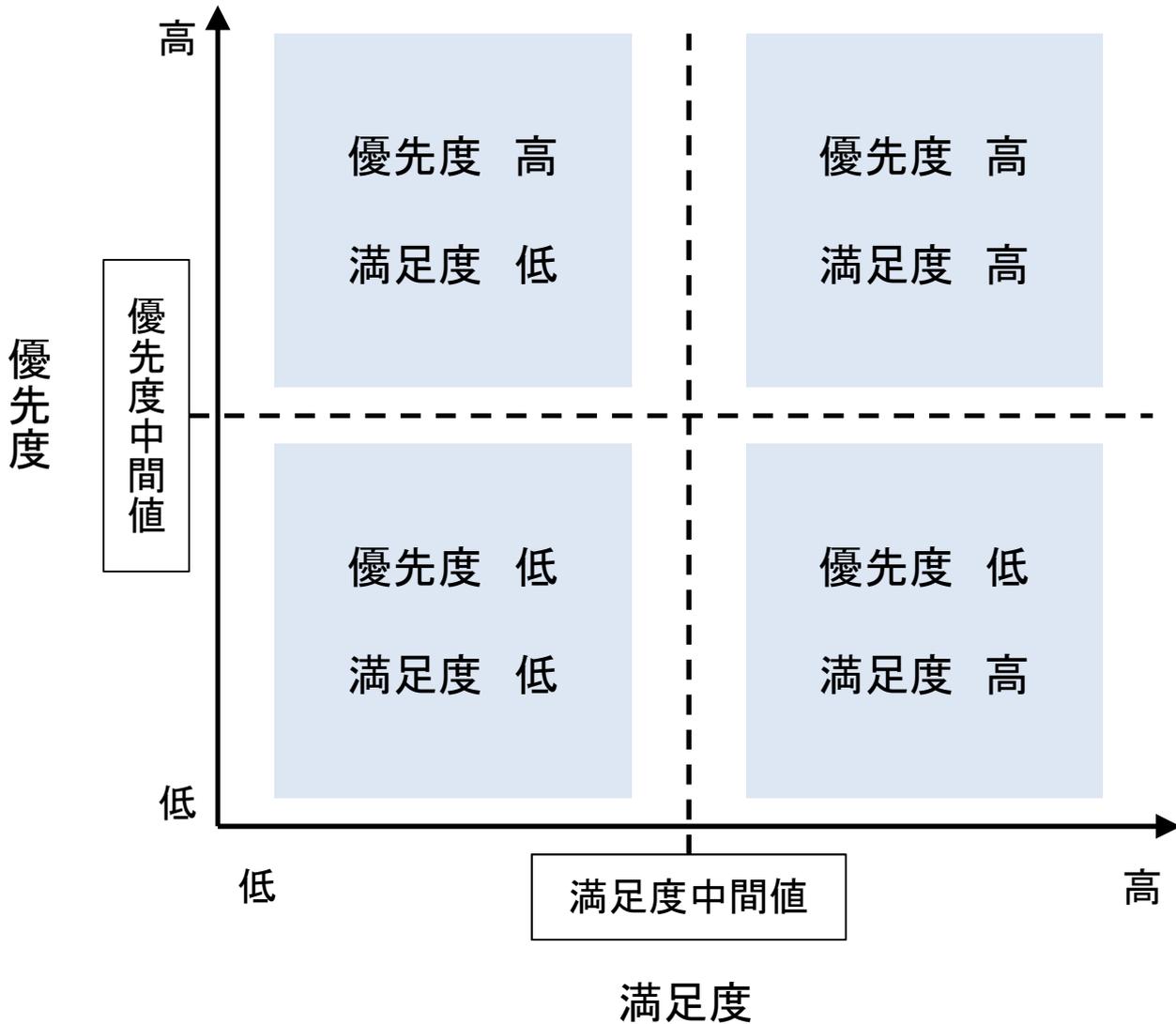
$$\begin{aligned}
 \blacksquare \text{ 優先度点数} &= \text{「最も優先的に取り組むべき」の回答数} \times 2 \\
 &+ \text{「優先的に取り組むべき」の回答数} \times 1 \\
 &+ \text{「取り組むべきだが優先度は低い」} \times (-1) \\
 &+ \text{「取り組む必要はない」} \times (-2) \div (\text{総回答数} - \text{無回答数})
 \end{aligned}$$

注) 小数点第4位の数値で表しています

順位	項目		優先度点数
1	H	空き缶、吸いがらなどのポイ捨ての有無	0.522
2	G	ごみの不法投棄の有無	0.507
3	A	水のきれいさ(川、地下水など)	0.430
4	I	リサイクル(資源循環)の推進	0.107
5	B	水辺の景観	0.083
6	L	まちなかの公園や自然の豊かさ	-0.019
7	C	空気のきれいさ(工場からのばい煙、悪臭など)	-0.097
8	D	自動車の排気ガスの有無	-0.123
9	J	緑の豊かさ(農地や樹林地など)	-0.145
10	F	騒音・振動(自動車や工場など)の有無	-0.376
11	M	まちなかの景観(屋外看板や広告)	-0.405
12	N	環境について学ぶ場や情報を得る場	-0.414
13	K	生き物の種類の豊かさ(野鳥や昆虫など)	-0.499
14	O	環境活動と一緒にできる仲間	-0.588
15	E	野焼きの有無	-0.681

満足度と優先度の比較

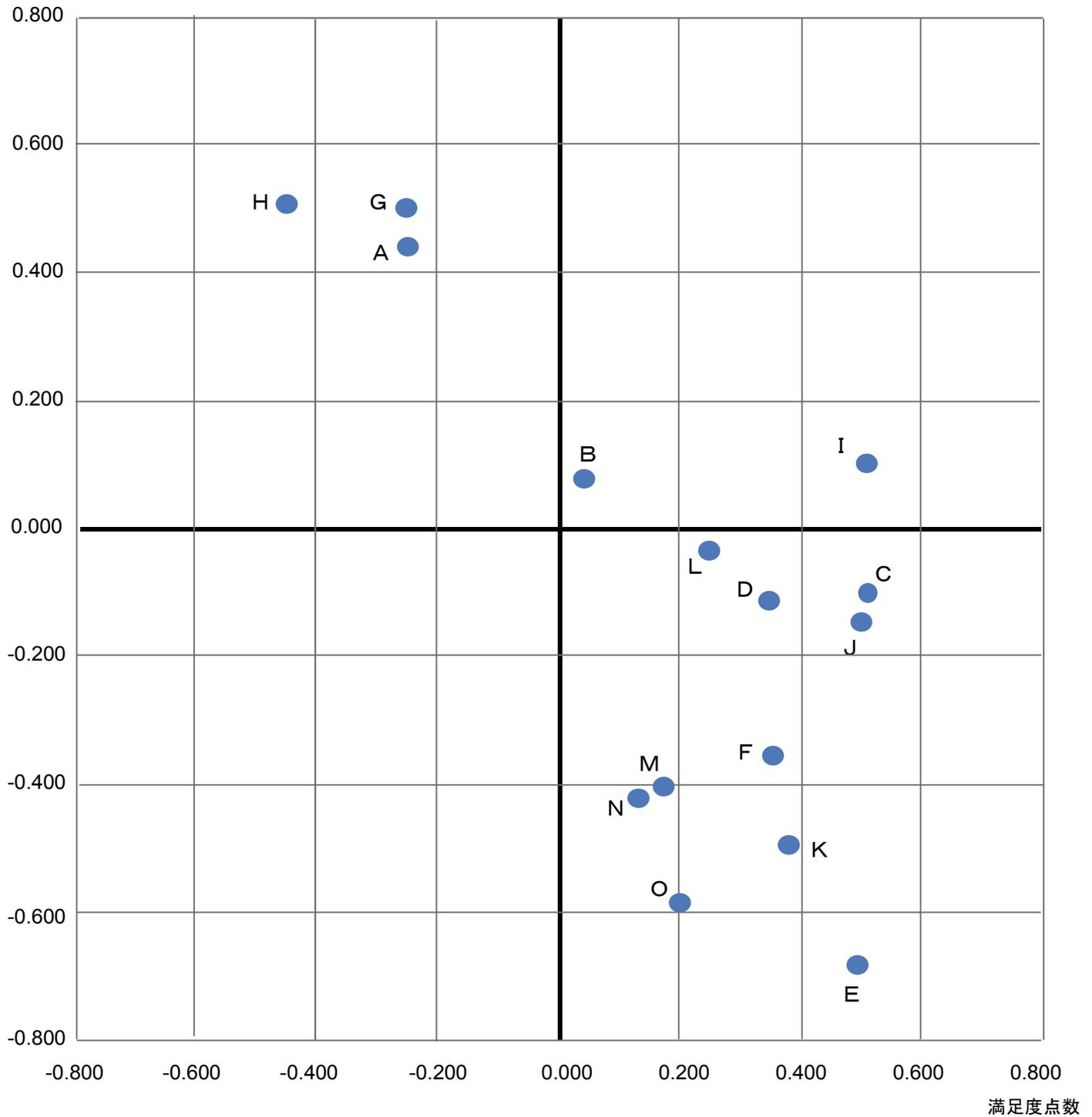
ここでは、横軸に満足度(満足度点数の値)を、縦軸に優先度(優先度点数の値)をとって、10項目の分布を行いました。この図では、左上に位置する項目は、満足度が低く優先度が高いことから、対策のニーズが高い項目であることを示しています。



10項目の分布状況

A「水のきれいさ(川、地下水など)」、G「ごみの不法投棄の有無」、H「空き缶、吸いがらなどのポイ捨ての有無」を除いて、満足度が高い位置(右側)又は優先度が低い位置(下側)に分布しています。

優先度点数



問11 次の環境問題を解決するためには、誰の責任や努力が必要だと思いますか。それぞれについて、あなたの考えにあてはまる番号を全て○で囲んでください。

	項目	市民	企業	行政
A	水環境の保全・汚染	1	2	3
B	大気環境の保全・汚染	1	2	3
C	近隣騒音・振動	1	2	3
D	リサイクル・廃棄物処理	1	2	3
E	緑など自然環境の保全	1	2	3
F	都市環境(街並みなど)の整備・保全	1	2	3
G	環境啓発・環境活動	1	2	3
H	地球温暖化対策(省エネ・再エネの推進)	1	2	3

全体

「水環境の保全・汚染」、「リサイクル・廃棄物処理」、「地球温暖化対策(省エネ・再エネの推進)」では、市民・企業・行政間の割合の差が比較的小さくなっています。

項目		回答数	市民	企業	行政	無回答
A	水環境の保全・汚染	884	455	476	590	45
	人数		51.5%	53.8%	66.7%	5.1%
B	大気環境の保全・汚染	884	256	628	501	41
	人数		29.0%	71.0%	56.7%	4.6%
C	近隣騒音・振動	884	635	372	287	48
	人数		71.8%	42.1%	32.5%	5.4%
D	リサイクル・廃棄物処理	884	505	410	585	40
	人数		57.1%	46.4%	66.2%	4.5%
E	緑など自然環境の保全	884	351	215	724	43
	人数		39.7%	24.3%	81.9%	4.9%
F	都市環境(街並みなど)の整備・保全	884	159	198	788	42
	人数		18.0%	22.4%	89.1%	4.8%
G	環境啓発・環境活動	884	325	269	697	51
	人数		36.8%	30.4%	78.8%	5.8%
H	地球温暖化対策(省エネ・再エネの推進)	884	460	542	608	38
	人数		52.0%	61.3%	68.8%	4.3%

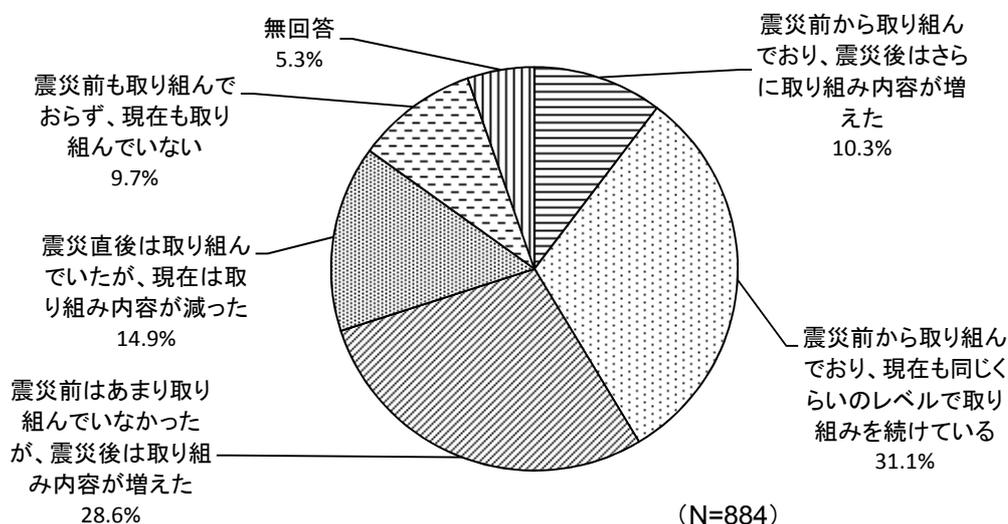
● あなたの地球温暖化対策への取り組みについてお伺いします ●

問12 あなたの家庭では、節電などの省エネ行動について、東日本大震災の前後で取り組み行動に変化はありましたか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

1. 震災前から取り組んでおり、震災後はさらに取り組み内容が増えた
2. 震災前から取り組んでおり、現在も同じくらいのレベルで取り組みを続けている
3. 震災前はあまり取り組んでいなかったが、震災後は取り組み内容が増えた
(1～3と回答→問14へ)
4. 震災直後は取り組んでいたが、現在は取り組み内容が減った
5. 震災前も取り組んでおらず、現在も取り組んでいない
(4～5と回答→問13へ)

「震災前から取り組んでおり、現在も同じくらいのレベルで取り組みを続けている」(31.1%)が最も多くなっています。

	選択肢	回答数
1	震災前から取り組んでおり、震災後はさらに取り組み内容が増えた	91
2	震災前から取り組んでおり、現在も同じくらいのレベルで取り組みを続けている	275
3	震災前はあまり取り組んでいなかったが、震災後は取り組み内容が増えた	253
4	震災直後は取り組んでいたが、現在は取り組み内容が減った	132
5	震災前も取り組んでおらず、現在も取り組んでいない	86
	無回答	47
	合計	884



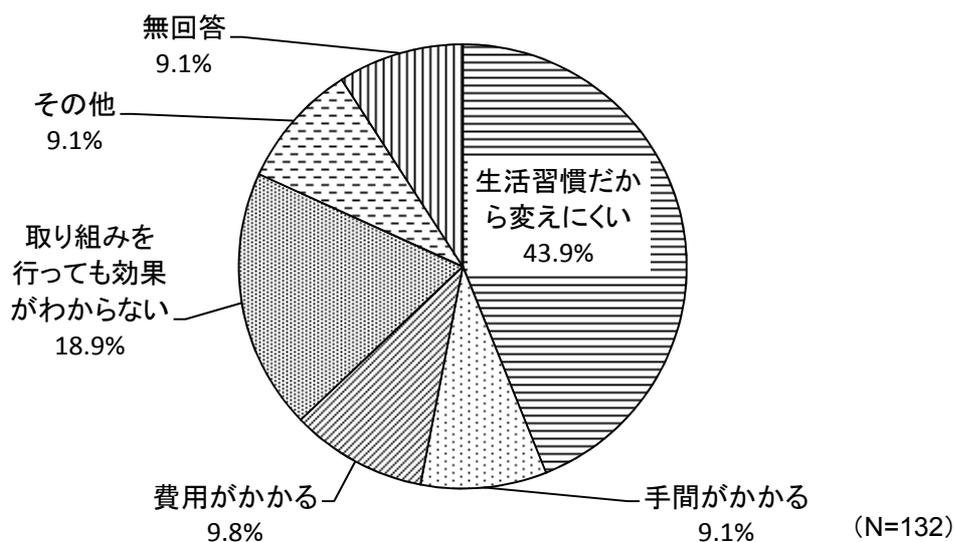
問13 問12で4.「震災直後は取り組んでいたが、現在は取り組み内容が減った」または、5.「震災前も取り組んでおらず、現在も取り組んでいない」と回答した方にお聞きします。取り組んでいない理由(減った理由)は何ですか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1. 生活習慣だから変えにくい | 2. 手間がかかる |
| 3. 費用がかかる | 4. 取り組みを行っても効果がわからない |
| 5. その他() | |

問12で4.「震災直後は取り組んでいたが、現在は取り組み内容が減った」と回答した方の理由

「生活習慣だから変えにくい」(43.9%)が最も多くなっています。

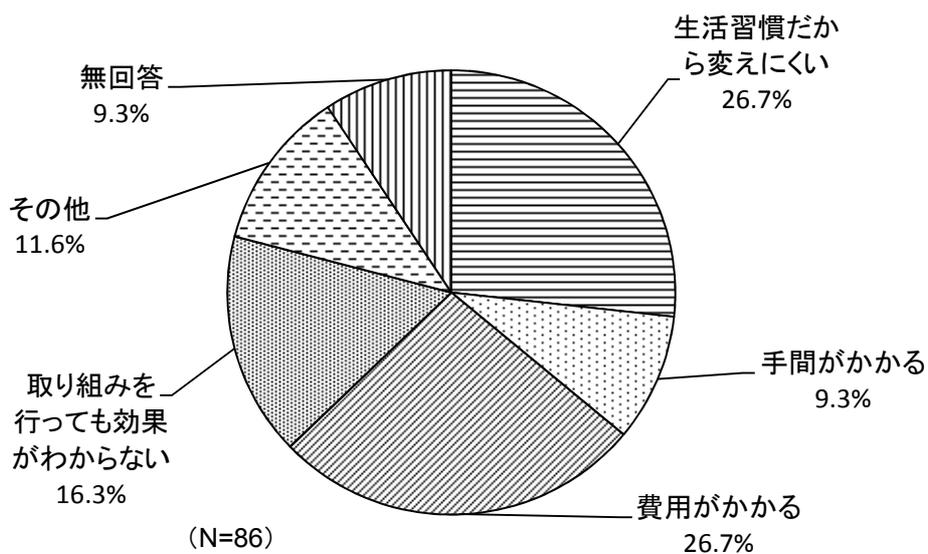
	選択肢	回答者
1	生活習慣だから変えにくい	58
2	手間がかかる	12
3	費用がかかる	13
4	取り組みを行っても効果がわからない	25
5	その他	12
	無回答	12
	合計	132



問12で5.「震災前も取り組んでおらず、現在も取り組んでいない」と回答した方の理由

「生活習慣だから変えにくい」(26.7%)、「費用がかかる」(26.7%)が最も多くなっています。

	選択肢	回答者
1	生活習慣だから変えにくい	23
2	手間がかかる	8
3	費用がかかる	23
4	取り組みを行っても効果がわからない	14
5	その他	10
	無回答	8
	合計	86



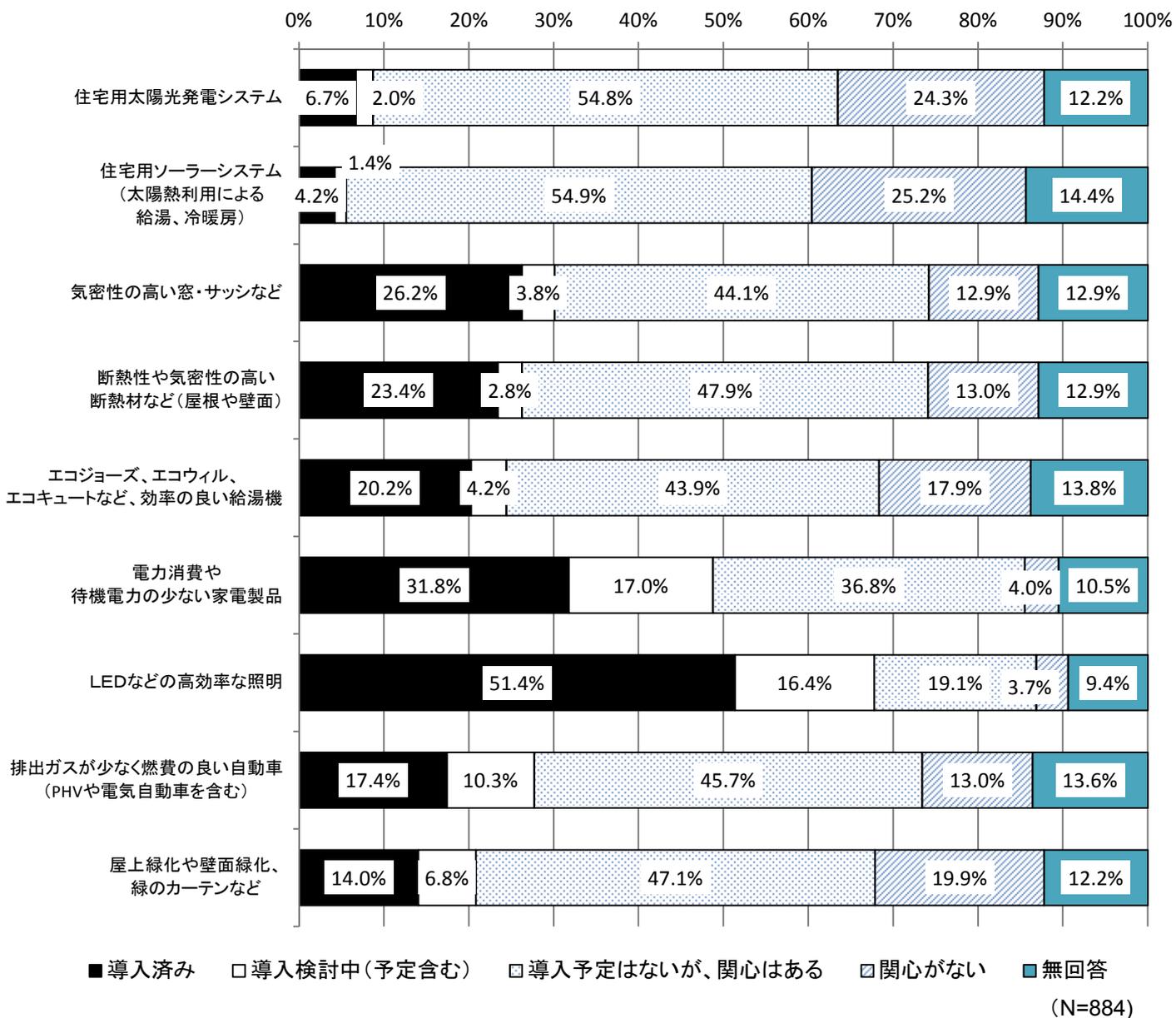
問14 次の項目について、導入しているものはありますか。それぞれの項目について、あてはまる番号1～4の中から1つだけ○で囲んでください

項目		導入済み	導入検討中 (予定含む)	導入予定はないが、関心はある	関心がない
A	住宅用太陽光発電システム	1	2	3	4
B	住宅用ソーラーシステム(太陽熱利用による給湯、冷暖房)	1	2	3	4
C	気密性の高い窓・サッシなど	1	2	3	4
D	断熱性や気密性の高い断熱材など(屋根や壁面)	1	2	3	4
E	エコジョーズ、エコウィル、エコキュートなど、効率の良い給湯機	1	2	3	4
F	電力消費や待機電力の少ない家電製品	1	2	3	4
G	LEDなどの高効率な照明	1	2	3	4
H	排出ガスが少なく燃費の良い自動車(PHVや電気自動車を含む)	1	2	3	4
I	屋上緑化や壁面緑化、緑のカーテンなど	1	2	3	4

「LEDなどの高効率な照明」では「導入済み」が最も多くなっていますが、それ以外の項目では「導入予定はないが、関心はある」が最も多くなっています。

白文字 = 1位 黒文字 = 2位

項目		合計	導入済み	導入検討中 (予定含む)	導入予定はないが、関心はある	関心がない	無回答
A	住宅用太陽光発電システム	人数	59	18	484	215	108
	構成比	100.0%	6.7%	2.0%	54.8%	24.3%	12.2%
B	住宅用ソーラーシステム (太陽熱利用による給湯、冷暖房)	人数	37	12	485	223	127
	構成比	100.0%	4.2%	1.4%	54.9%	25.2%	14.4%
C	気密性の高い窓・サッシなど	人数	232	34	390	114	114
	構成比	100.0%	26.2%	3.8%	44.1%	12.9%	12.9%
D	断熱性や気密性の高い断熱材など (屋根や壁面)	人数	207	25	423	115	114
	構成比	100.0%	23.4%	2.8%	47.9%	13.0%	12.9%
E	エコジョーズ、エコウィル、エコ キュートなど、効率の良い給湯機	人数	179	37	388	158	122
	構成比	100.0%	20.2%	4.2%	43.9%	17.9%	13.8%
F	電力消費や待機電力の少ない家 電製品	人数	281	150	325	35	93
	構成比	100.0%	31.8%	17.0%	36.8%	4.0%	10.5%
G	LEDなどの高効率な照明	人数	454	145	169	33	83
	構成比	100.0%	51.4%	16.4%	19.1%	3.7%	9.4%
H	排出ガスが少なく燃費の良い自動 車(PHVや電気自動車を含む)	人数	154	91	404	115	120
	構成比	100.0%	17.4%	10.3%	45.7%	13.0%	13.6%
I	屋上緑化や壁面緑化、緑のカーテ ンなど	人数	124	60	416	176	108
	構成比	100.0%	14.0%	6.8%	47.1%	19.9%	12.2%



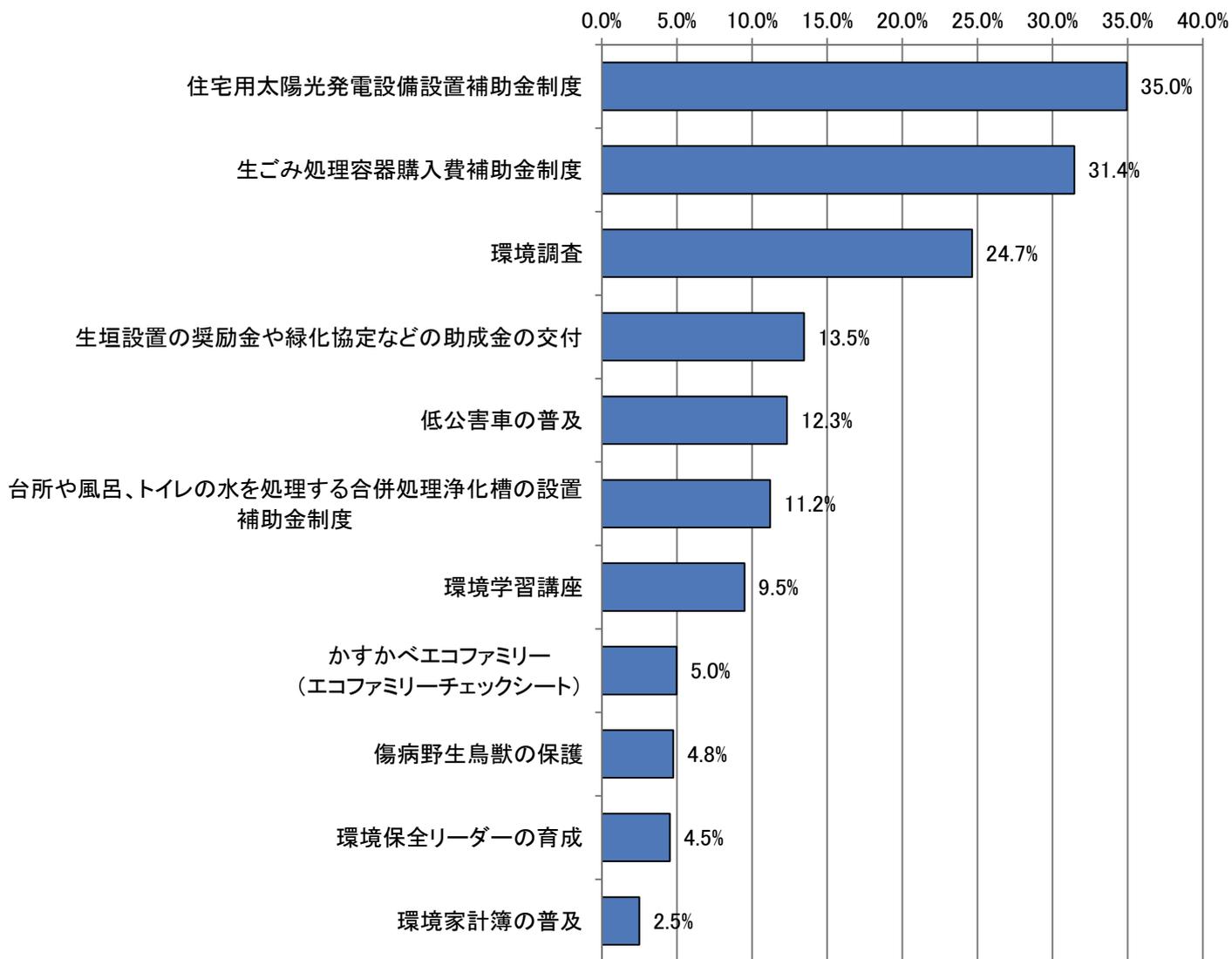
● 市の環境への取り組みについてお伺いします ●

問15 以下の項目は、現在、春日部市が進めている環境に関する取り組みです。あなたが知っている取り組みの番号を全て○で囲んでください。

1. 住宅用太陽光発電設備設置補助金制度
2. 生ごみ処理容器購入費補助金制度
3. かすかべエコファミリー(エコファミリーチェックシート)
4. 環境家計簿の普及
5. 生垣設置の奨励金や緑化協定などの助成金の交付
6. 台所や風呂、トイレの水を処理する合併処理浄化槽の設置補助金制度
7. 低公害車の普及
8. 環境保全リーダーの育成
9. 環境学習講座
10. 傷病野生鳥獣の保護
11. 環境調査(河川水質、自動車騒音、道路交通振動、放射性物質、空間放射線量など)

春日部市が進めている環境に関する取り組みの認知度については、「住宅用太陽光発電設備設置補助金制度」(35.0%)が最も多く、次いで「生ごみ処理容器購入費補助金制度」(31.4%)となっています。

	白文字 = 1位	黒文字 = 2位
	選択肢	回答数
1	住宅用太陽光発電設備設置補助金制度	309
2	生ごみ処理容器購入費補助金制度	278
3	かすかべエコファミリー (エコファミリーチェックシート)	44
4	環境家計簿の普及	22
5	生垣設置の奨励金や緑化協定などの助成金の 交付	119
6	台所や風呂、トイレの水を処理する合併処理浄化 槽の設置補助金制度	99
7	低公害車の普及	109
8	環境保全リーダーの育成	40
9	環境学習講座	84
10	傷病野生鳥獣の保護	42
11	環境調査	218
	合計(延べ回答数)	1364



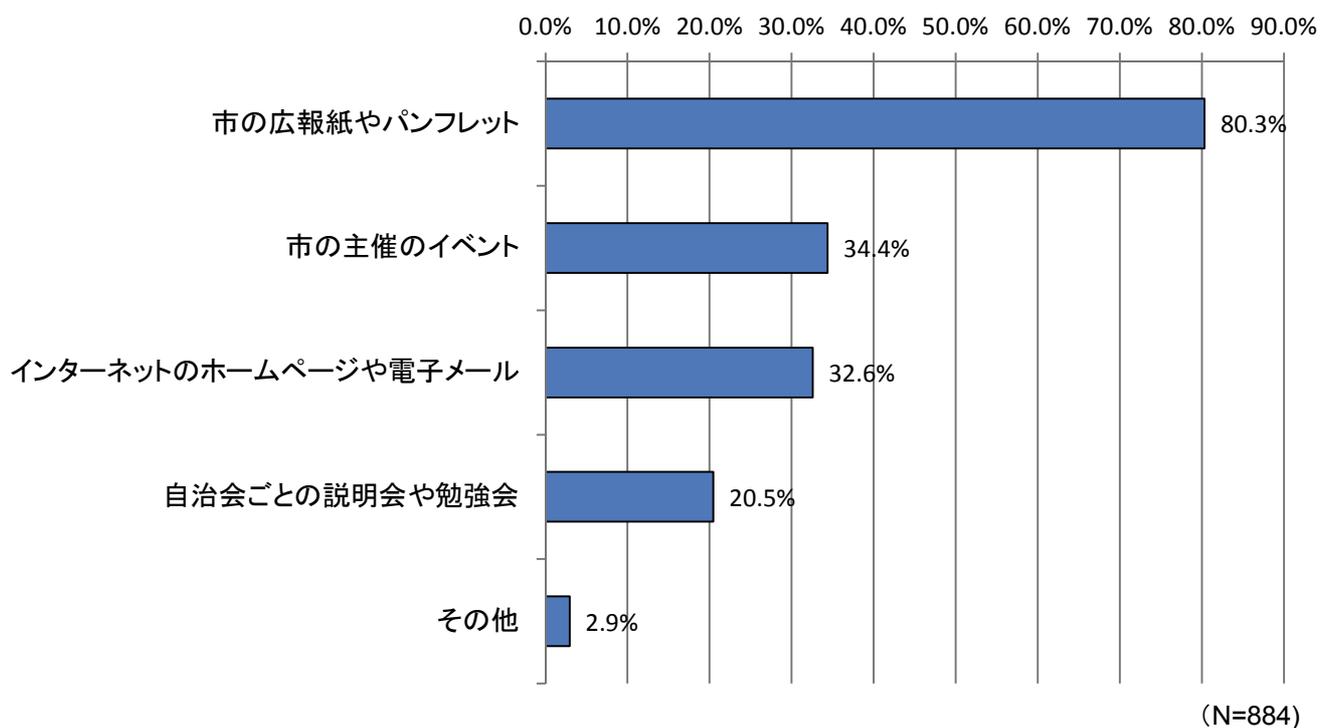
(N=884)

問16 環境に関する情報を市民の方に知らせる方法として、どのようなものがよいと思いますか。あてはまる番号を全て○で囲んでください。

- 1. 市の広報誌やパンフレット
- 2. 市の主催のイベント
- 3. 自治会ごとの説明会や勉強会
- 4. インターネットのホームページや電子メール
- 5. その他()

「市の広報誌やパンフレット」(80.3%)が最も多く、次いで「市の主催のイベント」(34.4%)となっています。

	白文字 =1位	黒文字 =2位
	選択肢	回答数
1	市の広報紙やパンフレット	710
2	市の主催のイベント	304
3	自治会ごとの説明会や勉強会	181
4	インターネットのホームページや電子メール	288
5	その他	26
	合計(延べ回答数)	1509



2 市民アンケート自由意見

◆ 最後に、環境に関わるご意見等があればご自由にお書き下さい。◆

- アピール、露出度をもっと前面に押し出し、住民が取り組み易くなれば良いと思う！
- 公園が減って子供の遊ぶ声が減った。昔はもっとにぎやかだった。
- 騒音がとにかくひどい。規制をもっと強化すべき。
- 大気環境の保全→朝・夕 農業廃棄物を燃やしている事や農薬の噴霧によりアレルギー反応が出ます。
- 一ノ割周辺が強い雨など降るとひざまで水が上がり、車など通ると倍になって大変困っています。30年以上住んでいますが、改善されていません。市が調整して改善してほしい！道路脇のU字路など、石や砂などが入って詰まった状態になっている。市が清掃して流れを良くすれば改善するのでは？野良猫が増えて困る。
- 車の往来が多い道路脇にはゴミのポイ捨てが目立つ。美観を損なうし、汚いままだと割れ窓の法則でどんどん捨てられますます汚くなる。捨てる人間が一番悪いのだが清掃することによって少しでも減らすことができるのではないかと？市民が率先して清掃するような仕組み、例えば資源ごみを回収してきたらポイント付与するのはどうか？またポイ捨ての抑制の施策としてダミーでもいいから監視カメラを設置。条例制定で違反者に対しての厳罰化はどうか？市が本気で取り組む気があるなら十分可能な取り組みではないだろうか？このアンケートが「ただのアンケート」として終わることがないことを望む。
- 行政からの広報に関して。
 1. 市の施設のロビーや壁面などに環境基本計画やその施策を展示、開示する。
 2. 自転車利用を促進するために、道路側に専用レーンを設置する。⇒設置計画を広報、開示する。
 3. 超高性能なゴミ焼却炉への計画的な転換。その効果の広報：地域への冷暖房用熱源供給とか・・・
 4. 災害への取組みとコラボレーションした施策として市民の協力を促す仕掛けを組み込む。⇒やって良かったと実感できる策であること。
 5. 基本計画作成段階から市民の参画を促進すべき。⇒自分達が参加して作ったものだとの実感できる・・・
 6. 30年先、60年先、90年先に向けた施策を考えるべき・・・もちろん目先のことも大事ですが・・・
 7. 予算での裏付けも重要。
- 個人のできる努力はその人のもっている倫理・道徳観による。幼時よりの教育が基本的には重要と史料する。
- ・水路のふたの設置を希望します。
・春日部市は低地が多く、水はけの悪さは改善すべきだと思います。
PS. より住みやすい街になるよう努力してください。よろしく願いいたします。ありがとうございました。
- ムクドリが多すぎるので何とかならないでしょうか。
- 庄和地区に住んで半世紀近くになる。どんどん森や林や樹木が減少してきている。小鳥たちが姿を消してきている。今後の計画では、現環境の保全だけでなく、緑地の増加計画を入れてほしい。市民が実感できる緑地計画を推進してください。

- 16号のゴミが気になります。ペットボトルやお弁当のゴミが多いです。太陽光は導入しました。車もなるべく排出の少ない自動車にしていますが、やはり気持ちとお金とエコに関わる商品は高くなってしまっているので、なかなか取り組めないです。
- 二十年前は大雨のたびに床下まで水が入りたいへんな思いをしましたが、庄和に機場ができてから水があふれることがなくなり本当に毎日が安心して暮らしております。自身の住んでいる周りはいつもしきれいに清掃に心がけております。
- 1. 中川の藤塚側に、川に沿って歩ける道路を作ってほしい。旧庄和町側には道路があるのでお願いします。
2. 大雨が降ると下水がつまる。床上・床下浸水が起こらない様改善して下さい。
- ・川辺・沼辺等の野鳥・自然がすばらしいので周辺のゴミひろい会やふれあうイベントをもっと大規模にやったらいいと思います。地域を愛する心がわいてくるかも。野鳥の絵・写真コンテスト・展覧会など。
・地震にそなえる食料・水の補助金が出たらうれしい。シュミレーション（災害の）イベントなどあってほしい（低価格で）。
・節水・節電が、自然にどれだけ貢献するのかわかりやすく学べるイベントがあれば、やる気もわく気がします。
・市の担当の方、がんばって下さい。
- 市役所のある通り、川沿いにアジサイが植えられているが、赤むらさきの様なキツイ色をしたアジサイは春日部市に引越してきて初めて見ました。色からして川の水質と土壌の様子はかなり悪いのではないかと感じております。春日部市の水、土質は本当に改善されているのでしょうか。
- 東京文京区から40数年前に住みはじめました。空気のきれいさを実感しておりました。これからも緑（田を含む）など自然環境の保全を望みます。
- 生垣の道へのはみ出し等、目に余る家があり行政指導をして頂ければ幸せです。自分も近所に迷惑にならないよう気をつけています。
- 春日部市の特長（環境、地勢についての）は、何ととっても古利根川と古隅田川、数々の水路にみられる水辺の環境です。これらを生かして美しい水辺をつくっていったら良いと思います。
- 春日部市は緑が多くとてもいいのですが、水（川は汚く、自宅で処理すべき物（自転車、家電、ゴミ）など多くの物が捨てられています。その水を私達が使用するとすると気分が悪くなります。埼玉の人はモラルが低すぎると思うので、子供達に勉強（環境問題）を小さいうちから取り組ませてほしいと思います。
- 緑化運動の一環としても各家庭で庭木等の植込み（又各自景観を楽しむためにも（花も））が多く見られるが、道路に面した樹木のはみだしが多く、4m道路の道中が狭くなり、車の窓に葉枝が当り危険。視界も一瞬さえぎられる。道路まではみだしている木を（葉・枝）各家庭の塀まで切るように、町内での話ではなかなか言えないので（言った場合気分を害されると思うので。（日々のあいさつにもさしざわりがある。）、市（行政）の方から注意してもらえないものかと思う。いざという時、消防車など道中が狭くなっているため（枝葉のはみだしで）、一台がやっとではないかと思うので、その点考慮して行政の力で動かしてもらえないかと思う。
※塀の高さも1m20cmときいているけど高いところもたくさんある。忙しい仕事のなかこんな話は無理かもしれないが一応日ごろ感じていることを記しました。
- 河川の流れの悪さ（草木、根の伸びほうだい。流水の汚れが目立つ（ゴミ等））
安之堀川・新方川（H27.9.10完全洪水・氾濫、台風時（ゲリラ降雨時により））

- ○環境改善に関する啓蒙運動をもっと積極的にやる事
○街路樹の手入、用水路、道路、公共物周辺の除草をもう少し積極的にやる事
○排水路の葦等を除去作業回数をふやす事
○自治会を通じての公園清掃や草取り補助を増やす事
○環境改善への取組みと実績のある自治会団体等を広報紙へUP回数をふやす（当事者コメントを入れる事）
○春日部市は住みやすく満足しています。欲を言えばきりがありませんが、石川市長はじめ皆様の日頃の意識と行動が反映されていると思います。これからもよりよい春日部において市民をリードして頑張ってください。ありがとうございます。
- カラス、鳩、ムクドリなどの対策。
- 全ての環境問題の責任は行政に有る。職員1人1人が職務の自覚と責任を全うすることにつ
きる。
- 元の庄和町地区は雑木林や田畑、江戸川等、自然の資産が豊富で、カワセミを見ることもで
きる。しかし、現在はそれらが放置されている状況でいずれは失われてしまうと思われる。
自然を感じ大切さを共有・意識していくために自然と親しむことのできる公園を整備できない
だろうか？
- 道路、交通の整備⇒信号や舗装、右折車線を増やすなどして渋滞を減らせば大気汚染も減る
と思います。公園などサイクリングロードをつくれれば自転車利用も増え、排ガス対策にもつ
ながるかもしれません。春日部に引越してきて1番驚いたのが、空気の汚さ、臭いです。都
内よりひどいかもかもしれません。緑も多く良い市なので私も含め取り組んでいきたい。
- 会社ではISO14000の取組を推進しています。個人、会社が一体となって取組が必要です。
町、市に関係なく「個人の意識」＋「市町村の計画」を我々が共に計画立案すべきでしょ
う。個別にしては成果も半減してしまいます。
- 環境保全等の実行については、行政自身が先頭に立つという姿勢があまり見られず、自治会
に丸投げしている部分もかなり感じられます。注文をつけると大体予算と人員が少ないので
という回答になっています。春日部市の将来を熟慮するとすれば、この辺りのリーダーシッ
プを強く発揮してください。
- ・年を追うごとに温暖化の実感が強まっています。（自分で行動を起こしていないことに反
省いたします。）
・クーラーの温度を下げるごとに温暖化がどれくらい進むのかなど市・市民が一層真剣に意
識しないとと感じます。
・個人レベルでできることを市としてPRしていただきたいです。
・私も心がけます。
- ・八木小近くの川が以前からとても汚いのでどうにかしてほしい。
・大雨の時、冠水するのはどうにかならぬものか。とても真剣に考えていただきたい。本
当に困っています。
- ゴミの出し方を統一すべき。各町内会で違う。カラスなどの被害がひどすぎる。どんなに住
人に注意しても変わらない。市が何とかして下さい。ゴミ置場を見に来てください。
- エコキュートなどの導入が環境保全に役立つというのは一面的です。低周波騒音による被害
が深刻化していることも事実です。
- 街なみをきれいにして欲しい。電柱の地中化。雨水の再利用。街灯のLED化。
- 緑が多く、子ども達、鳥など集まってくる公園作り。

- 台風、大雨の際、近くのドブ川が氾濫したり道の際の側溝に雑草など多く水はけが悪く、すぐ家の玄関まで水が来てしまう。側溝のそうじと草取りなど徹底してほしい。台風シーズンなど雨季が不安で仕方ない。改善をお願いしたい。（春日部西浄水場通り）
- 私はアパートに住んでいます。自治会は無い為、広報紙などももらっていません。春日部市の情報が、広報などに載っているけれどほとんど見ることもないので残念です(インターネットもやっていない)。公園などでクリーン活動をしている人達を見て、どこで募集しているのかな?と思うこともあります。草むしりやゴミ拾いくらいなら私でもできそうなので参加してみたいのですが、そのような情報がもう少しみんなに届くと、もっと多くの人に参加するようになるのでは?と思っています。
- 私は三半規管の機能劣化により、立っていても、歩行中も、身体がフラフラして、安定感が全くありません。ですから何も協力出来ないのが残念でなりません。何も出来ないのに意見を書くのはおこがましい限りだと思っておりますが、敢えて書かせて頂きます。環境悪化の最大のものは車社会にあると考えています。業務用車、必要なマイカーは別として「無用のマイカー」が多過ぎて、これが騒音、ガスの排出の原因だと思えます。要するに排出量規制が最重要ですが、抜け道はいくらでもあり、それを如何に抑えてゆくか、個人の意識はアテにならず、行政機関が強力に、ただし憲法違反にならぬよう、実施していただきたいのです。昭和30年代は高度成長の前で、騒音も排ガスもなく、世の中は静かに落ち着いていました。私のような年寄りには成長経済よりも静かな世の方がはるかによかったと思われてなりません。これ以上書けば年寄りの繰り言にすぎないことになりまますので以上にて失礼します。「無用のマイカー」は日本中では何百万何千万とあるのですが、わが春日部市が先頭切って強力に押し進めていただきたいと思えます。心よりお願い申し上げます。
- 特に祭りの後のポイ捨てが毎年ひどく、祭のあとは通りを通行したくない状況が数日続くため、何とかしてほしい。街灯が少なく夜間暗い。祭りの提灯なくてもよいので街灯を増やしてほしい。外来種の駆除に力を入れてほしい。
- 環境は1人では出来ません(問題)。行政で強制しても出来ません。各地区の清掃担当員4〜5名を毎月1回、清掃をしていただく様にしたら良いと思えます。
- 大音量で走行するような車両や暴走行為を行う車両を取り締まって欲しい(騒音防止)。自分の家の敷地ではあるが、被膜もしていない地面に大量のスクラップを直置、山積している者がいる。環境に悪影響なので、立入、指導して欲しい。
- 東武鉄道の線路沿いに空缶もポイ捨てしている所が多い。やめさせるように宣伝すべきと思えます。
- 可燃ごみを、市販の透明又は白色半透明袋で排出しています。私は規定を守っていますが、マナーを守れない人が時々見受けられ、スーパーの買物袋を自分の班以外の場所においていく人がいます。置いていく現場を見ることなく注意もできません。残念です。
- 大雨時の冠水対策をお願いします。
- 水、土、空気と調和の取れた景観、住む人、企業、行政、何れにせよ改善と努力と責任は必要であり、他人転嫁をせず、自己責任と自治能力を高める生活者本位の環境を整備することこそ本分としたい。以上。
- 以前は都内に住んでおりましたが、春日部は街灯が少なく夜道は暗く危険です。今は慣れてしまいましたが、都内の友人がくると驚かれます。エコとは違うかもしれませんが、各家が玄関灯をつけるだけで夜道も明るくなり、女性も安心して通行できますし防犯にもなります。今は家の前を通行するときのみ転倒する玄関灯もあります。（玄関灯の補助など）街が明るくなることで車の送り迎えも減少しないでしょうか?そういうこともエコにつながると思えます。

- 近隣店舗の客呼び込みのスピーカー音が終日騒がしい。音響規制が必要。最近の若者の道徳教育が不足しマナーが悪い。自転車の乗り方、歩行者の配慮 道路へのごみ（コンビニでの買物、ペットボトルなど）のポイ捨てが目立つ。スマホの電車内での使用（乗客への配慮不足）、歩きスマホ、日本の美徳が失われつつある。他人への配慮が足りないなど。以上は小学校教育・中学校教育のあり方を見直す必要あり。
- 私の家の近くに防火用水がありますが、ごみなどが大変入りやすく誰が掃除を行っているかわかりません。40年近く住んでおりますがどのように管轄されていますか？水の交換などサイクルはこれからの季節、蚊の発生源となると考えますと心配です。
- タバコのポイ捨ては歩行中にある様子。自動車のタバコのポイ捨てはゴミ収集がよくやってくれていて有難い。
- リサイクルの推進は環境を良くし、物を大切にするという精神からいっても、とても大切なことだと思っています。ごみの分別もかなり意識が高まっていると思うのですが、どうしてびん・かん・ペットボトルの回収が月2回しかないのでしょうか？このごみの日はコンテナからあふれ返っている現状をみて、せっかくの分別がムダになるのではないかと危惧を覚えます。あまりにもびん・かん・ペットボトルがたまりすぎて、いけない事とは思いつつ燃えないゴミの日に出してしまいたくなると妻がぼやいています（もちろん出しませんが）。最近ではペットボトル飲料が主流になり、しかもリサイクルでいろいろな物が作りだせるようになっていきますね。ぜひぜひペットボトル回収の日を増やしてください！！
- 自分たちの手で、地域環境を良くしていかなければならないと思わないと、なかなか実行したり継続することは難しいと思います。大人の考えを変えることはなかなか難しいので、小学校や中学校と連携し、子ども達が親に大切さを伝えていくという取り組みなども有効的でないかと思えます。勝手なことを言ってすみません。よろしくお願いします。
- 駅周辺の公園の整備、木がうっそうと茂っていて子どもを連れて遊べない。遊具等を置いて小さい子どもの遊べる公園に変えて欲しい。
- 1.住宅地の側溝の清掃を定期的に行ってほしい。2.電車の騒音、振動などの改善。3、鳥類の糞害を考えてほしい。
- 25年前に越して来た当時より、緑が減ってしまった事が残念です。緑の多い町づくりをお願いします。
- 問11についてですが、A～Dの項目については、一人ひとりが自覚を持つこと、企業・行政がサポートすべきだと思います。誰の責任や努力とは違うかなと思います。また、E～Gの項目については環境をよくするためといくことで、植物を植えるなどしますが、植物も生き物ですから手入れが必要です。植える→育てる→変化なのだと思います。その機会や長期継続を手助けしていくのが行政の仕事の一つではないのでしょうか？
- 住宅地内の用水路を含む小さな河川は、ところどころにヘドロが溜まり、その場所にいろいろなゴミが集まり、それが原因で更にヘドロが溜まり、浮島のようになっています。特に豊春の古隅田川は護岸工事をしてから十数年が過ぎ、非常に汚れて見た目にも良くありません。一度川の底を洗い、水の流れを良くすればきれいな川に甦ると思います。護岸工事をする前はホテルもいたキレイな川でした。
- 環境問題はお金がかかるけれどやらなければならない。しかし、年金暮らしでお金がない。
- 樹木については豊かな方であると思っています。庄和運動公園は大変魅力的な施設です。今後も保全とともに水流系の改善が進むと良いと思います。市の領域ではないかもしれませんが江戸川の河川敷の整備が進むと魅力的な景観ができると思います。よろしくお願いします。

- 春日部に在住して50年経ちますが、街灯が少ないので夜の外出は恐いです。もう少し明かりを増やしてほしい。アパート・マンションのゴミの集積所をしっかりと（ネットだけではゴミが近隣に飛び迷惑なので）ブロックの扉の付いた集積場所を徹底してほしいです。カラスなどが荒らし、近所の方々皆迷惑しているのに行政は動いてくださらないのが残念に思います。春日部市美化の為に徹底をお願いします。
- 私は住みやすい春日部市が好きです。20年前、初めて春日部に引越してきた時、緑が多くてさわやかな風が吹いてきてすてきな町だなあと感じたことを覚えています。自転車を利用することが多いのですが、大きな通りで駅に行きやすくて助かります。ただ、夜になるとちょっと街灯が少ない地域があり、徒歩や自転車でもとてもさびしい場所があるのが残念です。緑を多くて気持ちの良い町にしてほしいです。よろしくお願い致します。ありがとうございました。
- ・温暖化のためか一年毎に厳しく大変心配です。緑を大切にお願いしたいです。
・公園の砂場は猫の糞で汚れています。別な遊び道具を考えて欲しいです。
- 野良猫・カラス・ハトが多すぎる。特にハトのフンは風があれば舞い上がるし、体に良くないので何とかならないか！カラスも同様にフン公害です。他市から越してきて約1年近く、緑が多い分、上記の公害も多いような気がします。今のところ住みよい地域だと思います。
- 環境問題では、市民が何をしているのかではなく、子供たちに学校教育の中で、環境問題、その他、10年間ぐらい教育をされれば、素晴らしい春日部というまちが生まれると信じます。
- 空き家の放置を厳しく監視してほしい。改善なければ税金をアップするなど。
- 緑化推進の取り組みで以前15～20年位前に花木を無料配布して下さったことがありましたがそれについて一言
我家とお隣さんは地続きで各40坪位の土地に家が建っていますが、境界線側に栗の木と桜の木を植え、その木が大きくなり我家の玄関先を被い、花瓶が落ち、毛虫が大発生し、毎年大変な思いをしました。昨年ようやく腰高位に伐採してくれましたがもうこりこりです。今後、花木の無料配布のような計画があるようでしたら木の性質や大きくなることを十分説明してからお願いします。
なお、私も草花が大好きですが、植木が境界線より大きくなるとはみ出したり道路側のはみ出しなど他人に迷惑があって困っている方も多くあると思います。広報などに市民の声として取り上げていただけると幸いです。
- 申し訳ございませんが、環境は優先度が低く、家族のことを考えると、やはり子育て支援の重点施策が気になります。公園をもっと増やしてください。よろしくお願いします。
- 春～夏にかけて早朝にカラスが多く鳴き声で目が覚め、ふんも多く落ちて車が汚れるのがとても嫌だ！！
- 春日部市が進めている環境の取り組みですが11項目もあったことは全く知りませんでした。
- 空き地や空家対策は何かしているか知りたい。春日部はとても住みやすいと思うし、住みたい人も多いと思うけれど売土地があまりないように思います。その割りに空き地や空家もけっこうあり、雑草がおい繁っていたり、かたむいていたり危ないなあとと思うような場所も目につきます。
春日部だけでないと思いますが、きれいな住宅が建ち並ぶところも多い中、土地を探している人も多いのではないかと思います。
- （問10J～Oを指して）子どもの育てやすい場所（公園・自然・景観等）を考えるべきだと思います。子供を育てている親の目から見た良い場所でない、「年寄りの町」になってしまうと考えます。
- 生ゴミの処理。夏は特に必要。各戸に処理の仕方や集積場所の衛生。カラス・ネコの対策 etc. 下水処理問題。農薬散布。

- 市の公用車に電気自動車などを率先して導入して、アピールすべきだと思います。個人の小さな努力も集まれば大きな力となるため、啓発していく必要があります。しかし、お金のかかることは、なかなか難しいので、現状でできる努力をしていかなければと思います。また、行政が取り組む内容の中に成果が目に見える取組があると市民の関心が高まると思います。今回のアンケートにより自分の環境に対する考え方の見直しの場になり、意識が高まりました。
- 春日部市は河川・用水路等の水辺に恵まれている方だと思います。水辺周りだけでなく、河川や用水路内（ヘドロ除去等）も、市民の協力を得て清掃を実施して、市民だけでなく他県等からも楽しみに来るような魅力的な環境にできれば素晴らしいと思います。水難・水害防止の問題もあって容易ではないでしょうが、市内を歩いたり車で走っている時に“水辺の美しい宿場町 春日部”って言う事を考える事がありました。少し漠然としすぎかもしれませんが、春日部市の環境基本計画を考える時の参考になれば幸いです。春日部市のより良い環境整備促進よろしくをお願いします。もちろん応援も致します。
- ・江戸川や古利根川など水資源に恵まれた市です。より水質を向上し、豊かな生態系を取り戻して欲しいです。
・ビオトープの考え方を導入して欲しいです。
- 公園や運動場の緑化(樹木)を推進して頂きたい。
- 日々生活していく中で、自分が毎日出来ることを少しずつ実行して行きたいと思います。当たり前のことですが、節電、節水、ゴミの分別、ゴミの減量化、省エネ用の自動車、クリーン作戦の参加等、自分の家の周りや気づいた時は地域の清掃等、無理なく継続して出来る事が大切かと思います。
- 環境への取り組みを行っていることを知らなかった。市の広報は、空き巣と詐欺関連ばかりの印象。東京杉並から転居してきて道路脇のゴミのポイ捨てが多いことに驚いた。
- ムク鳥の為に街路樹が切られ惨めな姿になっています。何か良い方法はないものか？と思います。市の境に流れるせんげん堀、新方川が去年は大変でした。せんげん台駅が水につかりました。今工事中ですが、一日も早く線路の辺りが広げられる事を願っています。武里団地五街区(分譲地域)は、ゴミのポイ捨て等でボランティアが毎日地域に出て拾い集めと合わせて児童(子ども達)の見守りもしています。以前に比べとてもきれいになりました。
- 西口一画に集中している風俗・パチンコ店の排除・藤棚の再生整備・公園に防災設備とバーベキューの設備をつくり、公園の有り方を変えるべき・防災有りきの緑化公園を作るべき。交通に危険な植込みの排除・バスの深夜までの営業。
- 住民の高齢化と共に、空き家、空き地が増えているように思います。「長年、放置された、家や土地の環境整備」を第2次環境基本計画に入れて欲しい。家電製品を不燃物時に回収していただいておりますが、春日部市はどの程度でどのようにしてリサイクルされているのかを知りたい。市の環境への取り組みについて知らないことが多く反省！！私だけなのか？アンケート結果を公表してください。
- 国道16号線の騒音対策、市民農園の拡大、検討をお願いします。
- 特徴を出した春日部市らしい取り組みを。春日部市民が誇りを持てる街にするために取り組みが必要。何か春日部から情報発信、ムーブメントをつくるべき。
- 春日部市庄和地区には豊かな田園地帯が広がり農家の屋敷林や森もあり、散歩の折には心が和みます。河川も然りです。しかし、農家の高齢化の影響でしょうか。荒れ田が目につく様になりました。川岸も汚れが気になります。かげがえのない首都圏の美しい田園風景がこれから先も残ります様に、行政の力をお願い致します。
- 春日部市環境基本計画を知っている市民がいるのでしょうか？知らない人がほとんどだと思います！市の計画内容は何ですか？計画のアンケートを取って、市はどんな対応していくのかわかりません。このアンケート結果から何を始めるのかわかりません。

- 毎月配付される広報には目を通していますが、市のホームページへは月に数回アクセスする程度。ホームページをもっと充実させ、環境に関する情報などもトップページにイラスト入りで訴えるなどひと目で分かるようにしたほうが良いと思います。
- 雑草の除草やゴミのポイ捨て防止などをやってほしい。汚れた川の掃除などもやってほしい。
- 近所に犬のフンが片付けられない歩道があり避けている。目的地まで遠回りしているので、飼い主へ呼びかけてほしい。
- 中央のマンションに住んでいますが、夕方にカラスが多くなり非常に困っています。
- ・環境を人間にとって居心地の良いものにすると他の生物にとって居心地の悪いものになる。地球全体の量は一定なので何かが繁栄すれば、何かがしわ寄せを受ける。
 - ・どこに力点を置くかで方向は異なってくる。
 - ・短期と長期の視点。今生きている人間を中心に考えると将来の人間にしわ寄せがいく。
 - ・今が良ければ自分の目に映る範囲がよければとなりがち。地球環境は、人間の行為により、この1,000年、100年、10年、過速的激変してきた。地球規模の激変は、人間を含め全生物、未体験のゾーン。
 - ・原発などもコントロールする術をもたないのに、ブレーキが効かない。全人類に意識転換が必要。環境を人為的に加工するのではなく、慎ましく生きる。
 - ・低湿地である春日部が住宅化、急変、雨量多い時の受け皿が減少、平時と有事、ともに視野に入れて。
 - ・環境問題は、生活の基底であるので、場当たり対応でなく、腹をくくって、100年の計を立て、舵取りを行政に期待。
- 年2回のクリーンデイが今はゴミが少なくて良いのですが、組の70、80人の人が全員で一輪車で2、3台位のゴミしか集まりません。これではクリーンデイの意味がないので何か考える必要があるのではないかと思います。
- 春日部市には河川の多い地域であり、水と環境が切り離せないので、浄化槽の普及等を推めていただきたいと思います。
- 街灯が少ない。桜の木の毛虫が多いので駆除消毒を。燃えるごみの日が週3日あるのが本当助かる！ありがとうございます。川沿いの大人の立ちションが多くて…。ペットを飼ってる人のマナー。人の家の前や壁にトイレしたりする。
- 川がきれいになる市が望ましい。
- ムクドリ騒音やフン害に迷惑してます。
- タバコ、歩きタバコ禁止 各自治会のごみ置き場の「カラス」対策
- 子供ができてから騒音や大気環境、緑化等に興味を持ちました。大気では車の排ガスもそうだが、タバコの煙が特に気になる。(歩きタバコ) 緑化では街中もそうだが、近くに公園等、緑の多い場所が増えると良いなと感じる。
- 一番の課題は水害対策だと考えます。二つあります。①河川からの浸水対策②大雨による浸水対策。 ①についてはいつ、どこで、どうやって避難するか具体的に且つ訓練してください。②について一寸した大雨で床下浸水の恐れのある地域のひとつであるわが地域を一応前もって調べにきてください。
- 不法投棄をさせない工夫をしていただきたい。
- 今回のアンケートで、我が家には、省エネ関係の導入が少ない事を改めて認識しました。市民の環境への意識をより一層高めるのは、子どもの時の教育が一番効果を上げると思いますが、庄和区域は地域の諸活動が活発な所と思います。この特性を生かして、具体的な活動を子ども(少なくなりましたが)共に地道に出来ればと思います。

- 古隅田川は散歩コースですが、栄町の古隅田川の草刈りが念に2回しかないため、伸びた草は棚を越えて道路の方に倒れ、棚が見えなくてすれ違い時に棚に車を擦ってしまう事故等も起きています。春にはきれいな桜が咲き、見に来る方もたくさん居ます。それなのに工業団地側には駐車している車がたくさんいる上、その車やトラックの中で食事を済ませ、ゴミはポイ捨てして行きます。川の流れは悪しか良しが分かりませんが、背の高い草がどんどん増えて流れが見れません。その葦などが刈りっぱなしのため、生えている場所がどんどん増えて川幅がどんどん狭くなっています。街から離れた所もきれいにしてください。きれいになっていけば、汚しにくいと思います。美しい街なら住む方々も増えると思います。
- クモや蜂など、人体に危害を与える外来種の情報はやかに流してください。
- 環境活動の中には、省エネ活動やゴミ問題など、行政の責任ではなく個人のモラルの問題も多くあり、取り組みはとて大変かと存じます。小中学校の総合学習などを利用して、子どもの頃から様々なことを考える時間が増えるといいなと日ごろ感じております。大人のモラルを変えるのは難しいので・・・。
- 住み良い環境を住民に提供するの、行政のすることだと思えます。企業・市民の協力を得て行ってほしい。責任は行政です。
- 市の取り組みと住民の活動との協力体制。
- 環境について知る機会があまりにも少ない気がします。左記のような環境に関する取り組みを春日部市がやっていたことにビックリしました。もう少し知らせる方法も必要だと思います。
- 地域温暖化が進む現在、省エネはわれわれ一人一人が関心を持って取り組むべき。まず市役所が、そのお手本を見せてもらいたい。緑化の推進、電気自動車・燃料電池車の導入、街灯のLED化等。
- 備後にすんでいるが、ゴミステーションのマナーがとても悪い。外国人、飲み屋が多く、回収日でないのに出されていたり、回収できないもの、ゴミの混合(不燃と可燃が混ざって回収されない)、粗大ゴミの放置、悪臭。住民や店へのマナーの徹底・周知・呼びかけなどもう少し積極的にやって欲しい(特に備後須賀第1ちびっこ広場前やその周辺のゴミステーション)。ちびっこ広場はごみ箱がなく、小学生がお菓子のゴミやペットボトルを捨てていくが、いつもキレイにしてくれる方(自治体?)がいて感謝しています。ムクドリを始め野鳥の糞害に本当に迷惑している。車、家、道路、電柱、電線上、武里団地周辺で街路樹が剪定されると、特にひどくなる。本当に本当に迷惑しているの、早急に対策してほしい。
- 春日部は街道が2つ交差する地点であるためか、市内のいたるところで排ガスくさいと感じる。交通の便で考えれば利点であるかもしれないが、空気の良いさとしては悪いと思うので、今後改善していけば良いなと考えています。
- 工場からのぼる煙による悪臭が天気の良い日は特に臭ってくる。
- 農家の野焼き禁止を行政で厳しく指導して欲しい。
- 調整区域のため家を建設できなくて、空き地で持ち主が高齢のため草刈りができず、草が伸びている場所が近所にもあります。知り合いのご主人は、子どもに手がかからなくなり、土・日に暇ができたため、春日部以外の所で土地を借りて野菜を育てているそうです。市内には、空いている土地が草刈りもされずに沢山あるように感じています。緑化、環境の事を考える上で空いている土地を、一般の方が借りて、野菜や花を育てたりできたら良いと思います。草が伸びたままだとゴミの不法投棄にもつながります。タバコのポイ捨てから火事になったこともあります。すぐ消化されましたが・・・。野菜等を育てることが生きがいとなり、認知症予防にもなると思います。私も60歳過ぎたら、野菜を育てる機会があったらしてみたいです。年に1度の春日部クリーンデーはとても良いと思います。高齢化で今後参加者が減ると思いますが続けて欲しいと思います。ユリノキ通りのユリノキは一度も花が咲いたのを見た事がないので、花の名のついた通りで、ユリノキだけ咲かないので、咲かせる努力を期待しています。(フジ・ハクレンときれいに咲いています)

- 最近、ごみ集積所が季節のせいとかラスによって荒らされている所が多く見られるようになりました。道路近くの場所だとゴミが道路にまで散らばっている場合もあり、車両走行上、大変危険な状況です。スペースの問題もあるとは思いますが、ネットだけでなく、なるべく集積小屋のようなものを設置していただくとありがたい次第です。
- 子供達が公道で集団で遊んでいます。子供達が安心して遊べる公園をたくさん作ってほしいです。
- 公園にゴミ箱が無いからきたなくなる。道路にもゴミ箱を設置。灰皿の設置場所を増やす。(ポイ捨てがなくなっていく。)
- 子どもがたくさんいる地域なのに、公園が少ないことが不満。整備等にお金がかかるのはわかるが、子どもたちが自然にふれられる公園があればいいのと思う。市はぐー春日部やエンゼルドームの施設に力を入れてるが、子育て世代にとって必要なのは何なのかを考えて欲しい。都市計画で40年以上ほらうっておいた道路を今になって工事を進めることより、他に環境に関して取り組むことがあるのではと思う。
- 問15については、何か取り組んでいるだろうとは思っているが、具体的に何に取り組んでいるかは認識していません。会社員ですが私も家族も市の広報誌や回覧板はほとんど見ていません。今はスマホでニュースも読んでいる状況で紙やテレビにはあまり依存しなくなっています。ツイッター、フェイスブック、又はユーチューブはけっこう見ているので、そこでの広報活動を充実してもらえば目にする機会もふえると思います。
- 環境とは関係ないかもしれませんが、毎年の豪雨の時の水害が不安です。
- 道路に安易にポイ捨てされるタバコ、缶、ペットボトル等を見かけるたびに心が痛みます。これは春日部市だけに関わらず、どこに行ってもなかなか直らない問題ですよ。暑い中、一人でおじいさんが道路わきのゴミを拾い、ゴミ箱にいれる目の前で車からポイ捨てする人も見たことがあります。自分も声を掛けて止めさせるとかできたらいいのですが、反発されたらどうしようとか考えると見て見ぬふりで、そういうのが一番良くないですが、多分そういう人が沢山いらっしゃると思います。街並み整備よりもまずゴミ0、ポイ捨て0に重点を置いて欲しいと個人的に感じています。
- 環境について市で推進しておられますことは人が生活する中で重要なことです。地球全体の問題です。最近考えていることですが、農業区域だけではなく除草剤を使用されているのが多くみられます。草が枯れるということは人に対しても悪影響を及ぼすと考えます。病気になる要因になります。除草剤使用についても環境問題として取り組んでほしいです。
- 地球温暖化の影響で気候の変化、自然災害が多くなっている今、一人一人の細かい取組、努力が大切と考えていますが、高齢者にとって高額なシステム等の導入はためらわれます。
- 以下2つについての意見があります。
 1. 車の騒音・振動
 2. 電柱などへの張り紙・広告
 1. 車の騒音・振動に関して
自宅の近くが16号に近い為、自宅近辺の道がトラックの裏道に使用されることが多いです。その際の音・家の揺れが昼夜問わず大変気になります。また、夜中の暴走するバイクの音等も大変気になります。車の制限などは、大変難しいとは思いますが、何か対策があれば嬉しく思います。
 2. 電柱などへの張り紙・広告について
最近、電柱などに怪しい電話番号などの張り紙が増えています。見ていて大変不快に思います。生活環境が不安に感じますので、何か処置があれば嬉しく思います。また、今回のアンケートで春日部市が取り組む環境制度についてこんなにたくさんあることが知れて、とても勉強になりました！！ありがとうございます！！以上、宜しく願い致します。

- ごみの分別等で住民の意識の低さを感じることがあります。マナー（個人）も環境だと思えます。小淵は16号と4号にはさまれた地域ですが、こちらに引っ越してから喘息、花粉、ハウスダスト等によるアレルギー反応が出ます。病院も大変混んでいるので地域の問題だと思えます。
春日部小淵はその昔不動院があり、修験が大変さかんであったようです。今は末寺の小淵観音が残るのみですが、今も残っていれば全国から人々が来ていたと思えます。伝統を守りながら環境を残していけたらそれが豊かさだと思えます。行政は市民と違い、長い長い年月を考えたスパンで物事を判断して、歴史的価値のあるものを見極めて環境づくりに取り組んでいただきたいです。
- 環境に関しては、市民自身の意識、モラルの向上が必須と思えます。春日部市に転入する前は静岡県にいましたが、比較すると春日部市民（埼玉県民）はごみのポイ捨てなど環境への意識、モラルが低いと感じられます。改善するには小さい頃からの教育等、根本的な対策が必要と思えます。
- 古利根川の遊歩道を散歩すると穏やかな気持ちになります。これからも美しい川や緑、田畑のある春日部市に住みたいです。
- 緑豊かな、住み良い春日部市にさらになっしてほしいと思えます。一人一人の意識が高まる町に。
- 桜が満開になると古利根川の川岸を歩くのを毎年楽しみにしています。歩いていて思うのですが、桜の並木の途切れる部分にも桜の木を植えられないでしょうか。途切れがなくなれば大満足なのですが。
- 江戸川サイクリングロード側で20cm位のカメ（ミドリガメの大きくなった物）を見ました。繁殖がどの位進んでいるのか？又、かみつきガメまでいるのか？と生態系が気になります。
- 犬の散歩をしていて気になる点があります。排泄物の不始末、タバコの吸い殻、ごみのポイ捨ての多いことが目にあります。私自身もちろん気をつけていますが。タバコに関しては火の問題ですからとてもこわく思えます。健康にも関わることですので周知されることを望みます。
- ・市や行政は環境に関して表向き（大きな道路や川など）は力を入れてきれいにしているところがみられるが、もっと人目につきにくい場所も市や行政が中心となり、自治体及びその周辺に住む人々（市民）もまじえて取り組むことをしてほしい。
・個人的ではあるが、騒音や煙など工場から出るものだけでなく、住宅密集地でのBBQによる煙や騒音、道路での子どもや親達による騒音も環境問題の一つと思えます。市や行政によるルールや規制を考えてもらいたいです。
- ①カラス、ハト、ムクドリに対する公害を今すぐに考えていただきたい。（野鳥の保護よりも人間の保護、人体に害を及ぼしてからでは遅い。）
②ゴミ問題、すべてのゴミのポイ捨てに対する規律や罰金などを導入することによって税金にもなり町も川もきれいになるのでは。
- 水路が流れていなくてくさい。ふたをするか、掃除をもっと頻繁に行ってほしい。「蚊」がわいてきて危険。どうにかしてほしい。
- 限りある資源を大切にしたいと思えます。
- 環境に関係するか分かりませんが、古い公園などもっときれいにしたり緑を増やしたりしてほしい。小さい子供から大きな子供すべての子供が遊べる場所をもっと増やしてほしい。（季節ごとに遊べるととても良いです。）

- 自治会でゴミ拾いなどをやっている所も多いと思いますが、ただ、ゴミを捨ただけではつまらない。「クリーンハイク」と言う地図を片手にグループごとでゴミを拾って、ときおりクイズがある関所などを設けてオリエンテーリングみたいに楽しみながらゴミ拾いをしていく行事に参加したことがあるのだが、とても楽しかったし、町もきれいになってまた参加したいと思えた。また、参加したいと思える行事を考えてほしい。
- 犬、猫のフンを歩道や遊歩道に飼い主が処理をしないでそのまま放置されていることが多い（実際に歩行中に踏んでしまって困ったことがある）。啓蒙活動を強化してもらいたい。これも快適な生活をおくるうえでの環境活動だと考える。
- 春日部市の対応はおおよそ適切と考えられます。これからも更に進められることを願います。
- 環境にこだわれば自ずと人は集まる。
- 駅周辺や公道等でたばこのポイ捨て等、そもそも市民のモラルの低さを感じている。はっきり言って住んでいて不快に感じることが多い。高い理想をえがくより、最低限のモラルを守ることを優先すべき。※例えば歩きたばこや、空き缶等のポイ捨てをすることが良くないことという認識が持てる雰囲気をつくること。東京都内はすでにそうなっている。
- ほぼ毎日、古利根川の川沿いを散歩しております。公園橋～人道橋がゴミ（ペットボトル、発泡スチロール、空き缶等）で汚れ、気になっております。歩いていて楽しい川散歩が出来ることを希望します。
- 1. 例年、雨の時期になると道路が冠水します。何年も前から市の関係課の職員の方に市議会議員の方に改善のお願いをしていますが、なかなか改善されません。優先的に取り組んで欲しいと思います。
2. 自宅は6m道路の交差点にあります。最近、中・大型トラック（例えば宅急便）が通ると地面の振動が大きくなりました。陥没などの事故を心配しております。この件についても、市の関係課の職員の方に伝えてあります。以上2点、生活環境に関わる件ですので、優先的に取り組んで戴きたくよろしくお願い致します。
- 昔、水田であった場所を造成して住宅を建ててあるので、用水路が残っています。そこにゴミや空き缶等が捨ててあるところがありますので、掃除をしていただけたらと思います。最近、空き家が目立ってきました。防犯上良くありませんので、対策を考えていただきたい。
- ・春日部市は他と比較しても環境は良く整えられていて不快に感じる面は少なく住み良いと思います。
・もっと自然とふれあう機会がもてる施設が増えると良いですね。公園や運動公園、植樹など緑化活動に期待しています。
・他の市に比べるとゴミが少ないのも良いところです（市街）。一方、河川のあたりの水の汚さ、ゴミの多さは改善の必要があると感じます。
・鳥害が個人的に困っております。駅周辺、市街地等での鳴き声や糞害が衛生上問題があるので、有効な対策をお願いします。
・いつも住み良い春日部市、ありがとうございます。
- 計画、方針も大事だが、出来る事を日々行う心と行動力がないと、環境は良くなるらない。
- 川を清掃していると思うが、雑草が生い茂っている。害虫が発生したり、又、蛇などの心配があるので、より一層こまめな清掃を希望する。河川敷で畑を作っている人がいるが、良いのでしょうか？個人のものではないはずです。取締りをお願いします。
- 街路樹や公園、緑が少ない。
- 関心がないと市の情報は目に止めません。しかし、市役所裏の桜は残念でした。なくなって緑の豊かさを考えるようになりました。

- 自転車の普及に取り組んでほしい。※自転車は化石燃料を使用せず、又、健康面でも適度の運動と気分転換やまわりの変化や動き等、見習う事が出来ます。それと家に引き篭もると言う孤独さや自閉的な心理からの開放も望めるし利用の仕方では大きく変化出来る乗り物だと考えています。それには行政が主導し勉強会や駅前、公園等での無料駐車化（反対があるかと思いますがそれは一部の方だけ）が大前提だと思います。もう少し勉強して頂きたいと思います。
- ・河川水質や川の草刈り、公園などの草取り、蚊などの駆除などしてほしい。（下水道などの点検）
 - ・TOP春日部店の裏の川も汚い（カメがたくさんいる。カメや魚がかわいそう）。
 - ・藤塚の近くのマルキンラーメンの駐車場の下水道か？いつも下水道の臭いがする。
 - ・公園なども草取りや鳥のフン、蚊などの駆除をして安全な遊具の点検、トイレもきれいにお願いします。子供達の為に遊具ももっと魅力あるものがほしい。例えば、2人乗り位のメリーゴランドとか。動くもの（ゲーム風に）100円くらいで楽しめる（春日部ならではの公園）。あとは大人にも楽しめる健康遊具のようなもの。そういうものがある楽しめる公園があっても良い（お金はかかりますが）。
- 庄和地区に移って来て10年以上経ちました。その間にかなりの緑がなくなり住宅が増えている様に感じます。大自然の静かな環境が好きだったので、それが壊されてきている様な気がします。
- ・今回のアンケートで前ページの市の取組が行われている事がそもそも知らなかったです。市としてその辺の事をアピールした方が良いかと思います。
 - ・また、リサイクル活動など多くの方が可能な限り、やりやすい環境を作っていく事が大事かと思います（認知度の向上と手軽さ）。
 - ・節約に関しては個人の意識ももちろんですが、まず、行政が率先して行なうべきかと思えます（行政自身が、そして行政を通して地域へ節約の意識や環境を整える）。
- 古い住宅を建て替えると樹木がかなり減る。建売住宅では緑地がほとんどない。→各家庭の緑を増やせばヒートアイランド現象も軽減するのではないか。緑地保全をしている家庭屋上緑地を導入した宅地、企業などに補助金を出すことはできないか。
- ・春日部は緑が多いと思います。
 - ・川辺りに下りられるようになるともっといいと思います。
 - ・木が増えるのは賛成ですが、草が増えてしまうのは少しいやかもしれない。
 - ・草むしりなどを地域で行うのは少し・・・。
 - ・大きな木を切っているのを見ると少しかなくなりそうです。
 - ・緑化すると虫が増えてしまうのも少しいやです。
 - ・環境に良い製品（エアコン等）、家のリフォームにも補助があるとうれしい。
- 公園を増やしてほしい（緑町）。なぜなら、きれいな公園がない町には、子育て世代が増えないから。
- 野鳥（カラス）が多く、ごみ等を散乱させているので、ごみの出し方の何か工夫があればと思います。
- 福島原発事故による放射能汚染について調査も対応もできていないと思います。特に学校、保育所、公園など子どもたちがすごす公共施設の土壌の放射線量の測定と除染。さらに子どもたちの健康被害の調査を速やかに継続的に実施していただきたい。
- 旧庄和地区との合併で春日部市が大きくなりましたが、合併後、自然環境について低下していると思います。除草（道路ぎわ）など細やかなチェック、また河川水質、地震の防災対策への協力など安心して暮らせるように政策を考えていただけるように希望します。
- ・武里団地周辺のムクドリ対策を早急に実現願いたい。せんげん台西口では成功している。
 - ・中高生や、自家用車利用の若者によるコンビニ飲食物のポイ捨てが多いので迷惑している。私学にも指導を徹底していただきたい。
 - ・市の環境への取組みは全く周知されていないと思う。

- 粗大ゴミ（テレビ等）が空き地や川の土手等に捨ててあるのを見かけますが、お金を払って処分するのが嫌な人かと思います。そのような行為は犯罪、罰金とかの看板がありますが効き目はない様に感じます・そうならないように新品を購入するときに処分料を含めて販売するべきです。そのような仕組みに国や市で動いてほしいと思っています。まじめに生きている人が損を感じない世の中になってほしいと思います。税金は有意義に使ってほしいです。
- 野鳥等が多くなりわかるのですが、春日部駅から（東口）16号迄の広い道路の街路樹が枝を早めに切ってしまい、夏場の暑い時等ちょっと休んで汗を拭く場所として木がほしいです。粕壁小学校の前の道路の木のように鳥が来て大変なのは分りますが考えてほしい一人です。皆様ご苦労様です。
- 雑草を取る手間を省くためであろうが、やたら除草剤の散布されている所が気になるが大丈夫なのかと気にかかる。
- 環境問題と一言に言われても事柄が大きすぎ、一個人及び個別の家庭の中からはなかなか取り組みがわからないと思います。身近に感じることを実感させる仕組み方法があれば皆の目安となるかも知れません。例えば、1ヶ月毎の目標項目（水の日、紙の日、ゴミの日等々）取り組み方を示す事も皆の目標となるかな？
- 1. 交差点を避けて抜け道やわき道を通る車両をもっと規制して欲しい。
 2. 排出ガスのひどいものが多いに見かけます。車検等で排除できないものでしょうか。本件は抜け道でも多く見かけます。
 3. 「不燃ごみ」の収集車が去った後に違反と思われる物体が残されています。行政での指導は良好と思うので、市民のごく一部に反省を望みます。
 4. 「燃えるゴミ」の排出は指定時までには各家庭で1つに取りまとめるべきと言えます。まだ収集車が来ないからと言ってわずかひとにぎりのゴミを小さな買い物袋を利用して出すことは「違反行為」と感じさせる行政指導を望みます。
- バス停のそばに住んでいます。待っている人のポイ捨てが多いこと。タバコやコーヒー缶、ちり紙、おにぎりのカバー、日本人のマナー向上、どうやっていけばよいのでしょうか。東京オリンピックも近いので美しい国日本にしたいものです。
- 下水と河川の清掃を毎月定期的に行っていただきたいです。害虫駆除と環境美化のためよろしく願います。また、歩きタバコを禁止とする市町としてください。
- 春日部市が進めている環境に関する取り組みはほとんどが知りませんでした。春日部の市内が花と緑ときれいな川の水の市になればどんなにステキだろうと思っています。人はお金をわざわざ使ってまで自然の豊かな場所まで行くのですから、本来人間は水と空気と緑がきれいな場所が好きなのだと思います。ならば、自分の住んでいる場所が、きれいな環境になるためなら多少面倒な事も取り組んで行こうと思います。各家庭でとりくめる事や個人でできる事、参加できるものなどいろいろ考えてください。市民全員からいろいろなアイデアを集めるのもいいのではないのでしょうか？
- 近くの水路には、土が溜まり草が生えている場所があり、見た感じが悪い。更に水の流れも悪く、夏には蚊が発生しないかと心配している。環境に関しては、市への自治会からの各種要望事項について、まず取り組んで戴くことが一番大切と考える。
- - ・子どもの頃からの教育がとても大事。
 - ・環境によいことをしたら経済的にもお得なことがあるなどの動機づけが重要。
 - ・“面倒でない” “簡単にできる” “続けられる” “意識せずとも日常生活の中に取り入れられる” など取り組みやすい活動から普及させていく。
 - ・大人も子ども（学生も）服装は柔軟に考えて空調にできるだけ頼らないようにする。学校にクーラーが入ったからといって暦で衣替えをするのではなく、気候（温度）で判断すればいい。官公庁も同様。

- 大雨が降ると家の前の下水管が満水になり、家のトイレ、風呂他水廻りが使用できなくなります。他の環境には問題がなく、足していますが、この1点がとても不便で大雨が降るたびに、家を春日部で買ったことを後悔しています。下水環境の改善、どうにかならないでしょうか？藤塚地区在住

第3章 事業者アンケート調査結果

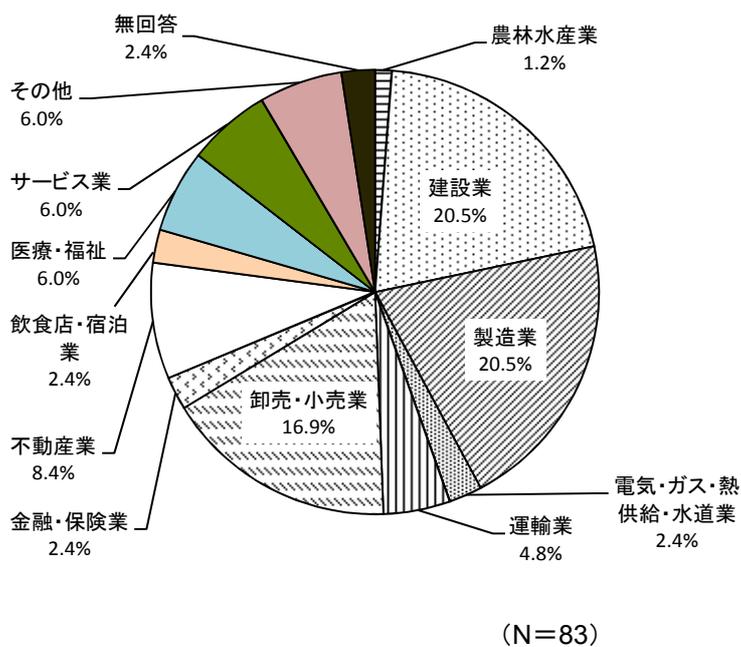
1 事業者アンケート調査結果

◆ 貴事務所のことについてお伺いします ◆

問1 貴事業所の業種について、あてはまる番号を1つだけ○(兼業の場合、売上げの割合が高いもの)で囲んで下さい。

- | | | |
|------------------|-----------|--------------|
| 1. 農林水産業 | 2. 建設業 | 3. 製造業 |
| 4. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 5. 情報通信業 | 6. 運輸業 |
| 7. 卸売・小売業 | 8. 金融・保険業 | 9. 不動産業 |
| 10. 飲食店・宿泊業 | 11. 医療・福祉 | 12. 教育・学習支援業 |
| 13. サービス業 | 14. その他 | |

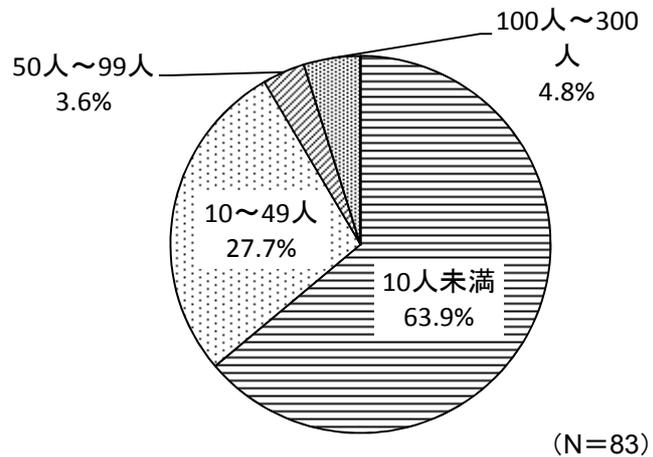
	選択肢	回答数
1	農林水産業	1
2	建設業	17
3	製造業	17
4	電気・ガス・熱供給・水道業	2
5	情報通信業	0
6	運輸業	4
7	卸売・小売業	14
8	金融・保険業	2
9	不動産業	7
10	飲食店・宿泊業	2
11	医療・福祉	5
12	教育・学習支援業	0
13	サービス業	5
14	その他	5
	無回答	2
	合計	83



問2 貴事業所の従業員規模について、あてはまる番号を1つだけ○で囲んで下さい。

- | | | |
|--------------|--------------|------------|
| 1. 10人未満 | 2. 10～49人 | 3. 50人～99人 |
| 4. 100人～300人 | 5. 300人～499人 | 6. 500人以上 |

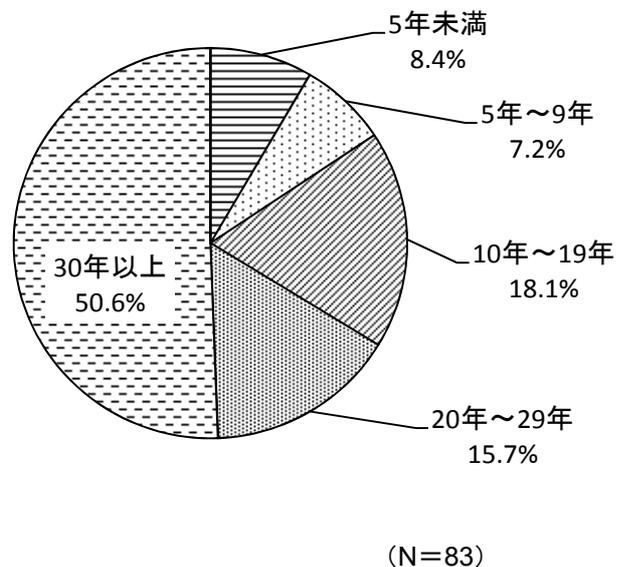
	選択肢	回答数
1	10人未満	53
2	10～49人	23
3	50人～99人	3
4	100人～300人	4
5	300人～499人	0
6	500人以上	0
	無回答	0
	合計	83



問3 貴事業所は春日部市で事業を始められてから何年になりますか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んで下さい。

- | | | |
|------------|----------|------------|
| 1. 5年未満 | 2. 5年～9年 | 3. 10年～19年 |
| 4. 20年～29年 | 5. 30年以上 | |

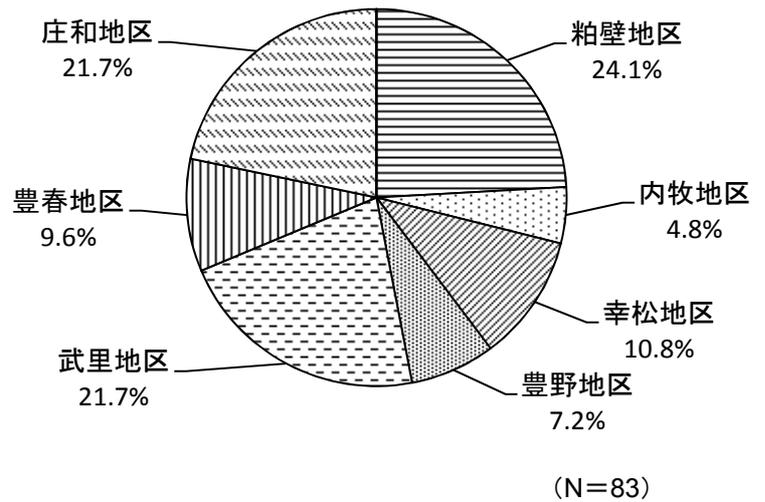
	選択肢	回答数
1	5年未満	7
2	5年～9年	6
3	10年～19年	15
4	20年～29年	13
5	30年以上	42
	無回答	0
	合計	83



問4 貴事業所の所在地について、あてはまる番号を1つだけ○で囲んで下さい。

1. 粕壁地区 2. 内牧地区 3. 幸松地区 4. 豊野地区
 5. 武里地区 6. 豊春地区 7. 庄和地区

	選択肢	回答数
1	粕壁地区	20
2	内牧地区	4
3	幸松地区	9
4	豊野地区	6
5	武里地区	18
6	豊春地区	8
7	庄和地区	18
	無回答	0
	合計	83



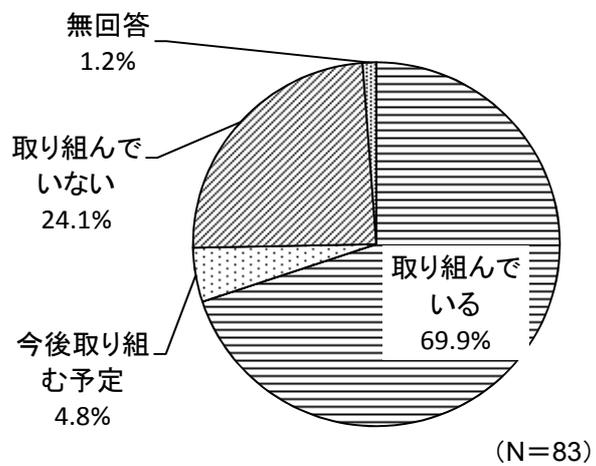
◆ 貴事務所の環境活動についてお伺いします ◆

問5 貴事業所では、日常業務の中で、環境配慮のための活動に取り組んでいますか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

1. 取り組んでいる 2. 今後取り組む予定 3. 取り組んでいない

日常業務の中での、環境配慮のための活動について、「取り組んでいる」(69.9%)が最も多く、次いで「取り組んでいない」が多くなっています。

	選択肢	回答数
1	取り組んでいる	58
2	今後取り組む予定	4
3	取り組んでいない	20
	無回答	1
	合計	83



問6 貴事業所では、日常業務の中で、どのような環境配慮のための活動を実施していますか。それぞれの項目について、あてはまる番号1~4の中から1つだけ○で囲んでください。

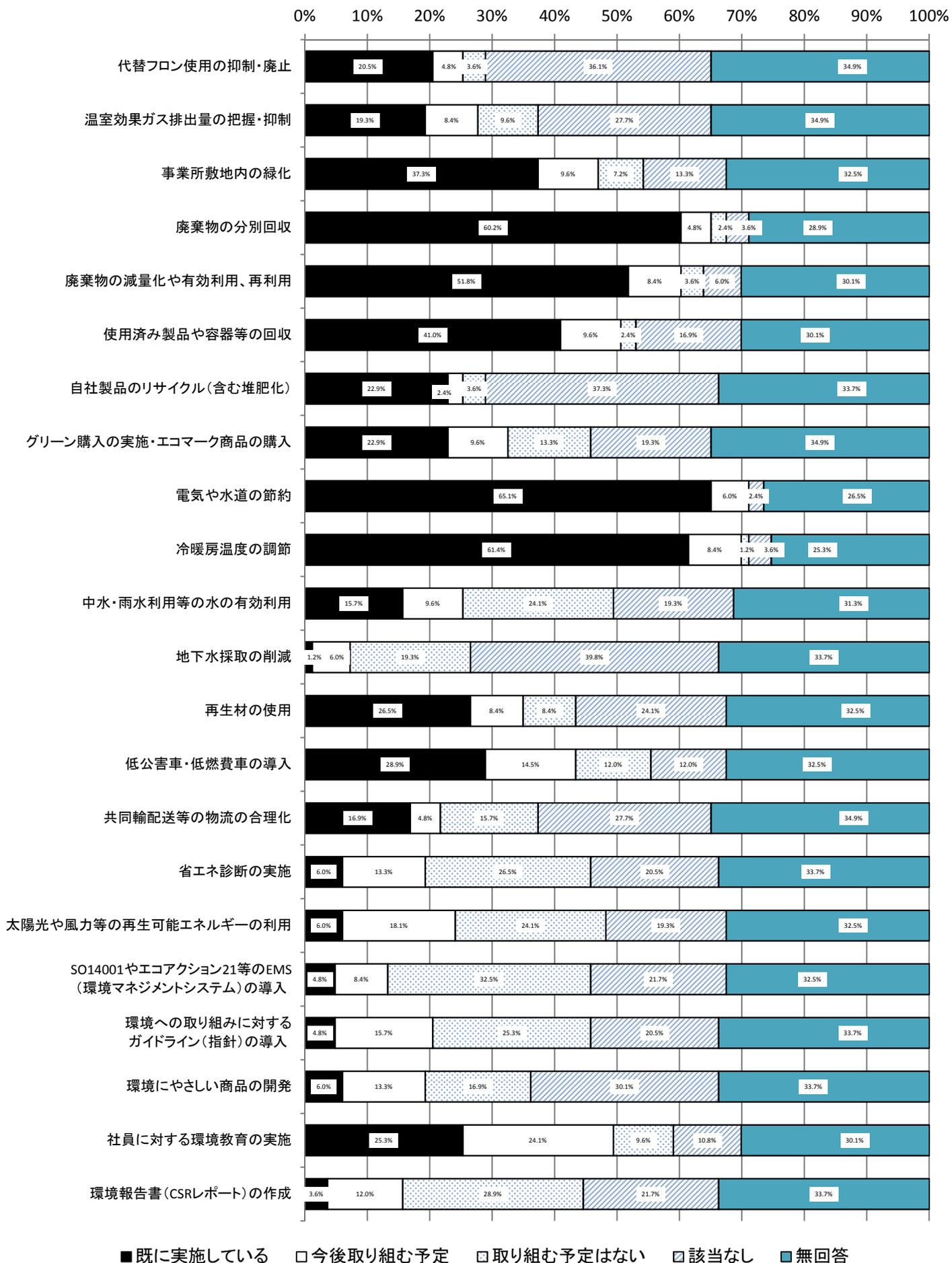
	項 目	既に実施 している	今後 取り組 む予定	取り組 む予定 はない	該当 なし
◆地球環境問題対策◆					
A	代替フロン使用の抑制・廃止	1	2	3	4
B	温室効果ガス排出量の把握・抑制	1	2	3	4
C	事業所敷地内の緑化	1	2	3	4
◆廃棄物の減量やリサイクルの推進◆					
D	廃棄物の分別回収	1	2	3	4
E	廃棄物の減量化や有効利用、再利用	1	2	3	4
F	使用済み製品や容器等の回収	1	2	3	4
G	自社製品のリサイクル(含む堆肥化)	1	2	3	4
H	グリーン購入の実施・エコマーク商品の購入	1	2	3	4
◆省エネルギー・省資源◆					
I	電気や水道の節約	1	2	3	4
J	冷暖房温度の調節	1	2	3	4
K	中水・雨水利用等の水の有効利用	1	2	3	4
L	地下水採取の削減	1	2	3	4
M	再生材の使用	1	2	3	4
N	低公害車・低燃費車の導入	1	2	3	4
O	共同輸配送等の物流の合理化	1	2	3	4
P	省エネ診断の実施	1	2	3	4
Q	太陽光や風力等の再生可能エネルギーの利用	1	2	3	4
◆環境マネジメントシステムや製品開発◆					
R	ISO14001 やエコアクション 21 等の EMS(環境マネジメントシステム)の導入	1	2	3	4
S	環境への取り組みに対するガイドライン(指針)の導入	1	2	3	4
T	環境にやさしい商品の開発	1	2	3	4
U	社員に対する環境教育の実施	1	2	3	4
V	環境報告書(CSR レポート)の作成	1	2	3	4

D「廃棄物の分別回収」、I「電気や水道の節約」、J「冷暖房温度の調節」は、「既に実施している」と回答した割合が60%を超えています。

また、K「中水・雨水利用等の水の有効利用」、P「省エネ診断の実施」、Q「太陽光や風力等の再生可能エネルギーの利用」、R「ISO14001やエコアクション21等のEMS(環境マネジメントシステム)の導入」、S「環境への取り組みに対するガイドライン(指針)の導入」、V「環境報告書(CSRレポート)の作成」は、「取り組む予定はない」と回答した割合が最も多くなっています。

白文字 = 1位 黒文字 = 2位

		合計	既に実施している	今後取り組む予定	取り組む予定はない	該当なし	無回答	
A	代替フロン使用の抑制・廃止	人数	83	17	4	3	30	29
		構成比	100.0%	20.5%	4.8%	3.6%	36.1%	34.9%
B	温室効果ガス排出量の把握・抑制	人数	83	16	7	8	23	29
		構成比	100.0%	19.3%	8.4%	9.6%	27.7%	34.9%
C	事業所敷地内の緑化	人数	83	31	8	6	11	27
		構成比	100.0%	37.3%	9.6%	7.2%	13.3%	32.5%
D	廃棄物の分別回収	人数	83	50	4	2	3	24
		構成比	100.0%	60.2%	4.8%	2.4%	3.6%	28.9%
E	廃棄物の減量化や有効利用、再利用	人数	83	43	7	3	5	25
		構成比	100.0%	51.8%	8.4%	3.6%	6.0%	30.1%
F	使用済み製品や容器等の回収	人数	83	34	8	2	14	25
		構成比	100.0%	41.0%	9.6%	2.4%	16.9%	30.1%
G	自社製品のリサイクル(含む堆肥化)	人数	83	19	2	3	31	28
		構成比	100.0%	22.9%	2.4%	3.6%	37.3%	33.7%
H	グリーン購入の実施・エコマーク商品の購入	人数	83	19	8	11	16	29
		構成比	100.0%	22.9%	9.6%	13.3%	19.3%	34.9%
I	電気や水道の節約	人数	83	54	5	0	2	22
		構成比	100.0%	65.1%	6.0%	0.0%	2.4%	26.5%
J	冷暖房温度の調節	人数	83	51	7	1	3	21
		構成比	100.0%	61.4%	8.4%	1.2%	3.6%	25.3%
K	中水・雨水利用等の水の有効利用	人数	83	13	8	20	16	26
		構成比	100.0%	15.7%	9.6%	24.1%	19.3%	31.3%
L	地下水採取の削減	人数	83	1	5	16	33	28
		構成比	100.0%	1.2%	6.0%	19.3%	39.8%	33.7%
M	再生材の使用	人数	83	22	7	7	20	27
		構成比	100.0%	26.5%	8.4%	8.4%	24.1%	32.5%
N	低公害車・低燃費車の導入	人数	83	24	12	10	10	27
		構成比	100.0%	28.9%	14.5%	12.0%	12.0%	32.5%
O	共同輸配送等の物流の合理化	人数	83	14	4	13	23	29
		構成比	100.0%	16.9%	4.8%	15.7%	27.7%	34.9%
P	省エネ診断の実施	人数	83	5	11	22	17	28
		構成比	100.0%	6.0%	13.3%	26.5%	20.5%	33.7%
Q	太陽光や風力等の再生可能エネルギーの利用	人数	83	5	15	20	16	27
		構成比	100.0%	6.0%	18.1%	24.1%	19.3%	32.5%
R	ISO14001やエコアクション21等のEMS(環境マネジメントシステム)の導入	人数	83	4	7	27	18	27
		構成比	100.0%	4.8%	8.4%	32.5%	21.7%	32.5%
S	環境への取り組みに対するガイドライン(指針)の導入	人数	83	4	13	21	17	28
		構成比	100.0%	4.8%	15.7%	25.3%	20.5%	33.7%
T	環境にやさしい商品の開発	人数	83	5	11	14	25	28
		構成比	100.0%	6.0%	13.3%	16.9%	30.1%	33.7%
U	社員に対する環境教育の実施	人数	83	21	20	8	9	25
		構成比	100.0%	25.3%	24.1%	9.6%	10.8%	30.1%
V	環境報告書(CSRレポート)の作成	人数	83	3	10	24	18	28
		構成比	100.0%	3.6%	12.0%	28.9%	21.7%	33.7%

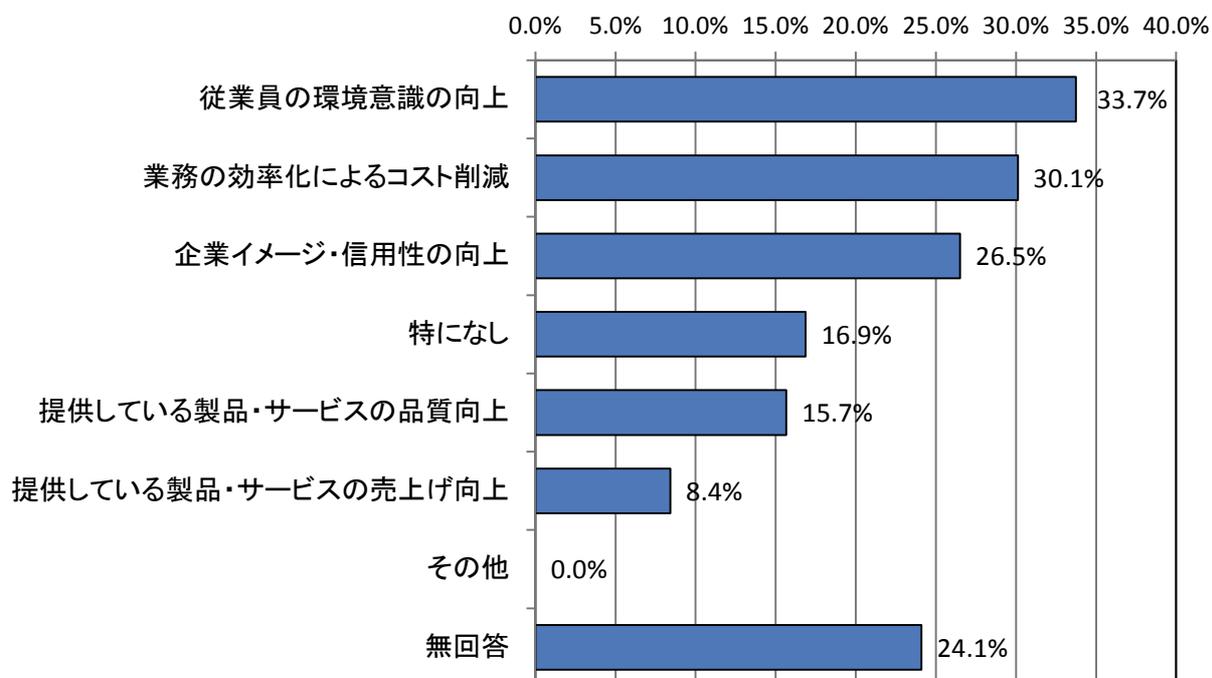


問7 貴事業所において、環境活動に取り組んだことで得られた効果は何ですか。あてはまる番号をすべて○で囲んでください。

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 企業イメージ・信用性の向上 | 2. 業務の効率化によるコスト削減 |
| 3. 提供している製品・サービスの品質向上 | 4. 提供している製品・サービスの売上げ向上 |
| 5. 従業員の環境意識の向上 | 6. 特になし |
| 7. その他 | |

環境活動に取り組んで得られた効果について、「従業員の環境意識の向上」(33.7%)が最も多く、次いで「業務の効率化によるコスト削減」が多くなっています。

	選択肢	回答数
1	企業イメージ・信用性の向上	22
2	業務の効率化によるコスト削減	25
3	提供している製品・サービスの品質向上	13
4	提供している製品・サービスの売上げ向上	7
5	従業員の環境意識の向上	28
6	特になし	14
7	その他	0
	無回答	20



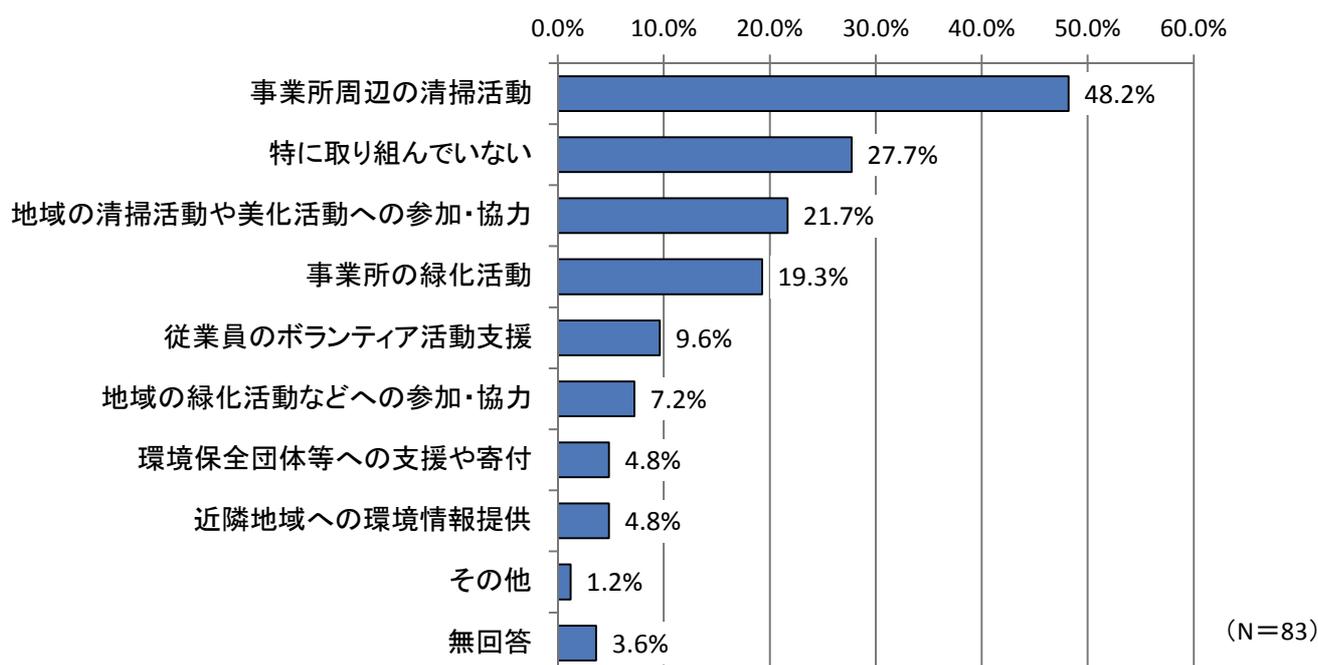
(N=83)

問8 貴事業所では、地域社会の一員として、地域の環境のためにどのような取り組みをしていますか。あてはまる番号をすべて○で囲んでください。

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. 事業所周辺の清掃活動 | 2. 地域の清掃活動や美化活動への参加・協力 |
| 3. 事業所の緑化活動 | 4. 地域の緑化活動などへの参加・協力 |
| 5. 従業員のボランティア活動支援 | 6. 環境保全団体等への支援や寄付 |
| 7. 近隣地域への環境情報提供 | 8. 特に取り組んでいない |
| 9. その他 | |

地域社会の一員として、地域のためにどのような取り組みを行っているかについて、「事業所周辺の清掃活動」(48.2%)が最も多く、次いで「特に取り組んでいない」が多くなっています。

	選択肢	回答数
1	事業所周辺の清掃活動	40
2	地域の清掃活動や美化活動への参加・協力	18
3	事業所の緑化活動	16
4	地域の緑化活動などへの参加・協力	6
5	従業員のボランティア活動支援	8
6	環境保全団体等への支援や寄付	4
7	近隣地域への環境情報提供	4
8	特に取り組んでいない	23
9	その他	1
	無回答	3

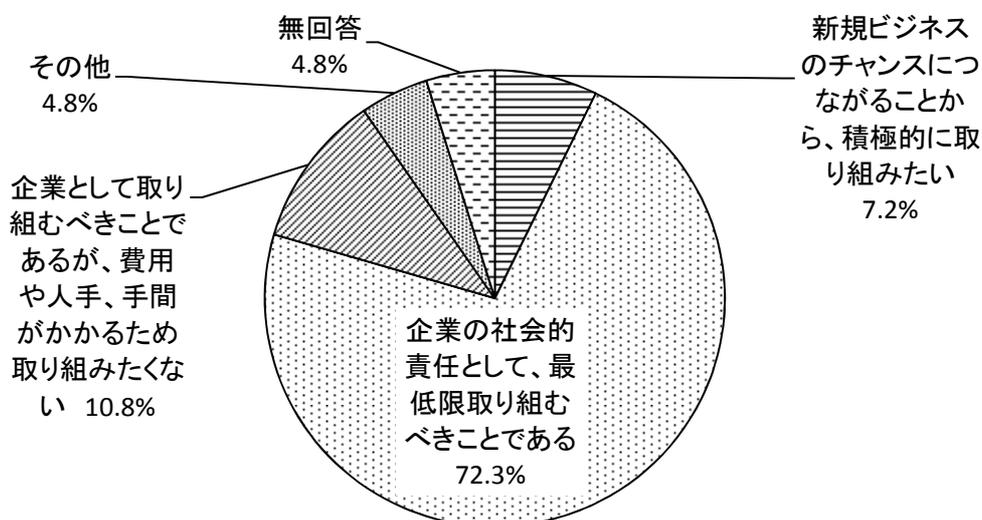


問9 貴事業所では、環境活動に取り組むことについて、どのようにお考えですか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

1. 新規ビジネスのチャンスにつながることから、積極的に取り組みたい
2. 企業の社会的責任として、最低限取り組むべきことである
3. 企業として取り組むべきことであるが、費用や人手、手間がかかるため取り組みたくない
4. その他

環境活動に取り組むことについて、「企業の社会的責任として、最低限取り組むべきことである」(72.3%)が最も多く、次いで「企業として取り組むべきことであるが、費用や人手、手間がかかるため取り組みたくない」が多くなっています。

	選択肢	回答数
1	新規ビジネスのチャンスにつながることから、積極的に取り組みたい	6
2	企業の社会的責任として、最低限取り組むべきことである	60
3	企業として取り組むべきことであるが、費用や人手、手間がかかるため取り組みたくない	9
4	その他	4
	無回答	4
	合計	83



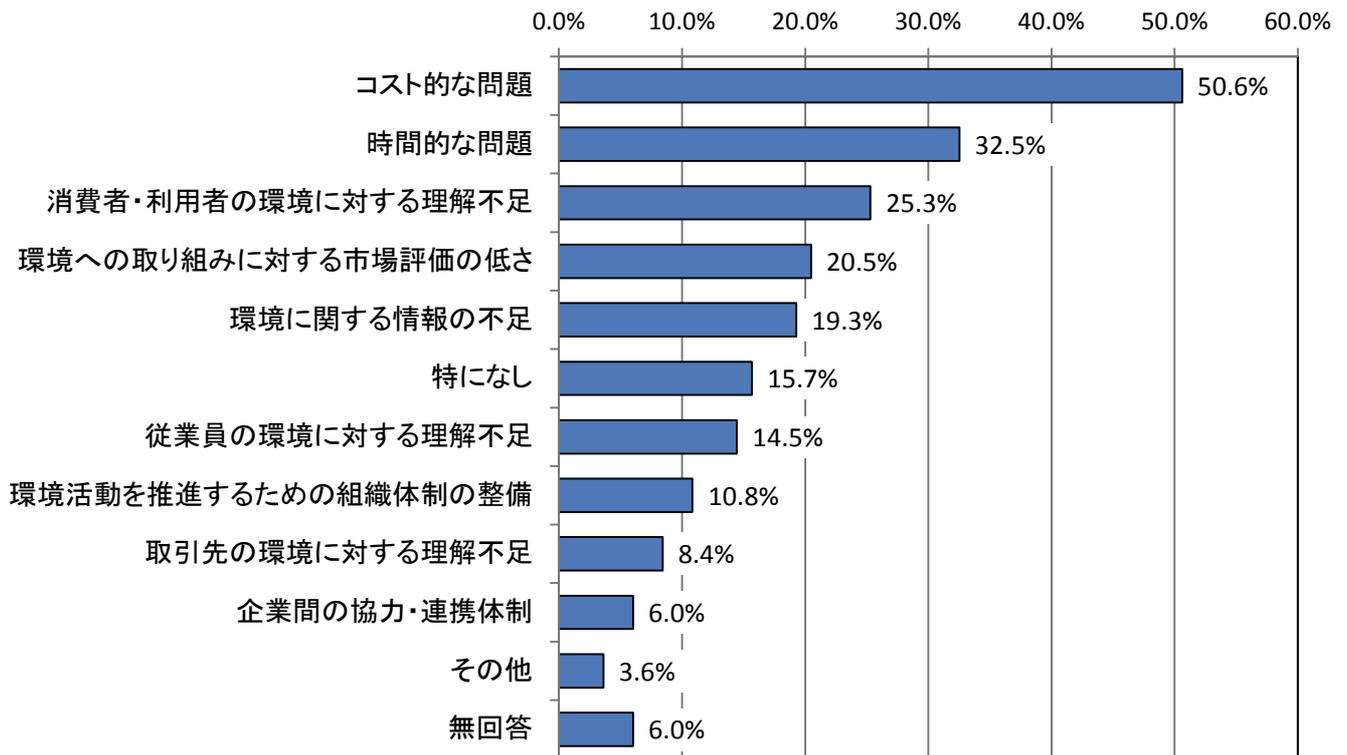
(N=83)

問10 貴事業所において、環境活動を進めるにあたり、どのようなことが課題であるとお考えですか。あてはまる番号をすべて○で囲んでください。

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 消費者・利用者の環境に対する理解不足 | 2. 取引先の環境に対する理解不足 |
| 3. 従業員の環境に対する理解不足 | 4. 環境に関する情報の不足 |
| 5. コスト的な問題 | 6. 時間的な問題 |
| 7. 環境への取り組みに対する市場評価の低さ | 8. 環境活動を推進するための組織体制の整備 |
| 9. 企業間の協力・連携体制 | 10. 特になし |
| 11. その他 | |

環境活動を進めるにあたっての課題について、「コスト的な問題」が最も多く、次いで「時間的な問題」が多くなっています。

	選択肢	回答数
1	消費者・利用者の環境に対する理解不足	21
2	取引先の環境に対する理解不足	7
3	従業員の環境に対する理解不足	12
4	環境に関する情報の不足	16
5	コスト的な問題	42
6	時間的な問題	27
7	環境への取り組みに対する市場評価の低さ	17
8	環境活動を推進するための組織体制の整備	9
9	企業間の協力・連携体制	5
10	特になし	13
11	その他	3
	無回答	5



(N=83)

◆貴事業所の地球温暖化対策への取り組みについてお伺いします◆

問11 次の項目について、導入しているものはありますか。それぞれの項目について、あてはまる番号1～4の中から1つだけ○で囲んでください。

項目		導入済み	導入検討中(予定含む)	導入予定はないが、関心はある	関心がない
A	省エネ法の規制による使用エネルギーの削減	1	2	3	4
B	ESCO事業※による省エネ技術の導入	1	2	3	4
C	照明をLEDなどの高効率なものに買い換え	1	2	3	4
D	高効率ボイラー、高効率モーターなどの動力機の導入	1	2	3	4
E	ヒートポンプ、潜熱回収、ガスエンジンなど高効率空調機の導入	1	2	3	4
F	冷水・冷却水ポンプ、空調機等などのインバーター制御	1	2	3	4
G	建築物の省エネ性能の向上	1	2	3	4
H	高効率な自家発電設備の導入	1	2	3	4
I	PHV(プラグイン・ハイブリッド・カー)及び電気自動車の導入	1	2	3	4
J	屋上緑化や壁面緑化、緑のカーテンなど建物の緑化	1	2	3	4
K	太陽光発電システムの導入	1	2	3	4

※ 省エネルギーの提案、施設の提供、維持・管理など包括的なサービスを行う事業のこと。
ESCOとは、Energy Service Company の略。

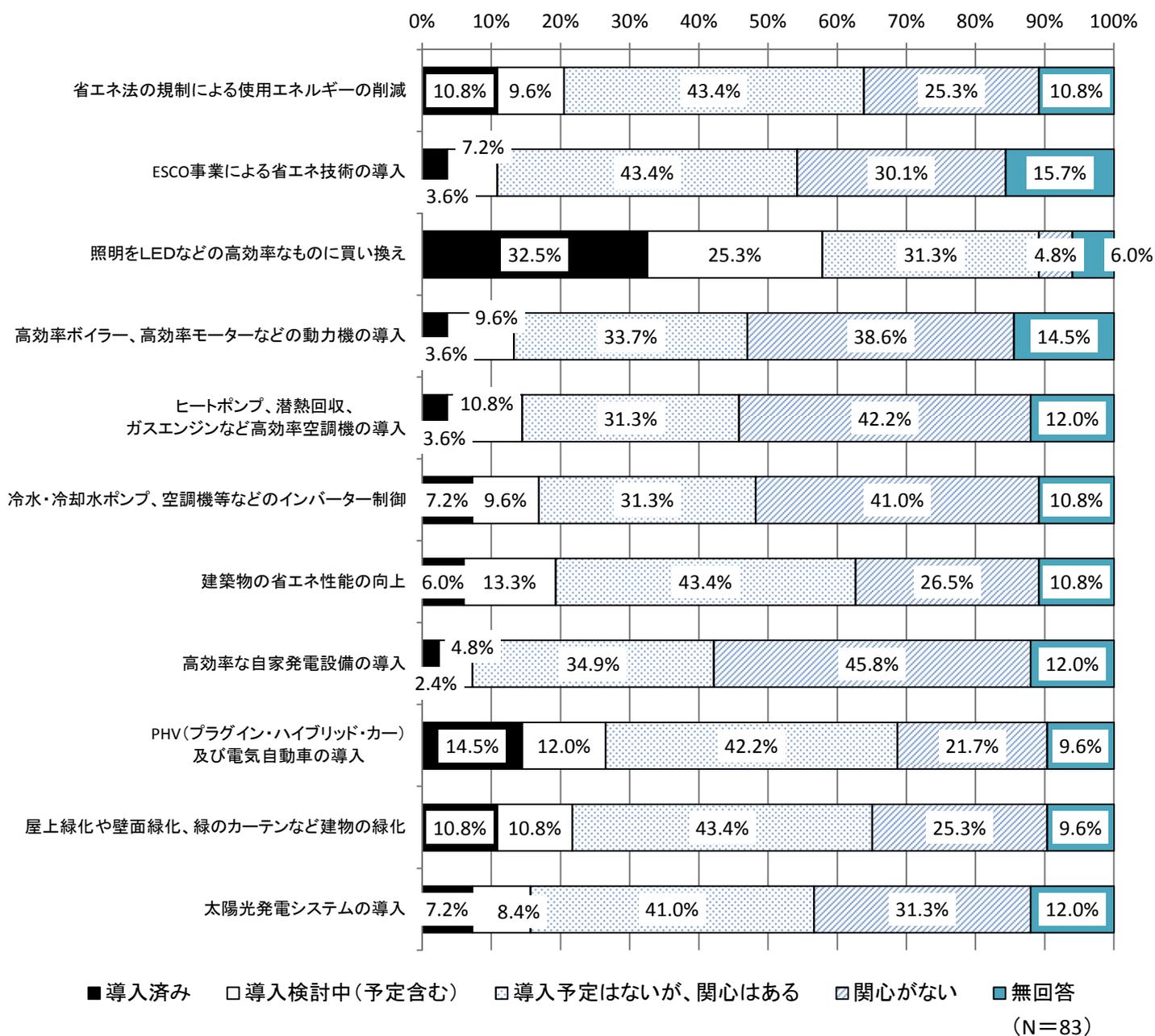
C「照明をLEDなどの高効率なものに買い換え」は、「導入済み」(32.5%)が最も多く、「導入済み」及び「導入検討中(予定含む)」を合わせると、57.8%となっています。

C「照明をLEDなどの高効率なものに買い換え」以外の項目については、「導入予定はないが、関心はある」、または「関心がない」が最も多くなっています。

白文字 =1位

黒文字 =2位

		合計	導入済み	導入検討中 (予定含む)	導入予定は ないが、関心 はある	関心がない	無回答	
A	省エネ法の規制による使用エネルギーの削減	人数	83	9	8	36	21	9
		構成比	100.0%	10.8%	9.6%	43.4%	25.3%	10.8%
B	ESCO事業※による省エネ技術の導入	人数	83	3	6	36	25	13
		構成比	100.0%	3.6%	7.2%	43.4%	30.1%	15.7%
C	照明をLEDなどの高効率なものに買い換え	人数	83	27	21	26	4	5
		構成比	100.0%	32.5%	25.3%	31.3%	4.8%	6.0%
D	高効率ボイラー、高効率モーターなどの動力機の導入	人数	83	3	8	28	32	12
		構成比	100.0%	3.6%	9.6%	33.7%	38.6%	14.5%
E	ヒートポンプ、潜熱回収、ガスエンジンなど高効率空調機の導入	人数	83	3	9	26	35	10
		構成比	100.0%	3.6%	10.8%	31.3%	42.2%	12.0%
F	冷水・冷却水ポンプ、空調機などのインバーター制御	人数	83	6	8	26	34	9
		構成比	100.0%	7.2%	9.6%	31.3%	41.0%	10.8%
G	建築物の省エネ性能の向上	人数	83	5	11	36	22	9
		構成比	100.0%	6.0%	13.3%	43.4%	26.5%	10.8%
H	高効率な自家発電設備の導入	人数	83	2	4	29	38	10
		構成比	100.0%	2.4%	4.8%	34.9%	45.8%	12.0%
I	PHV(プラグイン・ハイブリッド・カー)及び電気自動車の導入	人数	83	12	10	35	18	8
		構成比	100.0%	14.5%	12.0%	42.2%	21.7%	9.6%
J	屋上緑化や壁面緑化、緑のカーテンなど建物の緑化	人数	83	9	9	36	21	8
		構成比	100.0%	10.8%	10.8%	43.4%	25.3%	9.6%
K	太陽光発電システムの導入	人数	83	6	7	34	26	10
		構成比	100.0%	7.2%	8.4%	41.0%	31.3%	12.0%



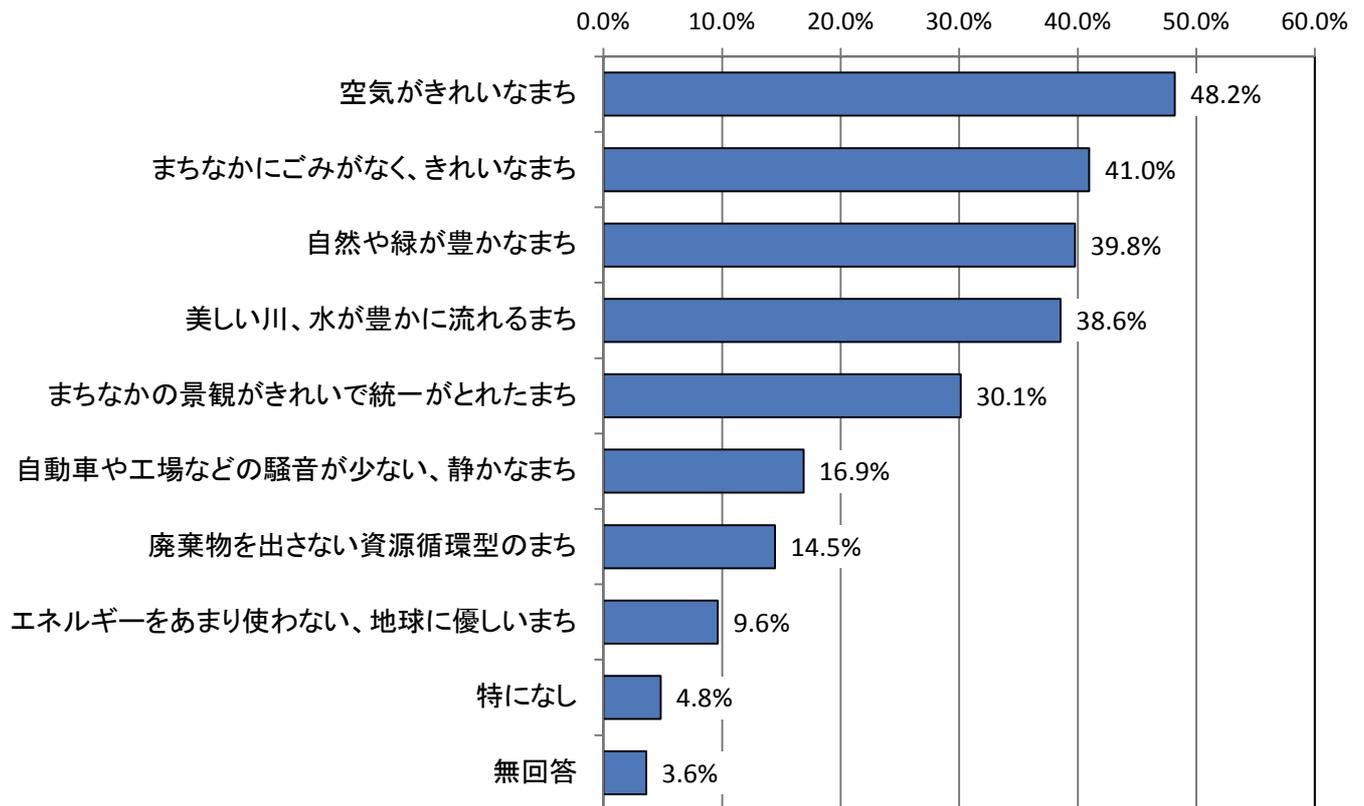
◆ 春日部市の環境について、お伺いします ◆

問12 貴事業所が望む、春日部市の環境の将来あるべき姿を教えてください。あてはまる番号を3つまで○で囲んで下さい。

生活環境	1. 空気がきれいなまち 2. 自動車や工場などの騒音が少ない、静かなまち
都市環境	3. まちなかにごみがなく、きれいなまち 4. 廃棄物を出さない資源循環型のまち 5. エネルギーをあまり使わない、地球に優しいまち 6. まちなかの景観がきれいで統一がとれたまち
自然環境	7. 自然や緑が豊かなまち 8. 美しい川、水が豊かに流れるまち
	9. 特になし 10. その他

春日部市の環境の将来あるべき姿について、「空気がきれいなまち」(48.2%)が最も多く、次いで「まちなかにごみがなく、きれいなまち」が多くなっています。

	選択肢	回答数
1	空気がきれいなまち	40
2	自動車や工場などの騒音が少ない、静かなまち	14
3	まちなかにごみがなく、きれいなまち	34
4	廃棄物を出さない資源循環型のまち	12
5	エネルギーをあまり使わない、地球に優しいまち	8
6	まちなかの景観がきれいで統一がとれたまち	25
7	自然や緑が豊かなまち	33
8	美しい川、水が豊かに流れるまち	32
9	特になし	4
10	その他	0
	無回答	3



(N=83)

業種別

春日部市の環境の将来あるべき姿については、業種によって、それぞれ異なる傾向があります。

「エネルギーをあまり使わない、地球に優しいまち」は、「建設業」、「医療・福祉」、「サービス業」以外の業種で20%を下回っています。

白文字 = 1位

黒文字 = 2位

		回答数	空気がきれいなまち	自動車や工場などの騒音が少ない、静かなまち	まちなかにごみがなく、きれいなまち	廃棄物を出さない資源循環型のまち	エネルギーをあまり使わない、地球に優しいまち	まちなかの景観がきれいで統一がとれたまち	自然や緑が豊かなまち	美しい川、水が豊かに流れるまち	特になし	その他	無回答
1 農林水産業	人数	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0
	構成比		0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2 建設業	人数	17	8	3	5	0	4	5	3	6	1	0	0
	構成比		47.1%	17.6%	29.4%	0.0%	23.5%	29.4%	17.6%	35.3%	5.9%	0.0%	0.0%
3 製造業	人数	17	7	4	10	2	1	2	10	2	2	0	1
	構成比		41.2%	23.5%	58.8%	11.8%	5.9%	11.8%	58.8%	11.8%	11.8%	0.0%	5.9%
4 電気・ガス・熱供給・水道業	人数	2	0	0	0	0	0	2	2	2	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5 情報通信業	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6 運輸業	人数	4	3	1	4	0	0	0	0	4	0	0	0
	構成比		75.0%	25.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7 卸売・小売業	人数	14	8	3	3	4	1	6	7	5	1	0	0
	構成比		57.1%	21.4%	21.4%	28.6%	7.1%	42.9%	50.0%	35.7%	7.1%	0.0%	0.0%
8 金融・保険業	人数	2	2	0	1	0	0	2	0	1	0	0	0
	構成比		100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
9 不動産業	人数	7	1	1	2	1	0	2	1	3	0	0	1
	構成比		14.3%	14.3%	28.6%	14.3%	0.0%	28.6%	14.3%	42.9%	0.0%	0.0%	14.3%
10 飲食店・宿泊業	人数	2	2	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0
	構成比		100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
11 医療・福祉	人数	5	4	0	3	0	1	3	1	3	0	0	0
	構成比		80.0%	0.0%	60.0%	0.0%	20.0%	60.0%	20.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%
12 教育・学習支援業	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
13 サービス業	人数	5	4	0	2	1	1	1	3	3	0	0	0
	構成比		80.0%	0.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	60.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%
14 その他	人数	5	1	1	0	2	0	2	2	1	0	0	1
	構成比		20.0%	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%
無回答	人数	2	0	0	2	1	0	0	1	2	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

◆ 環境活動の主体・市政について、お伺いします ◆

問13 次の環境問題を解決するためには、誰の責任や努力が必要だと思いますか。それぞれについて、あなたの考えにあてはまる番号を全て○で囲んでください。

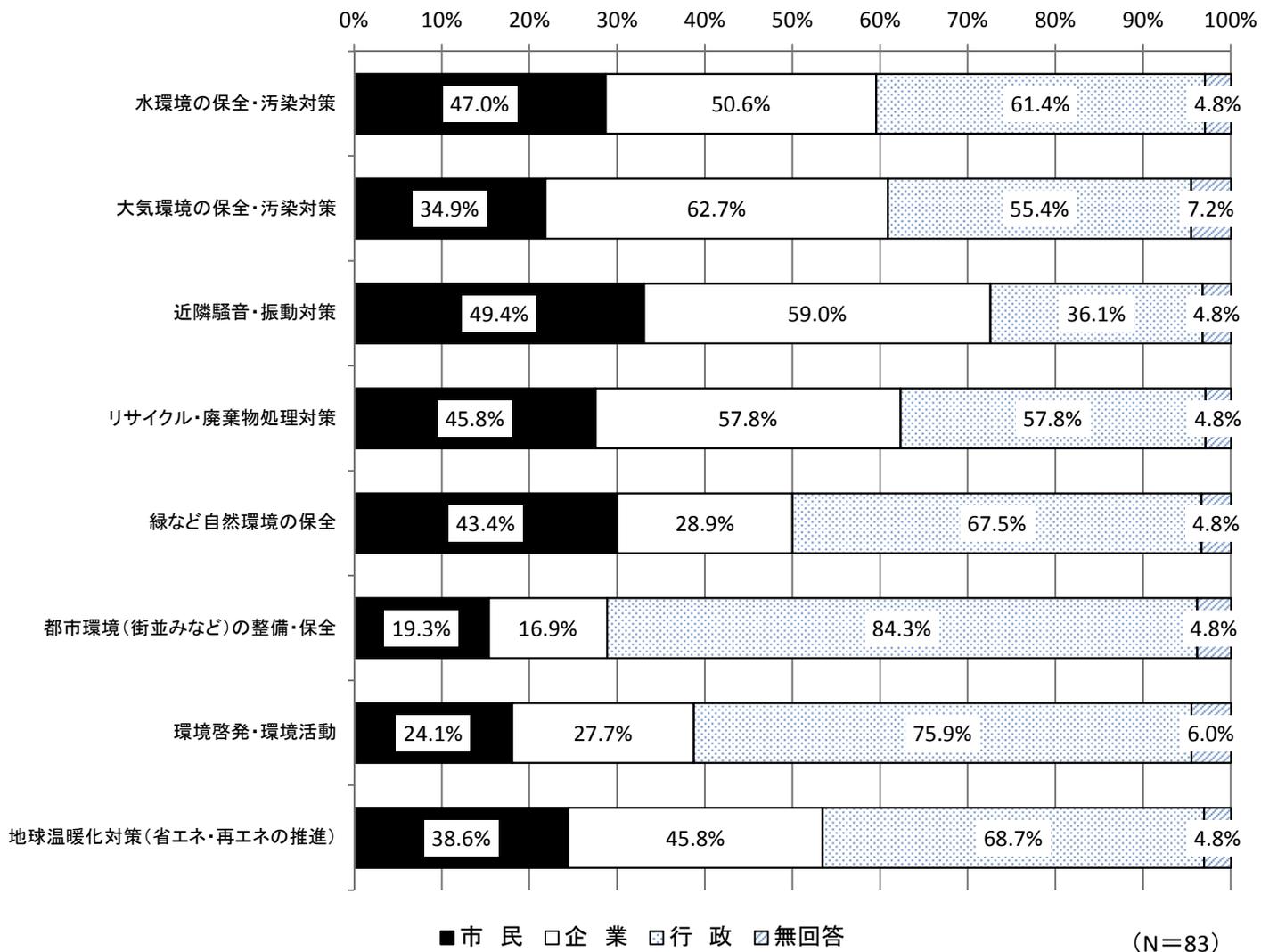
項目	市民	企業	行政
A. 水環境の保全・汚染対策	1	2	3
B. 大気環境の保全・汚染対策	1	2	3
C. 近隣騒音・振動対策	1	2	3
D. リサイクル・廃棄物処理対策	1	2	3
E. 緑など自然環境の保全	1	2	3
F. 都市環境(街並みなど)の整備・保全	1	2	3
G. 環境啓発・環境活動	1	2	3
H. 地球温暖化対策(省エネ・再エネの推進)	1	2	3

環境問題を解決するためには、B「大気環境の保全・汚染対策」、C「近隣騒音・振動対策」以外の項目について、「行政」の責任や努力が必要であるとの回答が最も多くなっています。

また、B「大気環境の保全・汚染対策」、C「近隣騒音・振動対策」、D「リサイクル・廃棄物処理対策」については、「企業」の責任や努力が必要であるとの回答が最も多くなっています。

白文字 = 1位 黒文字 = 2位

選択肢		回答数	市民	企業	行政	無回答
A	水環境の保全・汚染対策	83	39	42	51	4
			47.0%	50.6%	61.4%	4.8%
B	大気環境の保全・汚染対策	83	29	52	46	6
			34.9%	62.7%	55.4%	7.2%
C	近隣騒音・振動対策	83	41	49	30	4
			49.4%	59.0%	36.1%	4.8%
D	リサイクル・廃棄物処理対策	83	38	48	48	4
			45.8%	57.8%	57.8%	4.8%
E	緑など自然環境の保全	83	36	24	56	4
			43.4%	28.9%	67.5%	4.8%
F	都市環境(街並みなど)の整備・保全	83	16	14	70	4
			19.3%	16.9%	84.3%	4.8%
G	環境啓発・環境活動	83	20	23	63	5
			24.1%	27.7%	75.9%	6.0%
H	地球温暖化対策(省エネ・再エネの推進)	83	32	38	57	4
			38.6%	45.8%	68.7%	4.8%

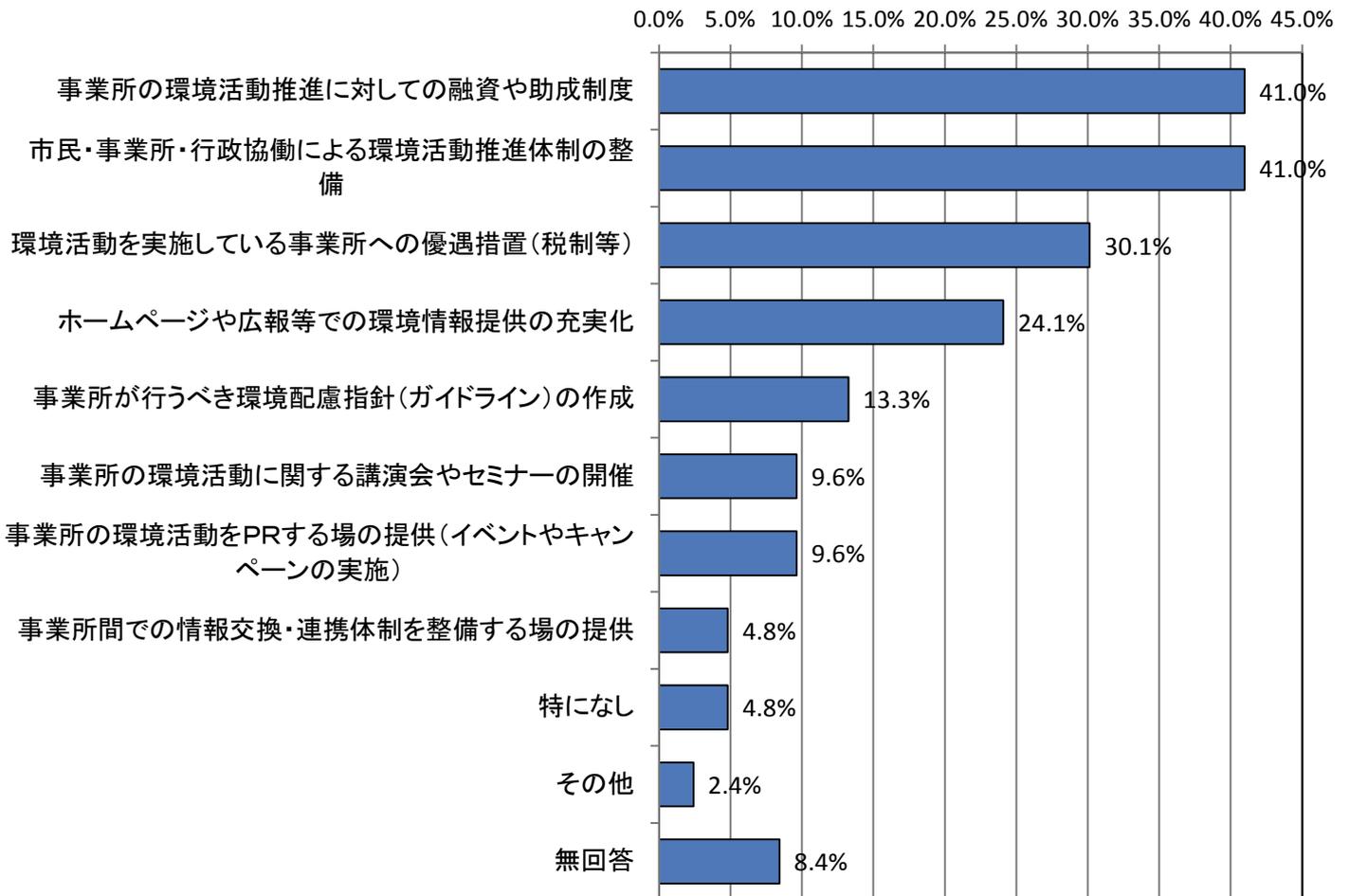


問14 貴事業所が、環境活動を進めるために、行政が実施すると望ましいサポート等がありますか。あてはまる番号を3つまで○で囲んで下さい。

1. ホームページや広報等での環境情報提供の充実化
2. 事業所の環境活動に関する講演会やセミナーの開催
3. 事業所の環境活動推進に対しての融資や助成制度
4. 環境活動を実施している事業所への優遇措置(税制等)
5. 事業所の環境活動をPRする場の提供(イベントやキャンペーンの実施)
6. 事業所間での情報交換・連携体制を整備する場の提供
7. 市民・事業所・行政協働による環境活動推進体制の整備
8. 事業所が行うべき環境配慮指針(ガイドライン)の作成
9. 特になし
10. その他

環境問題を進めるために、行政が実施すると望ましいサポート等について、「事業所の環境活動推進に対しての融資や助成制度」、「市民・事業所・行政協働による環境活動推進体制の整備」が最も多く、次いで「環境活動を実施している事業所への優遇措置(税制等)」が多くなっています。

	選択肢	回答数
1	ホームページや広報等での環境情報提供の充実化	20
2	事業所の環境活動に関する講演会やセミナーの開催	8
3	事業所の環境活動推進に対しての融資や助成制度	34
4	環境活動を実施している事業所への優遇措置(税制等)	25
5	事業所の環境活動をPRする場の提供(イベントやキャンペーンの実施)	8
6	事業所間での情報交換・連携体制を整備する場の提供	4
7	市民・事業所・行政協働による環境活動推進体制の整備	34
8	事業所が行うべき環境配慮指針(ガイドライン)の作成	11
9	特になし	4
10	その他	2
	無回答	7



(N=83)

業種別

環境問題を進めるために、行政が実施すると望ましいサポート等については、業種によって異なる傾向があります。

「事業所間での情報交換・連携体制を整備する場の提供」は、「製造業」、「金融・保険業」以外の業種では回答がありませんでした。

白文字 = 1位

黒文字 = 2位

		回答数	ホーム	事業所の	事業所の	環境活動	事業所の	事業所間	市民・事業	事業所が	特になし	その他	無回答
			ページや	環境活動	環境活動	を実施して	での情報	所・行政	行うべき環				
			広報等での	に関する	推進に對	いる事業	交換・連携	による	境配慮指				
			環境情報	講演会や	しての融	場の提供	体制を整	環境活動	針(ガイド				
			提供の	セミナーの	資や助成	(イベント	備する場	推進体制	ライン)の				
			充実化	開催	制度	やキャン	の提供	整備	作成				
						ペーン							
						の実施)							
1	農林水産業	人数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		構成比	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2	建設業	人数	17	5	1	4	8	1	0	8	2	2	1
		構成比	29.4%	5.9%	23.5%	47.1%	5.9%	0.0%	47.1%	11.8%	11.8%	5.9%	5.9%
3	製造業	人数	17	3	3	9	3	4	3	3	1	1	1
		構成比	17.6%	17.6%	52.9%	17.6%	23.5%	17.6%	17.6%	5.9%	5.9%	5.9%	11.8%
4	電気・ガス・熱供給・水道業	人数	2	1	0	1	0	0	0	2	0	0	0
		構成比	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5	情報通信業	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6	運輸業	人数	4	2	0	2	2	0	0	2	0	0	0
		構成比	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
7	卸売・小売業	人数	14	1	0	7	4	0	0	6	3	0	0
		構成比	7.1%	0.0%	50.0%	28.6%	0.0%	0.0%	42.9%	21.4%	0.0%	0.0%	14.3%
8	金融・保険業	人数	2	0	0	1	1	1	1	2	0	0	0
		構成比	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
9	不動産業	人数	7	3	0	2	2	0	0	4	2	0	0
		構成比	42.9%	0.0%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%	57.1%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%
10	飲食店・宿泊業	人数	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
		構成比	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
11	医療・福祉	人数	5	0	2	2	1	0	0	3	2	0	0
		構成比	0.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
12	教育・学習支援業	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
13	サービス業	人数	5	1	2	2	1	0	0	1	0	0	0
		構成比	20.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
14	その他	人数	5	1	0	3	2	2	0	2	1	0	0
		構成比	20.0%	0.0%	60.0%	40.0%	40.0%	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%
15	無回答	人数	2	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0
		構成比	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%

2 事業者アンケート自由意見

◆ 最後に、環境関わるご意見等があれば自由お書き下さい ◆

- ①水環境の汚染について、当社の脇に農業用の水路があります。水は濁ってますが鯉の子供が流れていたり、ザリガニもいます。ところが、農業用のネットや発砲スチロールやビニール袋に何やら入った物が流れたり、取れるものは拾い上げてますが、もう少しきれいになってほしいです。
②車道の脇のカンとかのポイ捨てが目立つので道路に出た時は目を光らしてます。
- たばこの吸殻の多い街！条例を作って罰則を！！特に中心市街地や大落古利根公園橋にゴミ多い！！
- 道路等にゴミなど捨ててあるが罰則の強化や、マナー向上の啓蒙活動をする。
- 一個人からですが、家庭用の汚水（トイレ以外）の処理下水道が完備していない地域の方で、合併浄化槽設置者と古いまま流してしまう者とは、大きな差が生じています。合併浄化槽設置者には、条例で法があるのに対して、古いまま流してしまう方には、何も行政は指導していない。
- 春日部市は大変住みよい所であると感じますが、廃棄物の出し方は今後、検討の余地があると思います。カラス等に荒らされないため、ネットをかけたゴミが路上に置かれているのは慣れている住民には何とも感じられないでしょうが、景観としては見かねる状態と感ずます。資源物を入れるコンテナが2. 3mおきに置かれているのも決してきれいな街とは感じません。
- 古利根川に下水を流している地域があるようだが、今の時代にそんなことが行われていてよいのだろうか。これは行政が指導しなければならないでしょう。
- 企業として、市民として環境活動をするにあたり、ハイブリッドカーなどは普通車より100万円以上高いので購入することはむずかしい。個々の心がけによるものからの活動になると思う。お金をかけるものは行政主導で行いそれ以外の小さいことを個人や企業で行うのが当面は良いと思う。
- 以前、ゴミ出し時のビニール袋に関して市から「レジ袋」の使用を止めるように指導があったが、近隣の住人は皆以前と同様にレジ袋で出していたので、市役所に問い合わせると、「レジ袋」は使わないでくれとの事。では、実際に溜まるレジ袋はどうするのか質問したところ指定のビニール袋の中に入れてゴミとして出してくれとのこと。こんな指導ではダメだということ。このアンケートの紙も200箇所分ともなればかなりの量。資源はすべて有効に使っていただきたい。
- 環境を良くしていくには行政、企業の努力はもちろん必要なのですが、いちばん大切なのは、市民1人1人が環境に対しての活動を自主的に行っていく必要があると感じています。それを手伝いする活動を行政にはもっと行っていただきたいと思います。環境を良くしていくには、全員の力が必要だと思ひます。
- ・重要な点は行政による大きな目標、指針を打ち出せるか。
・細部についての寄せ集めでは何も推進できないのではないか？

参 考 资 料

春日部市民の皆さまへ

春日部の環境についてアンケート調査ご協力をお願い

市民の皆さまにおかれましては、常日頃から市政に対するご理解、ご協力をいただきましてありがとうございます。

春日部市では、平成20年3月に、環境の保全と創造に関する施策を総合的かつ、計画的に推進するための「春日部市環境基本計画」を策定いたしました。

この計画は、平成29年度をもって満了することから、平成30年度以降の春日部市の環境政策を推進するための「第2次春日部市環境基本計画」を策定いたします。

そこで、現状の課題を把握し、「第2次春日部市環境基本計画」の策定に活用するため、市民の皆さまの環境に対する意識や行動についてのアンケート調査を実施いたします。

お忙しいところ恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をよろしくお願いいたします。

平成28年7月

春日部市長 石川良三

- 春日部市に在住する2,000人の男女を無作為に抽出し、無記名でご回答をお願いしています。
(※ 調査対象者は平成28年6月1日現在で抽出しています)
- 回答者が特定されることはありません。
- ご記入は封書の宛名に書かれたご本人様をお願いします。なお、1世帯に2通以上お配りする場合もございますが、世帯の意見ではなく、それぞれご本人様のご意見をお聞かせください。
- 本調査票に直接ご記入ください。終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、
8月22日(月)までに郵便ポストへご投函(切手不要)ください。
- 返信用封筒のバーコードは、郵便手続のためのもので、個人を特定するものではありません。

本調査についてのお問い合わせは、下記の連絡先をお願いいたします。

〒344-8577 埼玉県春日部市中央六丁目2番地
春日部市役所 環境経済部 環境政策推進課 環境政策推進担当
[電話] 048-736-1111 (内線 7714~7)
[E-mail] kankyo@city.kasukabe.lg.jp



● あなたの普段の環境活動についてお伺いします ●

問8 環境に関して、普段あなたが取り組んでいることを教えてください。あてはまる番号を全て○で囲んでください。

省資源	1. 節電（こまめな消灯や冷暖房の温度設定の管理など） 2. 節水（洗濯に風呂の残り湯を使用したり、植物の水やりには雨水を使用するなど） 3. ごみの減量（過剰な包装は断る、生ごみを少なくするなど） 4. ごみの分別（空き缶やびん、ペットボトル、雑紙など） 5. 環境に優しい商品の購入（環境ラベル商品や地場産品、詰め替え製品など） 6. 買物袋の持参（エコバッグなど） 7. リサイクル（生ごみや調理くずを堆肥にするなど）
地球温暖化防止	8. 新エネルギー設備の設置（ソーラーシステム（給湯、冷暖房）や太陽光発電など） 9. エコ・ドライブ（自動車に乗るときはアイドリングをしないなど） 10. 自家用車の使用の抑制（公共交通機関の積極的な利用など）
生活環境	11. 家庭排水への配慮（油や調理くずなどを下水に流さないようにするなど） 12. 近隣騒音（ピアノなどの音漏れ）の防止 13. ごみのポイ捨てをしない、出かけたときはごみを持ち帰る
環境活動	14. みどりを大切にする活動（周囲に草木を植えたり、周辺の雑木林の管理をするなど） 15. 環境活動への寄付（地球環境基金や緑の募金など）
	16. 特に何も心がけていない 17. その他（)

問9 あなたは、これまでに環境に係わる活動に参加したことがありますか。それぞれの項目について、あてはまる番号 1～3 の中から 1つだけ○で囲んでください。

項目	参加したことがある	参加したことはないが、今後参加したい	参加したことがない
記入例 →	①	2	3
A 空き缶、空き瓶、古紙などの資源回収活動	1	2	3
B 公園や街路などの地域清掃活動	1	2	3
C 川などの清掃活動	1	2	3
D 花いっぱい運動や植樹などの地域の緑化活動	1	2	3
E 農業体験など農業振興活動	1	2	3
F 環境問題に関する講座やセミナー	1	2	3
G 昆虫や植物など身近な自然の保護活動や観察	1	2	3

● 春日部市の環境についてお伺いします ●

問10 あなたの身のまわりの環境について、満足度とその対策の優先度について、あなたの考えに最もあてはまる番号を項目ごとにそれぞれ1つずつ○で囲んでください。

項目	満足度の評価					優先度の評価			
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	最も優先的に取り組むべき	優先的に取り組むべき	取り組むべきだが優先度は低い	取り組む必要はない
記入例 ⇒	1	②	3	4	5	1	2	③	4
A 水のきれいさ(川、地下水など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4
B 水辺の景観	1	2	3	4	5	1	2	3	4
C 空気のきれいさ(工場からのばい煙、悪臭など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4
D 自動車の排気ガスの有無	1	2	3	4	5	1	2	3	4
E 野焼きの有無	1	2	3	4	5	1	2	3	4
F 騒音・振動(自動車や工場など)の有無	1	2	3	4	5	1	2	3	4
G ごみの不法投棄の有無	1	2	3	4	5	1	2	3	4
H 空き缶、吸い殻などのポイ捨ての有無	1	2	3	4	5	1	2	3	4
I リサイクル(資源循環)の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4
J 緑の豊かさ(農地や樹林地など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4
K 生き物の種類の豊かさ(野鳥や昆虫など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4
L まちなかの公園や自然の豊かさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4
M まちなかの景観(屋外看板や広告)	1	2	3	4	5	1	2	3	4
N 環境について学ぶ場や情報を得る場	1	2	3	4	5	1	2	3	4
O 環境活動を一緒に行える仲間	1	2	3	4	5	1	2	3	4

— 春日部市環境基本計画をつくるための市民アンケート —

問11 次の環境問題を解決するためには、誰の責任や努力が必要だと思いますか。それぞれについて、あなたの考えにあてはまる番号を全て○で囲んでください。

	項目	市民	企業	行政
A	水環境の保全・汚染	1	2	3
B	大気環境の保全・汚染	1	2	3
C	近隣騒音・振動	1	2	3
D	リサイクル・廃棄物処理	1	2	3
E	緑など自然環境の保全	1	2	3
F	都市環境（街並みなど）の整備・保全	1	2	3
G	環境啓発・環境活動	1	2	3
H	地球温暖化対策（省エネ・再エネの推進）	1	2	3

● あなたの地球温暖化対策への取り組みについてお伺いします ●

問12 あなたの家庭では、節電などの省エネ行動について、東日本大震災の前後で取り組み行動に変化はありましたか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

1. 震災前から取り組んでおり、震災後はさらに取り組み内容が増えた
2. 震災前から取り組んでおり、現在も同じくらいのレベルで取り組みを続けている
3. 震災前はあまり取り組んでいなかったが、震災後は取り組み内容が増えた
(1～3と回答→問14へ)
4. 震災直後は取り組んでいたが、現在は取り組み内容が減った
5. 震災前も取り組んでおらず、現在も取り組んでいない
(4～5と回答→問13へ)

問13 問12で4、「震災直後は取り組んでいたが、現在は取り組み内容が減った」または、5、「震災前も取り組んでおらず、現在も取り組んでいない」と回答した方にお聞きします。取り組んでいない理由（減った理由）は何ですか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

1. 生活習慣だから変えにくい
2. 手間がかかる
3. 費用がかかる
4. 取り組みを行っても効果がわからない
5. その他 ()

— 春日部市環境基本計画をつくるための市民アンケート —

問14 次の項目について、導入しているものはありますか。それぞれの項目について、あてはまる番号 1~4 の中から 1つだけ ○で囲んでください。

	項目	導入済み	導入検討中 (予定含む)	導入予定は ないが、関心 はある	関心がない
A	住宅用太陽光発電システム	1	2	3	4
B	住宅用ソーラーシステム(太陽熱利用による給湯、冷暖房)	1	2	3	4
C	気密性の高い窓・サッシなど	1	2	3	4
D	断熱性や気密性の高い断熱材など(屋根や壁面)	1	2	3	4
E	エコジョーズ、エコウィル、エコキュートなど、効率の良い給湯機	1	2	3	4
F	電力消費や待機電力の少ない家電製品	1	2	3	4
G	LEDなどの高効率な照明	1	2	3	4
H	排出ガスが少なく燃費の良い自動車(PHVや電気自動車を含む)	1	2	3	4
I	屋上緑化や壁面緑化、緑のカーテンなど	1	2	3	4

● 市の環境への取り組みについてお伺いします ●

問15 以下の項目は、現在、春日部市が進めている環境に関する取り組みです。あなたが知っている取り組みの番号を全て ○で囲んでください。

1. 住宅用太陽光発電設備設置補助金制度
2. 生ごみ処理容器購入費補助金制度
3. かすかべエコファミリー(エコファミリーチェックシート)
4. 環境家計簿の普及
5. 生垣設置の奨励金や緑化協定などの助成金の交付
6. 台所や風呂、トイレの水を処理する合併処理浄化槽の設置補助金制度
7. 低公害車の普及
8. 環境保全リーダーの育成
9. 環境学習講座
10. 傷病野生鳥獣の保護
11. 環境調査(河川水質、自動車騒音、道路交通振動、放射性物質、空間放射線量など)

— 春日部市環境基本計画をつくるための市民アンケート —

問16 環境に関する情報を市民の方に知らせる方法として、どのようなものがよいと思いますか。あてはまる番号を全て○で囲んでください。

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1. 市の広報紙やパンフレット | 2. 市の主催のイベント |
| 3. 自治会ごとの説明会や勉強会 | 4. インターネットのホームページや電子メール |
| 5. その他() | |

● 最後に、環境に関わるご意見等があれば、ご自由にお書き下さい。 ●

アンケートの質問は以上となります。ご協力いただき、ありがとうございました。
お手数ですが、この調査票を返信用封筒に入れ、平成28年8月22日(月)までにご投函ください。

春日部市内の事業者の皆さまへ

春日部の環境についてアンケート調査ご協力のお願い

市内の事業者の皆さまにおかれましては、常日頃から市政に対するご理解、ご協力をいただきましてありがとうございます。

春日部市では、平成20年3月に環境の保全と創造に関する施策を総合的、かつ計画的に推進するための「春日部市環境基本計画」を策定いたしました。

この計画は、平成29年度をもって満了することから、平成30年度以降の春日部市の環境政策を推進するための「第2次春日部市環境基本計画」を策定いたします。

そこで、現状の課題を把握し、「第2次春日部市環境基本計画」の策定に活用するため、市内の事業者の皆さまの事業活動を展開するうえでの環境保全対策や課題などについてのアンケート調査を実施いたします。

お忙しいところ恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をよろしくお願いいたします。

平成28年7月

春日部市長 石川良三

- ◆ 春日部市内の200ヶ所の事業所を無作為に抽出しています。
- ◆ 農林水産業等一次産業、製造業等二次産業、サービス業等三次産業、全ての事業者様が対象です。
- ◆ 本社が春日部市以外の場合も、ご送付した貴事業所の責任者がご回答ください。
- ◆ 貴事業所・御記入者が特定されることはありません。
- ◆ ご記入にあたっては、貴事業所としてのお考えをご記入ください。
- ◆ 本調査票に直接ご記入ください。終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、

8月22日(月)までに郵便ポストへご投函(切手不要)ください。

- ◆ 返信用封筒のバーコードは、郵便手続のためのもので、個人を特定するものではありません。

本調査についてのお問い合わせは、下記の連絡先をお願いいたします。

〒344-8577 埼玉県春日部市中央六丁目2番地
春日部市役所 環境経済部 環境政策推進課 環境政策推進担当
[電話] 048-736-1111 (内線 7714~7)
[E-mail] kankyo@city.kasukabe.lg.jp



◆貴事業所のことについてお伺いします◆

問1 貴事業所の業種について、あてはまる番号を1つだけ〇（兼業の場合、売上げの割合が高いもの）で囲んで下さい。

- | | | |
|------------------|-----------|--------------|
| 1. 農林水産業 | 2. 建設業 | 3. 製造業 |
| 4. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 5. 情報通信業 | 6. 運輸業 |
| 7. 卸売・小売業 | 8. 金融・保険業 | 9. 不動産業 |
| 10. 飲食店・宿泊業 | 11. 医療・福祉 | 12. 教育・学習支援業 |
| 13. サービス業 | 14. その他（ | ） |

問2 貴事業所の従業員規模について、あてはまる番号を1つだけ〇で囲んで下さい。

- | | | |
|--------------|--------------|------------|
| 1. 10人未満 | 2. 10～49人 | 3. 50人～99人 |
| 4. 100人～300人 | 5. 300人～499人 | 6. 500人以上 |

問3 貴事業所は春日部市で事業を始められてから何年になりますか。あてはまる番号を1つだけ〇で囲んで下さい。

- | | | |
|------------|----------|------------|
| 1. 5年未満 | 2. 5年～9年 | 3. 10年～19年 |
| 4. 20年～29年 | 5. 30年以上 | |

問4 貴事業所の所在地について、あてはまる番号を1つだけ〇で囲んで下さい。

- | | |
|---------|--|
| 1. 粕壁地区 | 〔 粕壁、粕壁 1～4 丁目、中央 1～8 丁目、浜川戸 1～2 丁目、粕壁東 1～6 丁目、緑町 1～6 丁目、南 1～5 丁目、八木崎町 〕 |
| 2. 内牧地区 | 〔 梅田、梅田 1～3 丁目、梅田本町 1～2 丁目、内牧、南栄町、栄町 1～3 丁目 〕 |
| 3. 幸松地区 | 〔 八丁目、小淵、不動院野、樋籠、牛島、樋堀、新川 〕 |
| 4. 豊野地区 | 〔 赤沼、銚子口、藤塚、六軒町、本田町 1～2 丁目、豊野町 1～3 丁目 〕 |
| 5. 武里地区 | 〔 千間 1 丁目、備後西 1～5 丁目、備後東 1～8 丁目、一ノ割、一ノ割 1～4 丁目、武里中野、薄谷、大場、大畑、大枝、増田新田、団地 1～9 街区 〕 |
| 6. 豊春地区 | 〔 谷原新田、上大増新田、下大増新田、増富、増戸、下蛭田、花積、道口蛭田、上蛭田、道順川戸、南中曽根、新方袋、西八木崎 1～3 丁目、谷原 1～3 丁目、大沼 1～7 丁目、豊町 1～6 丁目 〕 |
| 7. 庄和地区 | 〔 上柳、上金崎、神間、榎、立野、櫛、小平、下吉妻、上吉妻、西宝珠花、西親野井、塚崎、倉常、芦橋、木崎、下柳、金崎、西金野井、水角、赤崎、飯沼、米崎、米島、東中野、新宿新田、永沼、大衾 〕 |

◆貴事業所の環境活動についてお伺いします◆

問5 貴事業所では、日常業務の中で、環境配慮のための活動に取り組んでいますか。あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。

1. 取り組んでいる (→ 問6へ)
2. 今後取り組む予定 (→ 問6へ)
3. 取り組んでいない (→ 問8へ)

問6 貴事業所では、日常業務の中で、どのような環境配慮のための活動を実施していますか。それぞれの項目について、あてはまる番号 1～4 の中から1つだけ○で囲んでください。

	項 目	既に実施 している	今後 取り組 む予定	取り組 む予定 はない	該当 なし
	記入例 ⇒	1	②	3	4
◆地球環境問題対策◆					
A	代替フロン使用の抑制・廃止	1	2	3	4
B	温室効果ガス排出量の把握・抑制	1	2	3	4
C	事業所敷地内の緑化	1	2	3	4
◆廃棄物の減量やリサイクルの推進◆					
D	廃棄物の分別回収	1	2	3	4
E	廃棄物の減量化や有効利用、再利用	1	2	3	4
F	使用済み製品や容器等の回収	1	2	3	4
G	自社製品のリサイクル(含む堆肥化)	1	2	3	4
H	グリーン購入の実施・エコマーク商品の購入	1	2	3	4
◆省エネルギー・省資源◆					
I	電気や水道の節約	1	2	3	4
J	冷暖房温度の調節	1	2	3	4
K	中水・雨水利用等の水の有効利用	1	2	3	4
L	地下水採取の削減	1	2	3	4
M	再生材の使用	1	2	3	4
N	低公害車・低燃費車の導入	1	2	3	4
O	共同輸配送等の物流の合理化	1	2	3	4
P	省エネ診断の実施	1	2	3	4
Q	太陽光や風力等の再生可能エネルギーの利用	1	2	3	4
◆環境マネジメントシステムや製品開発◆					
R	ISO14001 やエコアクション 21 等の EMS (環境マネジメントシステム) の導入	1	2	3	4
S	環境への取り組みに対するガイドライン(指針)の導入	1	2	3	4
T	環境にやさしい商品の開発	1	2	3	4
U	社員に対する環境教育の実施	1	2	3	4
V	環境報告書(CSRレポート)の作成	1	2	3	4

問7 貴事業所において、環境活動に取り組んだことで得られた効果は何ですか。あてはまる番号をすべて〇で囲んでください。

1. 企業イメージ・信用性の向上
2. 業務の効率化によるコスト削減
3. 提供している製品・サービスの品質向上
4. 提供している製品・サービスの売上げ向上
5. 従業員の環境意識の向上
6. 特になし
7. その他（ ）

問8 貴事業所では、地域社会の一員として、地域の環境のためにどのような取り組みをしていますか。あてはまる番号をすべて〇で囲んでください。

1. 事業所周辺の清掃活動
2. 地域の清掃活動や美化活動への参加・協力
3. 事業所の緑化活動
4. 地域の緑化活動などへの参加・協力
5. 従業員のボランティア活動支援
6. 環境保全団体等への支援や寄付
7. 近隣地域への環境情報提供
8. 特に取り組んでいない
9. その他（ ）

問9 貴事業所では、環境活動に取り組むことについて、どのようにお考えですか。あてはまる番号を1つだけ〇で囲んでください。

1. 新規ビジネスのチャンスにつながることから、積極的に取り組みたい
2. 企業の社会的責任として、最低限取り組むべきことである
3. 企業として取り組むべきことであるが、費用や人手、手間がかかるため取り組みたくない
4. その他（ ）

問 10 貴事業所において、環境活動を進めるにあたり、どのようなことが課題であるとお考えですか。あてはまる番号をすべて○で囲んでください。

1. 消費者・利用者の環境に対する理解不足 2. 取引先の環境に対する理解不足 3. 従業員の環境に対する理解不足 4. 環境に関する情報の不足 5. コスト的な問題 6. 時間的な問題 7. 環境への取り組みに対する市場評価の低さ 8. 環境活動を推進するための組織体制の整備 9. 企業間の協力・連携体制 10. 特になし 11. その他 ()

◆貴事業所の地球温暖化対策への取り組みについてお伺いします◆

問 11 次の項目について、導入しているものはありますか。それぞれの項目について、あてはまる番号 1～4 の中から 1 つだけ○で囲んでください。

項 目		導入済み	導入検討中 (予定含む)	導入予定は ないが、関心 はある	関心がない
A	省エネ法の規制による使用エネルギーの削減	1	2	3	4
B	ESCO事業*による省エネ技術の導入	1	2	3	4
C	照明をLEDなどの高効率なものに買い換え	1	2	3	4
D	高効率ボイラー、高効率モーターなどの動力機の導入	1	2	3	4
E	ヒートポンプ、潜熱回収、ガスエンジンなど高効率空調機の導入	1	2	3	4
F	冷水・冷却水ポンプ、空調機等などのインバーター制御	1	2	3	4
G	建築物の省エネ性能の向上	1	2	3	4
H	高効率な自家発電設備の導入	1	2	3	4
I	PHV（プラグイン・ハイブリッド・カー）及び電気自動車の導入	1	2	3	4
J	屋上緑化や壁面緑化、緑のカーテンなど建物の緑化	1	2	3	4
K	太陽光発電システムの導入	1	2	3	4

※ 省エネルギーの提案、施設の提供、維持・管理など包括的なサービスを行う事業のこと。
E S C Oとは、Energy Service Company の略。

◆春日部市の環境について、お伺いします◆

問 12 貴事業所が望む、春日部市の環境の将来あるべき姿を教えてください。あてはまる番号を
3つまで○で囲んで下さい。

生活環境	1. 空気がきれいなまち 2. 自動車や工場などの騒音が少ない、静かなまち
都市環境	3. まちなかにごみがなく、きれいなまち 4. 廃棄物を出さない資源循環型のまち 5. エネルギーをあまり使わない、地球に優しいまち 6. まちなかの景観がきれいで統一がとれたまち
自然環境	7. 自然や緑が豊かなまち 8. 美しい川、水が豊かに流れるまち
	9. 特になし 10. その他（ ）

◆環境活動の主体・市政について、お伺いします◆

問 13 次の環境問題を解決するためには、誰の責任や努力が必要だと思いますか。それぞれについて、あなたの考えにあてはまる番号を全て○で囲んでください。

項目	市民	企業	行政
A. 水環境の保全・汚染対策	1	2	3
B. 大気環境の保全・汚染対策	1	2	3
C. 近隣騒音・振動対策	1	2	3
D. リサイクル・廃棄物処理対策	1	2	3
E. 緑など自然環境の保全	1	2	3
F. 都市環境（街並みなど）の整備・保全	1	2	3
G. 環境啓発・環境活動	1	2	3
H. 地球温暖化対策（省エネ・再エネの推進）	1	2	3

問 14 貴事業所が、環境活動を進めるために、行政が実施すると望ましいサポート等がありますか。
あてはまる番号を3つまで○で囲んで下さい。

1. ホームページや広報等での環境情報提供の充実化
2. 事業所の環境活動に関する講演会やセミナーの開催
3. 事業所の環境活動推進に対しての融資や助成制度
4. 環境活動を実施している事業所への優遇措置（税制等）
5. 事業所の環境活動をPRする場の提供（イベントやキャンペーンの実施）
6. 事業所間での情報交換・連携体制を整備する場の提供
7. 市民・事業所・行政協働による環境活動推進体制の整備
8. 事業所が行うべき環境配慮指針（ガイドライン）の作成
9. 特になし
10. その他（）

◆最後に、環境に関わるご意見等があれば、ご自由にお書き下さい。◆

アンケートの質問は以上となります。ご協力いただき、ありがとうございました。
お手数ですが、この調査票を返信用封筒に入れ、平成 28年8月22日(月)までにご投函ください。

**第2次春日部市環境基本計画に関する
アンケート調査
結果報告書**

平成28年度

発行 春日部市環境経済部環境政策推進課

作成 平成 29 年 3 月

〒344-8577 埼玉県春日部市中央六丁目2番地

電話: 048-736-1111(代表)